

謂社交術にも不知々々の間に練達出来て、卒業後も常識豊かな紳士として社會に活躍出来る基礎が出来るのだ。故に之から熱に入學せんとする人々は趣味でもよい、學術でも宜しい。何れに

するも自己の欲する方面に向て何かの團體の一員となる事をすすめる、左に主なる團體の要項を列記して置く。

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 三田新聞學會 | 辯論部 | 國際聯盟慶應義塾支部 |
| 慶應義塾産業研究會 | 慶應海外醫事研究會 | 慶應義塾東亞事情研究會 |
| 慶應義塾航空研究會 | 慶應義塾英語會 | 慶應義塾佛蘭西語會 |
| 慶應義塾逸語會 | 慶應エスペラント會 | 慶應露西亞語會 |
| 法學演習會 | 自然科學研究會 | 西洋史學會 |
| 慶應義塾金融研究會 | 慶應廣告學研究會 | 三田藝術研究會 |
| 教育談話會 | 慶應劇研究會 | 慶應歌舞伎劇研究會 |
| 慶應能樂研究會 | 慶應教育映畫研究會 | 慶應寫眞俱樂部 |
| 慶應パテーベビー同好會 | 文學部會 | 慶應神道研究會 |
| 慶應義塾佛教青年會 | 慶應義塾基督教青年會 | 道の會慶應義塾支部 |
| 福澤先生研究會 | ライチーフス會 | 慶應義塾書道會 |
| ワグネルソサエティー | 慶應義塾マンドリン俱樂部 | 郷土教育聯盟慶大支部 |
| 兒童研究會 | 三田俳句會 | 三田社會學會 |
| 中華留日慶大校友會 | 獨逸文學會 | カナモジ會 |

此外に理財學會、法學會、文學會、醫學會等が各學部にあり、豫科には豫科會があり、高等

部には高等部會がある。

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 計理學研究會 | 文化科學研究會 | ハーモニカ、ソサエティー |
| 精神科學研究會 | 心理教育談話會 | 慶大俳句會 |
| 慶應バレット、クラブ | 映畫藝術研究會 | 日本經濟事情研究會 |
| 三田連句會 | 三田短歌會 | 國防研究會 |
| 慶應義塾學生共濟會 | 山上各會聯盟 | 慶應義塾學會聯合委員會 |

慶應義塾出身の名士

まへがき

義塾は安政五年冬新日本の建設者である福澤先生に依つて建設されて以來、數多の人材を社會の各方面に歳々送つて國家に貢献して居る事は今更説明する必要もあるまいがこれから義塾を志望する人々と卒業して就職せんとする人々の何かの参考になれば幸甚と考へて大略方面別に仍つて塾勢力の分布状態を紹介して見やうと思ふ。先づ

官界政界には

塾員が一番少ない社會は官界だ尤も官吏になるには帝大を卒業した方が萬事に合理的であるから塾を卒業してから官吏になる者が少いのは當然である、先づ此方面ではあまり塾員が居りまずぞと自慢する譯には行かない、五一・五事件の犠牲者となつた犬養毅氏は塾が出した初めての總理大臣であつたが全く惜しい事をした次第だ、齋藤前内閣の三長老の一人である山本達雄男は塾の出身であり同じく大藏次官として活躍した堀切善兵衛氏は三十六年の出身だ。

岡田内閣には平野光男氏が參與官となつて居るのが唯一のものであるのは一寸淋しいが、貴族院議員を一瞥すると塾員の議員二十有氏が居

るのが目に付く、その中で加藤政之助氏、山本達雄氏等専門の政治家の外に財界方面の功績で勲選になつた門野幾之進、藤山雷太、磯村豊太郎、藤原銀次郎氏等の名前が光つて居る。

塾出身の代議士は至つて少いが久原房之助氏が日本一の大政黨政友會の大番頭として活躍して居る。久原氏は明治二十二年の塾出身である。元來久原氏は實業界の人であるからその方面で紹介しやうかと思つたが、目下は政黨人として御紹介した方が宜しいから氏は實業方面では敢て省いてある。

學界には

どんな人が居るか、學者といへば別に説明を

加へないでも慶應義塾の教授全部が殆ど塾員なのだから塾の教授名を見よの一言に盡きるから此處では省いて置く。

實業界には

塾員名士が晴渡つた秋の空の星の如くに無數に各樞要の地歩を占めて社會の各方面に活躍して居るが之れを更に事業別に分けて特に名士中の名士を紹介して見やう。

紡績界には

紡績界には云はずと知れた、大鐘紡の前社長武藤山治氏の遺圖をついで、現鐘紡社長津田信吾氏が健在だ、津田氏は明治四十年の卒業で塾員としてはまだ少壯の部類に屬する方であらう

が人も知る鐘紡の淀川工場長として素晴らしい腕の冴へを發揮したのが出世の緒となつて饅上り處か一足飛の大出世で平取締役から一躍社長になつた人だ。

親分肌の人で他人の到底追隨の出来ない程によく人の面倒を見る人である。同じく鐘紡副社長山口八左右氏は廿八年の熟員であり、其他同社には名取和作、多和田督太郎、丸山幸藏、中上川三郎治等の熟員諸氏が重役として斷然光つて居る。鐘紡には此外に社員として熟員數百名が何れも有爲ある前途を持つて活躍して居る事を塾の誇りとして申上げて置く。

貴族院議員で東洋紡の社長である阿部房次郎

氏は明治廿五年の熟員である。

又大日本紡績の専務には小寺源吾氏が居る、氏は三十六年の理財科出身であり、錦華紡績の重役、加藤正人氏は四十三年出の熟員である。紡績界にはまだまだ熟員の名士が尠くないが、此位にして次は砂糖界を一瞥する。

砂糖方面には

先づ日本製糖今日の社礎を基いた前社長藤山雷太氏を挙げねばなるまい。氏は明治廿二年出の熟員でかの有名な日糖疑獄事件で日糖が極度の非常時に直面した時にその立直しを引受けて日糖百年の計を築いた人である。

同社には藤山前社長の御曹子で現社長である

藤山愛一郎氏の外に三十六年理財科出身の金澤冬三郎氏及三十五年卒業の藤山九一の兩氏が常務取締役として活躍して居る外に大勢の熟員が働いて居る。

新高製糖には秋山孝之輔氏、金行二郎氏が居るし、鹽水港製糖社長には植哲氏が光つて居るし、臺灣製糖には益田太郎氏、伊藤重郎氏が居る等砂糖業界にも熟員の勢力は大したものである。

デパート方面には

どんな熟員が分布されて居るだらうか、先づデパートの王座三越には中村利喜太郎氏小田久太郎氏、鈴木梅四郎氏を初めとして殆ど重役全

部が熟員であると云つても大過ない程の一大勢力だ、殊に専務取締役、營業部長として令名の高い北田内藏司氏は明治三十九年出の熟員であるのは心強い感を深くする。社員として熟員も尠くない事は申すまでもない。

白木屋には先年まで香月芳氏が常務取締役として異彩を放つて居つたが、最近香月氏は「美松」の専務として業績の振はなかつた美松の起死の回生の妙薬を與へる任務に懸命の努力をして居つたが先頃勇退した。氏は大正九年の塾出。

京都大丸の専務里見純吉氏は明治卅二年出の熟員である。デパート方面にはまだ、多くの

塾員名士が居るが、此位にして次は、

電気瓦斯方面には

どんな塾員諸氏が活躍して居るかを眺めて見やう。

電気界に於ける福澤桃介氏の存在はあまりにも有名であるが氏は最近業務から退いて實務にはあまり關與して居らない、氏が福澤先生の女婿として實業界に雄飛した足跡は誠に偉大なるものがある。福澤氏同様水力電気界に於ける松永安左衛門氏を知らぬ人はあるまい。氏は廿八年出の塾員で東邦電力の社長として我國電気界に貢献されて居るのは今更説明の必要もあるまい。大日電力には村瀬本一重役が居るが、氏は

福澤桃介氏の懐刀として有名な人、電力界でも第一流に位する人だ。四十一年出の塾員だからまだ年は若い方の人だ。

岐阜電力常務には四十四年出の永瀧松之輔氏その社長には廿九年卒業の名取和作氏が居るし、關東水電には専務取締役の永田準之助氏が居る、永田氏の卒業は明治廿七年だ。

信濃電力の社長は前掲の名取和作氏だ、矢作水力の社長には有名な井上角五郎氏が居る、氏は明治十五年の卒業生だ、數へて見ると氏が卒業してから滿五十年を経過したのだ、かう考へて見ると慶應義塾も古い學校であるといふ感をつく／＼深くする。處が井上氏が古いのなぞと

云つてももつと上手があるのだ、だから恐入つてしまふ、次に眞打として御紹介申上げたいのは東電社長の小林一三氏だ、氏は明治廿七年の卒業生でニツクネームを今太閤と云はれる實業界のファストラックの人であるが、氏が阪神急行の社長として阪神電車と龍攘虎搏の一騎討をやつた事はあまりにも有名な事實である。東電入りをして小林氏は副社長となつたが、昭和八年十一月社長に就任した氏の經營の天稟は溢れに溢れて居る事は説明の必要もあるまいが、氏を社長とする寶塚レヅユー劇場は輪奐の美を帝國ホテル横に出現し、芝居王國松竹に對抗して水もの事業たる劇界に於て全くオリヂナリチイ

の溢れて居る經營振を示して居るのは人の知る處だ。

地方都市にも瓦斯會社が澤山あるが其の中にも熱關係者が經營して居るものが多い。例へば姫路の瓦斯會社は大正十年出の濱本八二郎氏が常務で、濱本家の經營であり、大東京のお隣り市川の瓦斯は熱關係者の三橋氏の經營であるのだ。

電力瓦斯の次ぎに電車方面を眺めると王子電車の支配人今泉健三氏は四十年出の塾員であり又玉川電車の取締役支配人鵜飼重雄氏は四十年出の塾員だ。

地方の電鐵にも塾員の經營に係はるものが尠

くない。

銀行信託には

銀行界にも熟員の数は頗る多い、三井コンツエルの總元締として日本財界一方の雄である三井合名常務理事池田成彬氏は一昨年迄三井銀行筆頭常務として金融界にその名雷の如く轟いて居つた人である、池田氏は二十二年の卒業の熟員である、氏の意圖を襲いで三井銀行筆頭常務取締役となつた菊本直次郎氏は明治廿五年出の熟員だ此外同じく常務取締役である今井利喜三郎氏が廿九年常務取締役である見城重平氏は三十七年の熟卒業である、同じく常務取締役として活躍して居つた三十一年卒業の外山知三氏

は病氣の爲に第一線を先頃退いて加療中の由であるが何れ全快の上は再び目覺ましい雄飛をさるゝ事と考へて居る。蓋し三井銀行の常務取締役五人中三人が熟員であるのを見ても三井銀行に於ける熟の勢力が如何に根強いものであるかを知ると共に人材が如何に銀行界にも配布されて居るかを知る事が出来よう。三菱銀行には三十四年出の熟員加藤武男氏が常務取締役として長年活躍して居るが、一昨年から三十九年卒業の、丸山英彌氏も常務取締役となつて活躍してゐる。

先年の若槻民政内閣崩壊の原因となつた、銀行閉店騒動の際救済銀行として昭和銀行が生れ

た事は未だ世人の耳目に新たなる處であらう。此の昭和銀行の頭取である、生田定之氏は廿二年出の熟員である。尙同行には前掲の今井利喜三郎氏も重役になつて居る。

此外に銀行界に居る熟員名士を列挙するとなると到底少しのスペースでは及びもつかぬ仕事になるが、山口銀行の山口吉郎兵衛氏、内國貯金の頭取足立莊氏等を初めとして名士有材雲の如くに控へて居る事を御知置願度い。

信託業界にも勿論熟員の華々しい活躍は敢て説明の必要もあるまいが、三井信託だけでも、池田成彬氏、米山梅吉氏、初波平二氏、城後信吉を初め熟員の重役が頗る多い。

地方の銀行信託の樞要の地位にも熟員の居らぬ處は殆どあるまい。

實例として地方の銀行重役の名前を二つ三つ御紹介して見る。

富山にある兩礪銀行取締役西能源四郎氏は四十五年出の熟員、福島の磐城銀行専務白井一郎氏は大正二年出の少壯熟員で地方の名望家、少壯熟員の御紹介次手に青森の河野榮藏氏の名前を一寸借用しやう、氏は大正九年出の熟員海産物商である河野商店を主宰する外に各會社の重役を兼任して居る。下北銀行、青森貯蓄銀行の各重役も氏の肩書の一つである。

信州上田にある第十九銀行常務取締役たる黒澤

利重氏は明治四十四年出の熟員だ、銀行の項は此位にして次は保険界だ。

保険界には

保険には之亦頗る熟員名士が多いのに書き乍ら驚いてしまふ位だ。

之れも考へれば尤も千萬だと思ふ。何しろ我國保険の開祖と云はれる故阿部泰蔵氏は熟の大先輩であり、明治生命の社長であつた事はあまりにも有名なる事實である。その流れを酌む熟員である保険界にも熟員の多いのは當り前の譯だ。先づ順序として明治生命から初めやう、明治生命には熟の人が頗る多い。重役にも藤田讓氏、小山完吾氏を初めとして多士濟々だ。水上

瀧太郎のペンネームで有名な阿部章蔵氏は故泰蔵氏の御曹子であるが既に重役の地位を占め、將來の社長候補として認められて居る駿足だ。

千代田生命及千代田火災は要するに熟員で全部出来上つた會社だ。社長門野幾之進先生は熟の最古老者の一人で既に八十歳の高齡であるが豊録として活動して居られる。千代田生命の常務堀井卯之助氏は卅二年の特選熟員若手の腕利き重役として令名のある土井正司氏は四十年の熟員であり、中上川三郎治氏は四十五年卒業の熟員である。千代田火災の方では専務近權内氏は三十九年出の熟員、其の他重役はは此の兩社共殆ど全部熟員だから一つ／＼拾つて熟員を紹

介申上げる事は出来ない程なのだ。

帝國生命の社長朝吹常吉氏は明治四十年出の熟員、氏の先考朝吹英二氏は熟の大先輩として熟の今日あるには大功績のあつた人だ。同じく帝國生命には取締役鈴木太郎氏が居る、氏は明治廿八年の義塾出身だ。

日本徴兵保険には足立莊氏が居るし、日本海上保険の常務取締には右近福次郎氏が居る。又第一火災海上保険の社長柳莊太郎氏が居り、大東海上火災の常務は四十三年出の山本沆氏が居る等、保険界には熟員の數が頗る多いのは前に申上げた通りである。

新聞界には

新聞界には熟員の數が少い様に思つて居る人

があるが、それは大間違ひだ、一時は成程實業界萬能で新聞方面を等閑に附する嫌ひがないでもなかつたが、何と云つても時事新報を創始し日本新聞界の十大先覺の一人であると云はれる福澤先生の薫陶を受けたり、其の徳を慕つて熟員となつた人達だから新聞記者及新聞經營者の數も決して尠くない、世界屈指の新聞として其の名も高い大阪毎日新聞社専務取締役奥村信太郎氏主幹高石信五郎氏を初め同社には少壯熟員で將來有爲の人材が尠くない、經濟部長下田將美氏は大正三年出の熟員、永らく時事新報の經濟部長を勤めて榮轉して大毎經濟部長となつた

人艶麗の筆と親分肌の部長さんとして評判のよい人だ、同社の東京支店東日の経済部長杉山幹氏も大正三年出の塾員だ。時事は由來塾直系の新聞として有爲なる新聞記者が澤山生れて居る、又同社で育ち他社で成功して居る人も決して尠くない、現讀賣の経済部長山崎清純氏は大正八年出の塾員である、新聞記者と云はるか學者と云はるか兎に角時事新報主筆とししチャイナリズムの社會に燦然輝いて居るのは法學博士板倉卓造氏だ、氏は慶應義塾の教授として多忙の身を特に時事新報の爲に論說欄を擔當して居られるのである、既に新聞社からは今退いては居るが軍縮の記事が新聞紙上に出る毎に思出

されるのが海軍記者のナンバーワン伊藤正徳氏だ氏は大正二年卒業の塾員で先年華府會議の特派として四國條約の決定を特報して世界一の新聞記者たる令名を馳せた人だ。時事新報代表取締役山本昌一氏を筆頭に福澤先生創始の新聞だけあつて時事新報に於ける塾員の數は仲々多い、此以外にも新聞界に塾員の數は仲々多い、番記者方面に於ては早大出身の方が多いと云ふ事は人の知る處だ、之れは義塾出身はどつちかと思ふ。へば經營者向の人が多い爲であらうかと思ふ。

一般事業界には

日本で最も統制のとれた事業といへば製紙業だ、王子製紙、富士製紙兩立の時代はさうでも

なかつたが兩者に樺太工業を加へて新に生れた王子製紙株式会社は巨大な資本を擁して製紙界に君臨し、遂に日本製紙業界の王座を占め、價格に於ても販賣政策に於ても全く一絲亂れざる統制の下に事業を營む事になつた、此の大事業のリーダーたる王子製紙株式会社々長藤原銀次郎氏は明治廿二年出の塾員で、藤原氏が初めて乗込んだ王子製紙は誠に文字通りのボロ會社であつたが氏が銳意努力の結果今日の大王子製紙を建設する迄には幾多の血の滲む様な苦心があつたのであるが、今日の王子製紙の存在は全く産業界の壯觀であると云はねばならない。北海道炭礦汽船の社長磯村豊太郎氏も二十二年の卒

業だ、どうも廿二年といふ年は素晴らしい大實業家を輩出して居るのを感じて居る次第だ。前掲の塾の長老門野先生の令弟である門野重九郎氏は大倉組副頭取として實業界に隠れも無い大きな存在である、氏は明治十七年の卒業でその令弟門野鍊八郎氏は廿二年の卒業で東神倉庫株式會社の監査役をして居られる、門野家は慶應義塾にとつては縁故の深い名門であつて門野先生を筆頭に六七人の一門の人々が、何れも義塾を卒業して各方面で活動して居る、門野一家は三重縣の出身だ、門野家一門の事を御紹介した序に義塾に一門で大勢卒業して居る名家を二三紹介して見やう。

保険の項で御紹介した阿部泰藏氏の一門も大勢塾を卒業して居る、筆者が在塾當時に阿時泰藏氏が講演をした事があつた。その時に「自分の子供は十何人あるがその中の男子八人は全部塾を卒業したか或は在塾中のものだ」と云はれたのを憶へて居るが、既にそれから十數年経過するから八人の阿部一門は塾員となり、何れも違つた方面で活躍して居る。だが全く之れは塾の名物の一つとしてよく話に出る事であり、且つ阿部兄弟の柔道の強いのは有名な話で兄弟の段數併せて二十何段となるといふのだから此等でも一寸他に類例のないスポーツ兄弟でもある。

次は中上川次郎吉氏、中上川三郎治氏、中上

川鐵四郎氏、中上川勇五郎氏等の兄弟だ、此兄弟の中には勇五郎氏は塾員になつて居らないが他は何れも塾員だ、此の兄弟の父君中上川彦次郎氏は大三井今日の基礎を築いた日本實業史上特筆大書すべき大實業家であり且つ中上川彦次郎氏の爲に塾今日の勢力も大いにその時に伸長された次第であるのだ。

福澤先生の御一門も多く塾の卒業生となつて居られるのは當然であるが福澤家の御相續者たる一太郎氏は社頭として義塾の爲に盡瘁されて居る、時事新報社長であつた福澤捨次郎氏は數年前に物故されたが、その令弟三八氏、大四郎氏は等何れも健在で各方面で活躍して居る一太

郎氏の息八十吉氏、捨次郎氏の息時太郎氏も義塾を出身して活躍されて居る。

福澤桃介氏は福澤先生の女婿であるが、先づ先生の女婿中一番名が出た人であらう。

個人的經營事業方面では

一寸妙な見出しになつたが、之れは説明すると従来よりの家業に従事して居る人と獨立して成功して居る人との二つを御紹介しやうといふ意味なのだ。

塾の卒業生の二三割位は家業に従事する様であるが塾關係者卒業生の經營してゐる事業は實に各方面に多く散在して居るのに驚くのだ。一寸化粧品業界を眺めてもライオン齒磨の小林氏

レート化粧料の平尾氏親子の如き、ラヅミー化粧品の奥住氏の如きは何れも塾の出身者だ、他に料理屋旅屋各種問屋事業等を、或は父祖の業を繼ぎ或は自力に於て一旗上げて獨力經營するなりして居るのも決して尠くない、之れは何等かの機會に一冊の本にでも書くなら思切つて書けるが、何分にも僅か許りのスペースでは到底その意を充す事が出来ないから此邊で止めるが要するに社會何れの方面に於ても塾の勢力の偉大なる事を知るには塾員相互に力強い感を覺ゆると共に、今後入學試験を受けて塾に入らんとする諸君にしても、先輩が力強い地盤を社會に持つて居るといふ事は何かに附けて、一つの太

きな力を與へるものと考へてよからう。
 又醫學部は社會に卒業生を送つて十二年しか
 ならないが、何れも臨床方面でも學究方面でも
 著名有名な人材として我醫學界に重きをなして
 居る。

教職員住所録

いろは順同姓ハ先任順
 (醫學部ヲ除ク)

世田谷區玉川奥澤町一ノ一七五(圖書館) 伊藤 肇子
 澁谷區代々木西原町九五九 (文學部) 伊藤吉之助
 大森區上池上町小池二〇四 (豫科) 伊藤 兼一
 麻布區籠筒町九 (法學部) 伊藤 政寛
 南多摩郡日野町二七〇〇 (商工) 伊藤 正一
 麻布區籠筒町四四 (日吉建築) 伊藤 昇三
 大森區馬込町東四ノ三九〇 (高等部) 伊東 信吉
 大森區新井宿二ノ一四五四 (商工) 伊丹榮七郎
 澁野川區中里町二七一 (文學部) 伊木 壽一
 電小石川二八三
 神奈川縣日吉村矢上一三一ノ二(豫科) 猪原 安
 江戸川區西小松川一ノ三四(九) (高等部) 井原 紘
 中野區打越町五二 電中野四七三 (普通部) 井上長太郎
 豊島區雜司ヶ谷四ノ五八〇 (圖書館) 井上 芳郎
 大森區田園調布二ノ八四三 (文學部) 井波 清治
 日黒區下日黒三ノ三八 電高輪四八三(商業) 井寺 峰吉
 麻布區山元町三二 (維持會) 岩井恭太郎

澁橋區西大久保二ノ二〇五 (經濟學部) 岩田 似
 目黒區大岡山四一 (幼稚園) 岩瀬 金壽
 豊島區長崎南町三ノ三八五九 (幼稚園) 岩瀬 虎治
 品川區大井倉田町三二〇八 (商業) 市毛 達
 澁谷區伊達町二七 (普通部) 市島賢次郎
 杉並區阿佐ヶ谷五ノ三〇 (商工) 大塚 久雄
 杉並區井荻一ノ六八 (商工) 生野恒太郎
 澁橋區上落合二ノ五九九 (文學部) 板垣 鷹穂
 荏原區戸越町四三 電荏原三五七 (法學部) 板倉 卓造
 世田谷區羽根木町一七四〇 (法學部) 今泉孝太郎
 日黒區下日黒四ノ九七四 (文學部) 今宮 新
 蒲田區女塚町五七三 (維持會) 池田 寛
 中野區大和町四二 (教務) 池田 道孝
 麻布區永坂區一 電赤坂三五五 (高等部) 池田 潔
 日黒區下日黒三ノ六五六 (豫科) 石井 誠
 澁谷區青葉町七 (豫科) 石丸 重治
 横濱市中區本牧町二ノ三二八 (豫科) イー スト
 下谷區二長町三三 電下谷三三五(文學部) レーキ
 渡多郁太郎

大森區田園調布三ノ九四ノ一 (文學部) 畑 功
 電田園調布三三
 澁谷區中通三ノ三〇 田中方 (圖書館) 幡 利吉
 荏原區小山町一七五 (日吉機關部) 島山 誠
 大森區調布嶺町一ノ一七三 (法學部) 英 修造
 電田園調布二〇三
 目黒區月光町一四五 (幼稚園) 原 六郎
 芝區三田豐岡町一三 (豫科) 原口 令成
 大森區南千束町一二〇 (豫科) 伴 莊一郎
 澁谷區永住町二 (會計) 早川 豊水
 澁谷區伊達町九九 電高輪五五 (法學部) 林 毅陸
 澁谷區原宿一ノ一一九 (商工) 林 重吉
 神奈川縣鎌倉町大町延命寺裏 (高等部) 濱田 恒一
 澁橋區西大久保三ノ一五〇 (學部教練) 濱之上俊秋
 小石川區大塚坂下町七 (文學部) 萩原芳之助
 四谷區坂町五五 (庶務) 萩倉 即代
 杉並區荻窪三ノ四七 (文學部) 橋本 増吉
 芝區葎手町二六 (文學部) 橋本 孝
 品川區大井坂下町二七九二 (高等部) 橋本 勝彦
 麻布區龍土町六七 (文學部) パーバンク

芝區三田南寺町一〇 (維持會) 二宮 正秀
 芝區通新町一三 (用度) 仁木 武雄
 品川區大井坂塚町四九二二 (幼稚園) 仁木林之助
 橫濱市磯子區中原町五〇三 (文學部) 新館 正國
 電本局二四五
 大森區馬込町東二ノ九四一 (商業) 新村武之進
 豐島區長崎町三ノ四二四五 (文學部) 新關 良三
 澁谷區字田川町六三 (文學部) 西脇順三郎
 日黒區中日黒四ノ一四二〇 (豫科) 西川 寧
 澁谷區櫻ヶ丘町五五 (豫科) 西谷 謙堂
 神奈川縣茅ヶ崎町東原 (囑託) 西村富三郎
 電茅ヶ崎二五
 日黒區自由ヶ丘一五四 (庶務) 西村 敢
 日黒區下目黒三ノ五九〇 (商工) 西村 忠雄
 品川區大井瀧王子町四六 (日吉教務) 西村五十馬
 品川區東大崎三ノ一三 電高輪七二 (法學部) 西本辰之助
 大森區田園調布四ノ一〇六 (豫科) 堀 梅天
 牛込區喜久井町二〇 (豫科) 堀 英四郎
 中野區上高田一ノ二二 (豫科) 堀 正節
 本郷區駒込曙町六 電大塚三三 (豫科) 堀田 周一
 芝區松本町四四 (教務) 堀内寅三郎

芝區田町一ノ八 (會計) 細井 時雄
 北多摩郡武藏野町吉祥寺裏 (法學部) 細野 長良
 電吉祥寺三五
 澁谷區藤田一ノ一一八 (幼稚園) 星野 靜枝
 杉並區荻窪二ノ一一九 (豫科) 戸川 明三
 麴町區三ノ一〇 昭和莊 (圖書館) 戸鞠 雅彦
 中野區昭通一ノ一 電中野四六 (高等部) 豊島 定
 世田谷區北澤二ノ三八ノ一五 (法學部) 豊水 道雲
 電世田谷三三
 小石川區指ヶ谷町一 (文學部) 常盤 大定
 電小石川三〇
 世田谷區鼓卷町二ノ三二〇 (普通部) 富岡甲子郎
 大森區北千束町五〇〇 (三田評論) 富田 正文
 神田區橋本町二ノ三 電浪花三九五 (文學部) 友田善二郎
 深川區三好町二ノ二 電本所四七〇 (豫科) 友松 圓諦
 神奈川縣日吉村矢上七九八 (日吉教務) 土岐 三吉
 荏原區中延町一〇七一 (文學部) 茅野儀太郎
 電荏原三六一
 品川區上大崎町一ノ七六七 (豫科) 近山 金次
 澁谷區羽澤町八 電青山三三五 (商業教務) 小川恒治郎
 世田谷區上馬町一ノ五九七 (學部教練) 小倉 勇
 麻布區六本木町六七 (豫科) 小俣 謹示

蒲田區小林町二〇〇 (庶務) 小澤 愛園
 麻布區廣尾町六七 (幼稚園) 小澤 君江
 本郷區西片町一〇 (法學部) 尾後貫莊太郎
 世田谷區玉川尾山町一六二 (普通部) 大石 柳藏
 豊島區池袋四ノ四四〇 (文學部) 大西 克禮
 澁谷區代々木山谷町一二二 (幼稚園) 大谷 恒郎
 品川區上大崎三ノ三三六 (幼稚園) 大谷 恒郎
 芝區田町八ノ六 (會計) 大竹 文雄
 日黒區綠ヶ丘二二八三 (商工) 大熊 直橋
 澁橋區下落台二ノ六二五 (商業) 大山 壽平
 澁谷區藤田一ノ九 電青山三五 (文學部) 大山 柏
 日本橋區濱町三ノ六 (豫科) 大瀬 貴光
 杉並區上荻窪町七五八 (商業) 大島 英二
 世田谷區玉川奥澤町三ノ九四 (商工教務) 太田 春雄
 日黒區中日黒四ノ一二四七 (豫科) 太田 善男
 澁谷區天現寺 寄宿舍内 (寄宿舍) 太田 竹喜
 下谷區入谷町一二六 (豫科) 折館 正直
 品川區大井出石町五〇五二 (文學部) 折口 信夫
 澁谷區代々木西原町一〇〇六 (文學部) 國部彌太郎

澁谷區代々木富ヶ谷町二〇三〇 (豫科) 岡村 周諦
 神奈川縣葉山町堀内牛ヶ谷 (經濟學部) 奥井復太郎
 一八六三 電葉山二六 (商工) 奥田 繁藏
 日黒區洗足一四七〇ノ三 (豫科) 奥野信太郎
 麻布區市兵衛町二ノ二七 (法學部) 及川 恒忠
 大森區北千束町七九七 (豫科) 渡邊 愛三
 豊島區長崎仲町一ノ二五〇六 (豫科) 鷺見龜五郎
 大森區山王三ノ二六六 電大森三五 (豫科) 鷺見龜五郎
 澁谷區代官山町澁谷アバウト (豫科) 鷺巢 尙
 三二ノ三〇七 (會計) 加藤 九平
 世田谷區玉川上野毛町三ノ二 小池方 (豫科) 加藤幸重郎
 澁谷區羽澤町三八 (豫科) 加藤 元彦
 芝區白金今里町九六 (豫科) 加藤好太郎
 世田谷區玉川奥澤町一ノ三三三 (文學部) 加藤 繁
 杉並區和泉町三九六 (經濟學部) 加田 忠臣
 神奈川縣藤澤町鶴沼柳小路 電鶴沼三三 (豫科) 河邊 治六
 大森區雪ヶ谷町字並木二〇七 (法學部) 河邊 幸吉
 千葉縣木更津町一五六五 電木更津三三 (幼稚園) 河野 健美
 澁橋區百人町三ノ三六九 (幼稚園) 河野 健美

世田谷區北澤二ノ一 電世田谷三三 (高等部) 河野 房夫
 下谷區谷中上三崎北町三一 (豫科) 河口 眞一
 澁橋區下落合町四ノ二一〇八 (法學部) 川上 多助
 荒川區日暮里三ノ七三一 (維持會) 川上三五郎
 中野區宮前町三三 (豫科教練) 川田 義夫
 荏原區中延町一一一 (豫科教練) 川村 字一
 澁谷區代々木山谷町三五代々木莊 (教務) 川村 直吉
 電四谷二四八 (資金募集) 川久保孝雄
 中野區千光前町二五 (商工) 川股 惣七
 杉並區上荻窪町五九八 (文學部) 川合 貞一
 世田谷區玉川奥澤町二ノ六五五 電田園調布四二 (豫科) 片岡 龍尾
 澁橋區下落合二ノ八〇五 (豫科) 金子 竹次郎
 日黒區自由ヶ丘一五〇 (商工) 金子 光昭
 豊島區巢鴨五ノ一一三三 (豫科) 金田 廉
 日黒區大岡山二二二六 (高等部) 柄澤日出雄
 神奈川縣鎌倉町扇ヶ谷六一四 (幼稚園) 掛貝 芳男
 杉並區高圓寺六ノ六三七 (商工) 笠原嘉次郎
 麻布區山元町三四 (豫科) 龜井 常藏
 日黒區自由ヶ丘二三三五 (豫科) 龜井 常藏

蒲田區女塚町二〇八 (庶務) 龜山 三郎
 澁谷區景丘町二一電 高輪三三三 (法學部) 神戶寅次郎
 浦和市三六九〇 電浦和七六 (經濟學部) 神田 孝一
 澁谷區豊澤町宅慶應義塾寄宿舎 (寄宿舎) 柏木 房吉
 杉並區天沼一ノ二九 電荻窪三五 (豫科) 柏谷 眞洋
 赤坂區青山高樹町一二ノ五 (法學部) 米山 桂三
 電青山五六八 (普通部) 横田 仁郎
 澁橋區下落合二ノ七九五 (文學部) 横山松三郎
 横濱市磯子區磯子町字濱五五六 (豫科) 横山 重
 麻布區一本松町七 電高輪二七〇 (庶務) 横山 照子
 赤坂區青山北町四ノ四六 電青山二六四 (商業) 横瀬 亮
 牛込區若松町六一 (豫科) 芳野 廉三
 神奈川縣逗子町逗子池田三〇 (圖書部) 吉岡 紀道
 荏原區中延町九三 (豫科) 吉川 靜雄
 大森區馬込町東二ノ一〇〇四 (幼稚園) 吉田小五郎
 大森區調布鶴ノ木町四九三 (機關部) 吉田 寅藏
 芝區三田綱町九 (商工) 吉田 寛
 小石川區高田豊川町四七 (商業) 吉田 啓一
 本郷區駒込曙町六 電大塚五四 (商工) 吉田 啓一
 本郷區駒込千駄木町六三 (商工) 太原 彦一

麴町區富士見町二ノ九 電九段五元 (豫科) 田中市郎衛門
 小石川區水道端二ノ四四 (豫科) 田中 未又
 日黒區富士見臺一五四五 (商工) 田中 鑑光
 世田谷區鼓卷町二ノ三一七 (豫科) 田中 吟龍
 麻布區我善坊町二七 (豫科) 田中 荆三
 大森區馬込町東一ノ一二六四 (豫科) 田島 重雄
 日黒區上日黒五ノ二六一九 (圖書部) 伊達 良春
 大森區雪ヶ谷町五〇 (商業) 垂井信四郎
 芝區白金今里町七七 (豫科) 高木 修二
 日黒區上日黒五ノ二四二三 (豫科) 高原 武臣
 澁谷區伊達町七 電高輪三三三 (維持會) 高橋 珍龍
 澁谷區東大磯町一〇 (經濟學部) 高橋誠一郎
 神奈川縣大磯町王城山五元 電大磯六六 (普通部) 高橋謙次郎
 横濱市鶴見區平安町一ノ二九三 (豫科) 高橋 龍雄
 澁橋區西大久保一ノ三六五 (幼稚園) 高橋 立身
 日黒區大岡山二四 (幼稚園) 高橋 勇
 澁野川區田端町六三四 (豫科) 高橋 廣江
 日黒區宮ヶ丘一八七四 (普通部教務) 高田 武一
 川崎市京町一ノ一三六 (商工) 高田 六郎
 澁橋區柏木一ノ一四四 (商工) 高田 六郎

本郷區駒込富士前町六四 (高等部) 高田 良助
 杉並區大宮前六ノ三五七 (文學部) 高田 眞治
 本郷區本郷一ノ七(洋行中) (經濟學部) 高村 象平
 神奈川縣逗子町乃路木四三一 (法學部) 高柳 賢三
 赤坂區青山高樹町一四ノ六號 (幼稚園) 高山 修一
 大森區北千束町七二三 (高等部) 高木 壽一
 澁谷區下落合二ノ八〇五 (普通部) 高見順三郎
 芝區白金今里町八九 (商業) 高島千代楠
 日黑區向原町二四二 (普通部) 高瀬 關
 日黑區高木町一五二〇 (商業) 武井 保雄
 澁谷區幡ヶ谷本町三ノ三六六 (商業) 武田 勝藏
 大森區田園調布三ノ三二五 (經濟學部) 武村 忠雄
 日黑區下日黑四ノ九七二 (豫科) 竹内左馬次郎
 品川區大井山中町四一七六 (日言建築) 宗 幸夫
 杉並區上荻窪町九〇三 (法學部) 孫田 秀春
 荏原區小山町五一電荏原四二〇(經濟學部) 園 乾治
 世田谷區玉川與澤町一ノ四七一 (囑託) 對馬 機
 神奈川縣沼沼西海岸 (法學部) 津田 利治

千葉縣船橋町九日市一二六〇 (幼稚園) 椿 貞雄
 品川區東大崎三ノ二二四 (豫科) 土田都止雄
 品川區東大崎三ノ二二四 (普通部) 土田富士雄
 赤坂區青山高樹町三 (高等部) 恒松 安夫
 杉並區大宮前五ノ二九〇 (豫科) 内藤政太郎
 目黑區洗足二四四 電荏原元六〇 (商業) 直木松太郎
 日黑區下日黑四ノ九七五 (商工) 鍋島 能弘
 芝區南寺町三三 大島方 (豫科) 仲 榮壽
 芝區三田綱町三普通部構内 (普通部) 中山唐之助
 杉並區馬橋四ノ四四三 (普通部) 中山 一義
 蒲田區出雲町九八 (商工) 中澤吉之助
 芝區高輪臺町七 (幼稚園) 永野 房夫
 大森區山王二ノ一九三四 (經濟學部) 永田 清
 澁谷區幡ヶ谷本町二ノ三五三 (法學部) 永澤 邦男
 豊島區池袋町二ノ一一二七 (豫科) 長尾晋志朗
 澁谷區下落合一ノ五四二 (商業) 長尾 雄
 澁谷區上智町二 電落合長崎二六六 (豫科) 牛江惣太郎
 澁谷區代々木富ヶ谷四七〇 (日言建築) 永島 芳郎
 横濱市神奈川區齊藤分町二五 (豫科) ランフォード

日黑區上日黑四ノ二二二九 (日言會計) 室谷次三郎
 大森區田園調布三ノ三四二 (經濟學部) 向井 鹿松
 深川區龜住町三 電本所二五七 (豫科) 向井 鏡一
 澁谷區柏木町三ノ三四二 (商工) 向出 利雄
 麻布區富士見町三六 (文學部) 村松 正俊
 神奈川縣逗子町一〇〇六 (商工) 村田 武雄
 芝區白金三光町四〇九 (幼稚園) 内田 英二
 品川區西品川三ノ八七六 (幼稚園) 宇都宮文男
 澁谷區千駄谷町二ノ四八四 (日言豫科) 上田 ふさ
 麻布區竹谷町一ノ一二 (維持會) 上田長一郎
 大森區馬込町東一ノ一三七一 (文學部) 占部百太郎
 板橋區小竹町二三八五 (庶務) 海野 幸照
 神奈川縣鎌倉町長谷大谷三三〇 (法學部) 潮田 江次
 澁谷區上智町四八 (豫科) ウィード
 芝區芝公園一三 (普通部) ウィルズ
 澁谷區戸塚町三ノ九五六 (豫科) ウィンクラー
 牛込區市ヶ谷谷町九六 (學部) 柳野穰二郎
 芝區三田小山町三 電三田一九三 (商業) 野津 榮義

神奈川縣藤澤町大鋸 (經濟學部) 野村兼太郎
 (御所ヶ谷) 電藤澤二五 (文學部) 野口米次郎
 中野區櫻山町四一 (商工) 久保田富雄
 品川區西大崎四ノ七八三 (幼稚園) 久保田武男
 澁谷區西大久保三ノ一四三 (普通部) 久保村誠司
 澁谷區伊達町一四 (維持會) 黒田 吉治
 杉並區永福町四六一 (日言教務) 栗原 利人
 日黑區中根町一九四一 (豫科) 栗林 茂
 中野區文園町二九 (法學部) 栗栖 越夫
 大森區南千束町二四二 (豫科) 厨川 文夫
 世田谷區下馬町三ノ五五〇 (會計) 倉井 忠
 荏原區中延町一〇八二ノ四 電荏原三三八 (圖書館) 楠山多鶴馬
 澁谷區諏訪町三五 (日言建築) 補元 一正
 澁谷區原宿町一ノ七〇 (法學部) 矢追 秀作
 目黑區唐ヶ崎町六一〇 (幼稚園) 谷内田留五郎
 川崎市渡田九六一 (教務) 柳原 義雄
 澁谷區十二社四一九 (學生係) 山井 利男
 大森區北千束町七三六 (高等部) 山根 正純

澁谷區惠比壽通一ノ九 (庶務) 山村 材美
 杉並區荻窪一ノ二七 (豫科) 山村 讀治
 麻布區廣尾町二 (普通部) 山内 正雄
 世田谷區太子堂町一六八 (法學部) 山口 弘一
 目黒區高木町一五〇二 (法學部) 山崎又次郎
 世田谷區玉川與澤町二ノ五八 (商工) 山崎 恒吉
 板橋區上石神井町二ノ八一九 (圖書館) 山本徳三郎
 大森區池上本町二一 (普通部) 山本 光郎
 世田谷區代田一ノ四〇四 (商工) 山本勝太郎
 中野區道玄町一九 (文學部) 山本 快龍
 中野區鷺ノ宮四ノ九四四 (普通部) 山本萬二郎
 麻布區山元町二 (庶務) 山本 敏夫
 大森區新井宿四ノ九〇一 (經濟學部) 山本 登
 澁谷區伊達町七一 (文學部) 岡崎 萬里
 澁谷區代々木初臺町六〇九 (商工) 眞崎 儀三
 大森區馬込町東一ノ一〇九〇 (法學部) 前原 光雄
 杉並區天沼一ノ二一六 (高等部) 前川 三郎
 埼玉縣大宮町高鼻五四 (豫科) 前田 長太
 蒲田區道塚町一三六 (高等部) 町田義一郎
 本郷區西片町一〇一ノ四九 (文學部) 丸尾彰三郎
 大森區田圃調布四ノ一二三 (豫科) 丸山 胤照
 本郷區駒込蓬萊町四一 (維持會) 松井 保二
 杉並區高圓寺三ノ二五〇 (幼稚舎) 松原 辰雄
 大森區田圃調布四ノ一二二 (豫科) 松野 喜内
 中野區千光前一八 (學部教練) 松崎 直人
 目黒區中目黒三ノ一五三 (維持會) 松本 惣市
 目黒區下目黒四ノ九七四 (文學部) 松本 芳夫
 世田谷區東玉川町三五九一 (文學部) 松本 信廣
 目黒區上目黒一ノ一二六 (豫科) 松本 良三
 大森區田圃調布四ノ二〇五 (文學部) 松本 正夫
 杉並區松ノ木一ノ一九安岡方 (普通部) 牧野 常雄
 中野區本町通五ノ二八 (經濟學部) 増井 幸雄
 芝區三田臺町二ノ五 (學生係) 増田卯之助
 澁谷區原宿三ノ三〇六 (商工) 外記甚之丞
 京橋區銀座西五ノ二 (商工) ボールケート
 澁谷區金王町一二 (商工) 藤井五一郎
 神奈川縣藤澤町大鋸三三三 (經濟學部) 藤林 敬三

北多摩郡武藏野町吉祥寺二七〇 (法學部) 藤江忠二郎
 本郷區元町二ノ二三 (日吉學生係) 古田武太郎
 赤坂區榎坂町三 (圖書館) 古川 衛門
 本郷區東片町一三四 (文學部) 船田 三郎
 澁谷區千駄ヶ谷五ノ九〇二 (豫科) 船田 敬一
 新宿ハウス (電四谷二八六) (普通部) 福田徳太郎
 京橋區京橋三ノ四 (豫科) 福谷 益三
 中野區西町三三 (豫科) 福澤 八十吉
 芝區三田二ノ二 (電三田三) (教務) 福澤 三八
 芝區白金三光町二 (電高輪三〇四) (豫科) 福崎和一郎
 北多摩郡砧村喜多見二一七五 (普通部) プルニエー
 荏原區中延町四三〇 (高等部) プルニエー
 淀橋區戸塚町一ノ四九五 (文學部) プルニエー
 杉並區高圓寺五ノ八五九 (文學部) プルニエー
 北多摩郡武藏野町吉祥寺本田 (法學部) 小池 隆一
 北三九四 (法學部) 小池 隆一
 大森區新井宿三ノ二八八川口方 (經濟學部) 小池徳太郎
 目黒區原町一四〇四 (幼稚舎) 小池喜代藏
 澁谷區代々木富ヶ谷町二 (文學部) 小林 澄兄
 杉並區下高井戸一ノ二七一 (會計) 小林 幹治
 澁谷區水川町五五 (豫科教練) 小林 良策
 澁野川區西ヶ原一〇七 (豫科) 小林秀治郎
 横濱市鶴見區東寺尾町二六六 (豫科) 小林高四郎
 日本橋區兩國一八ノ五 (洋行中) (豫科) 小林榮二郎
 横濱市磯子區西根岸馬場六 (經濟學部) 小高 泰雄
 日黒區中目黒三ノ九六五 (高等部) 小村 實
 豊島區雜司ヶ谷町七ノ九四七 (文學部) 小柳司氣太
 豊島區西巢鴨二ノ二四八九 (豫科) 小松 春三
 日黒區中目黒三ノ九五〇 (商工) 小松 房三
 日黒區下目黒三ノ六五六 (豫科) 小柴 三郎
 芝區芝公園地一四ノ一九 (經濟學部) 小島 榮次
 四谷區内藤町一 (電四谷三三〇) (會計) 小島 忠熙
 淀橋區下落合一ノ四六二 (會計) 兒玉 武雄
 淀橋區上落合二ノ五九二 (豫科) 兒玉 省
 横濱市神奈川區子安町溝下二八五 (普通部) 古明地親光
 赤坂區青山南町三ノ六〇 (商業) 古宮 新吾
 小石川區關口臺町二六 (文學部) 古城 貞吉
 杉並區上荻窪町四四〇 (文學部) 幸田 成友

芝區二本榎一ノ四七 (商工) 幸野 省三
 澁谷區伊達町二一 (普通部) 香下 支人
 世田谷區若林町二三五 (豫科) 後藤 格次
 本郷區向ヶ岡彌生町三三三 (豫科) 後藤 末雄
 大森區田園調布四ノ一二九 (豫科) 後藤 純三
 芝區二本榎二ノ三三 (圖書館) 國分 剛二
 澁野川區田端六〇八 (商工) 五味 保義
 大森區田園調布一ノ一〇八五 (用度) 江田 範保
 小石川區白山前町七三 (豫科) 江間 俊雄
 大森區入新井四ノ四九 (幼稚園) 江澤清太郎
 四谷區須賀町四一 (普通部) 衣斐 久雄
 澁谷區原宿二ノ二〇九 (經濟學部) 遠藤 誠
 麴町區富士見町一ノ三ノ二 (日吉學生係) 照井 伊豆
 電九段三三 (經濟學部) 寺尾 琢磨
 大森區堤方町九〇七 (學部教練) 手塚 省三
 中野區上ノ原一六 (文學部) 阿部 重孝
 豐島區駒込六ノ八三 電大塚五五八 (豫科) 相會 博
 杉並區荻窪二ノ一二〇 (豫科) 相內武千雄
 神奈川縣藤澤町鶴沼下藤ヶ谷 七三四九ノ六 (豫科)

世田谷區玉川奧澤町一ノ三三 (會計) 相澤 惇
 橫濱市中區本郷町三ノ二九〇 (豫科) 有賀 春雄
 大森區田園調布四ノ一一三 (豫科) 青木 巖
 王子區堀舟町一ノ九二六 (商工教務) 赤羽 榮一
 目黒區原町一二一五 (幼稚園教務) 赤澤 一藏
 目黒區下目黒四ノ九九一 (庶務) 荒井眞三郎
 芝區白金三光町四五二 (圖書館) 安食 高吉
 世田谷區上馬町一ノ八六四 (普通部) 安藤榮次郎
 世田谷區弦卷町二ノ三一〇 (豫科) 尼寺源之助
 大森區田園調布二ノ八四五 (文學部) 天川 勇
 赤坂區青山南町四ノ四五 (法學部) 淺井 清
 芝區田村町六ノ七ノ七 電芝三〇八 (豫科) 淺羽 義夫
 世田谷區代田二ノ一〇〇七 (普通部) 淺子勝二郎
 小石川區大塚仲町五二 (教務) 朝岡 正夫
 澁谷區景丘町一六 (經濟學部) 秋田常二郎
 澁谷區豐澤町六七 (資金募集) 秋元 銚治
 牛込區中町二八 電牛込三六 (法學部) 蘆田 均
 澁谷區惠比壽通一ノ九(洋行中) 電高輪二六五 (高等部) 佐原 六郎
 目黒區富士見臺一五四七 (商工) 佐藤 潔

城東區龜戸町二ノ一二六 (豫科) 佐藤 福松
 松濱市中區藤棚町六一 (教務) 佐藤 英芳
 世田谷區玉川奧澤町三ノ七五 (豫科) 佐藤 信彦
 赤坂區青山南町五ノ四四 (豫科) 佐藤 勝彦
 澁谷區千駄ヶ谷四ノ五五 (高等部教練) 佐藤 豐治
 四谷區東信濃町一六 森方 (豫科) 佐藤 秋雄
 世田谷區弦卷町二ノ三三二 (普通部) 佐々木義宣
 澁谷區原町一九 (圖書館) 佐々木良太郎
 神奈川縣藤澤町鶴沼字川袋 二四四七 電藤澤四四 (文學部) 齋藤清太郎
 牛込區橫寺町二八 (商業) 齋藤 信雄
 澁谷區青葉町二〇 (日吉建築) 西郷 鐵雄
 芝區三田臺町三ノ一五 電三田二九三 (幼稚園) 坂井 林市
 澁橋區西大久保二ノ二七二 (豫科) 坂入 俊雄
 芝區白金臺町二ノ四九 (資金募集) 坂村儀太郎
 電高輪二六九 (教務) 酒井 安忠
 芝區三田綱町一 (普通部) 酒井 將
 世田谷區世田谷四ノ六六五 (普通部) 酒井 悌
 神奈川縣鎌倉町亂橋材木座七三 (經濟學部) 三邊 金藏
 大森區田園調布四ノ八四ノ一 電田園調布二六

牛込區原町二ノ三 電牛込二〇四 (普通部) 鮫島盛一郎
 目黒區駒場町八〇〇 (商工教練) 澤多 亮
 世田谷區上北澤二六四 (文學部) 木村 謙治
 橫濱市神奈川區篠原町二二九 (維持會) 木村 行雄
 芝區三田南寺町二〇 (圖書館) 木島 久子
 澁谷區伊達町七 電高輪六〇〇 (經濟學部) 氣賀 勘重
 澁谷區伊達町七 電高輪六〇〇 (經濟學部) 氣賀 健三
 芝區白金三光町三 電高輪六〇六 (普通部) 清岡 暎一
 目黒區大岡山一〇八 (豫科) 金原 三郎
 世田谷區玉川奧澤町二ノ三三 (經濟學部) 金原賢之助
 豐島區巢鴨六ノ一四七〇 (幼稚園) 菊池 知男
 澁橋區諏訪町一〇五 (普通部) 岸田 美郎
 目黒區向原町二五九 (圖書館) 三邊清一郎
 世田谷區世田谷一ノ四四 (豫科) 三浦又治郎
 小石川區丸山町一二 (幼稚園) 三宅 武雄
 澁谷區水川町三 電青山三〇〇 (經濟學部) 三洲 忠彦
 在原區小山町一一五 (維持會) 三橋新左衛門
 目黒區自由ヶ丘一二〇 (法學部) 峯村 光郎
 芝區田町六ノ一 (法學部) 峯岸 治三

日黒區下目黒四ノ九九一 (豫科) 南 熊夫
 神奈川縣足柄下郡吉濱村吉濱(經濟學部) 宮原 景一
 淀橋區百人町三ノ二七八 (豫科) 宮崎 正二
 杉並區新町三三三 (洋行中) (法學部) 宮崎 澄夫
 北多摩郡小平村小川二五七一 (豫科) 宮崎 友愛
 杉並區高圓寺四ノ五四九 (會計) 宮崎千代子
 麻布區西町一二 (幼稚舎) 宮下 正美
 澁谷區千駄ヶ谷町五ノ八三七 (豫科) 宮島 貞亮
 麻布區霞町一九 (洋行中) (文學部) 宮島 吉敏
 品川區富士見町三七 (豫科) 清水 靜文
 品川區四大崎一ノ三九九 (豫科) 柴田 一能
 板橋區練馬向山町四一 (文學部) 柴田 常惠
 品川區四大崎二ノ一九三 (文學部) 鹽塚 俊三
 日黒區下目黒四ノ九〇八 (豫科) 島原 逸三
 川崎市東三ノ四三 (法學部) 島田 久吉
 澁谷區代々木富ヶ谷町二三八九 (法學部) 島谷 英郎
 牛込區新小川町一ノ九 (資金募集) 島本 靜江
 小石川區茗荷谷町七六 (文學部) 守隨 憲治
 神奈川縣足柄下郡國府津町二六(豫科) 下田 博

目黒區上目黒六ノ一二七三 (教務) 日根野弘兄
 目黒區洗足一三三二 (高等部) 平井 新
 目黒區三田一五二 (普通部) 平出 恒男
 京橋區佃島町三 電京橋三〇 (高等部) 平岡 好造
 大森區雪ヶ谷町字並木三二六 (學生係) 平野 嘉一
 豊島區巢鴨二ノ一四紅葉莊 (商工) 平島 義顯
 世田谷區池尻町一四四 (教練事務) 持田 茂吉
 荏原區小山町五一三ノ二 (豫科) 森 馨
 古山右之助方 (洋行中) (豫科) 森 安正
 世田谷區經堂町一七〇 (豫科) 守屋 謙二
 品川區大井瀧王子町四三七七 (豫科) 清宮 彬
 四谷區番衆町三一 (幼稚舎) 清宮 彬
 日黒區中目黒四ノ一四四二 (普通部) 仙波 均平
 世田谷區弦巻町二ノ三二五 (普通部) 關川 泰
 杉並區和田本町八八九ノ五 (豫科) 陶山 喜六
 大森區田園調布四ノ一七五 (豫科) 末弘淺次郎
 世田谷區野澤町一ノ九二 (高等部) 相田 善三
 川崎市南幸町二ノ一二二三 (教務) 鈴木 清
 杉並區大宮前六ノ三七七 (商業) 鈴木 旗雄
 澁谷區伊達町二五 (電話係) 鈴木 政子

芝區三田西園町二ノ一 (豫科) 鈴木 寅夫
 世田谷區東玉川一九二 (高等部) 鈴木 茂雄
 芝區三田四國町二ノ四 (會計) 鈴木 良藏
 神奈川縣藤澤町辻堂濱見山 (法學部) ステルン
 麻布區斧町二五 (豫科) 杉本 忠
 神奈川縣橋樹郡日吉村 (日吉電氣) 鈴木 五部
 慶應豫科内 (普通部) 鈴木憲次郎
 麻布區我善坊町一中村良造方 (普通部) 鈴木 通義
 澁谷區代々木富ヶ谷町二五三 (普通部) 鈴木 通義

芝區三田二ノ二 電三田三 福澤一太郎
 品川區北品川三ノ三三電高輪七四 塾長 小泉 信三
 大森區馬込町東一ノ一三六七 電大森元九 常在 堀内 輝美
 澁谷區伊達町七一 電高輪九三 常在 横 智 雄
 麻布區東鳥居坂町九 電赤坂二七 門野 幾之進
 麻布區永坂町一 電赤坂二七 池田 成 彬
 芝區三田一ノ三五 電三田二六〇 名取 和 作

役員住所録

社 頭 福澤一太郎
 理 事 塾長 小泉 信三
 品川區北品川三ノ三三電高輪七四 常在 堀内 輝美
 大森區馬込町東一ノ一三六七 電大森元九 常在 横 智 雄
 澁谷區伊達町七一 電高輪九三 常在 横 智 雄
 麻布區東鳥居坂町九 電赤坂二七 門野 幾之進
 麻布區永坂町一 電赤坂二七 池田 成 彬
 芝區三田一ノ三五 電三田二六〇 名取 和 作
 芝區高輪南町三〇 電高輪三〇 磯村 豊太郎
 芝區白金三光町四六四 電高輪五〇 西野 恵之助
 牛込區市ヶ谷河田町九 電牛込二六一 加藤 武 男
 評議員

監事

慶應義塾は三田許りではない

—義塾の所在地一覽—

昔は三田といへば慶應義塾を聯想し、慶應義塾といへばその所在地三田に限ると誰も考へたものであるが、今日の塾の敷地建物は三田の外に四谷の醫學部、日吉の豫科等に各所に廣大な敷地と建物を有して居る、以下少し詳細にその説明をやつて見やう。

三田本塾

福澤先生が築地鐵砲洲の奥平藩邸内に蘭學塾を創設されたのは今をさる七八十年前の安政五年の事であつたが、此の蘭學塾は文久元年には新錢座に移り更に文久三年に鐵砲洲に移り、慶應四年に再び新錢座に移つて此處で初めて慶應義塾の名稱が生れたのである。

慶應義塾が三田に移轉したのは明治四年春の事で、それから今日まで六十餘年の間に三田に於ける敷地の擴張建物の増築は年毎に増加の一方であつたが、遂には隣接地は勿論附近にも擴張の餘地がなくなつてしまつたが、今になつて考へて見ると買つて置けばよかつたと思ふ隣接地や附

近の土地が尠くないが、現今三田に於ける塾の所有地は土地(幼稚園を含む)一萬四千二百餘坪、建物の延坪約八千坪である。

尙三田には本塾裏門を出て道路を一つへだてて普通部がある、之れは坪數千八百餘坪、建坪千四百坪程である。同じく昔の早慶戦當時有名であつた綱町のグラウンドは四千百坪餘で場内にある、劍道、柔道の諸道場は四百餘坪である。

四谷醫學部

今こそ明治神宮外域に所在市内一と云つて二と下らぬ好位置を始めて居る四谷醫學部も、その元は陸軍の用地で砂塵壕々たる處であつたが、後に之れが拂下げられる事が發表された時に地元の人達はどうか考へたか町の繁榮策上學校なんか面白くないといふので大反對の運動を起して一時はどうなるかと思はれたが、結局義塾の四谷進出は結局四谷の繁榮をます事になるのが諒解出來た様で、條件として詳しい事は今記憶して居ないが信濃町の電車通りから千駄ヶ谷方面に直線に通ずる醫學部と大學病院の境の道路を一般に通抜自由とする事で落着したと思ふが、今になつて考へて見ると塾の四谷進出を反對した連中はあまりにも自己の不明であつたかを恥じて居る事であらう。塾が四谷の醫學部敷地を購入したものは大正七年の事であつた、丁度醫學部の創設され

た大正六七年の頃は世界大戦の好景氣時代であつたので、寄附金の募集も豫期の如く忽ち集つたが、それにしても三百七萬圓の巨額の寄附が一時に集つたのであるから世間では全く慶應義塾の勢力に驚異の眼を見張つた次第である。扱四谷の醫學部の敷地は二萬四千坪餘、建物は一萬四千坪だ。

日吉臺豫科

我が國運の進展と併行して瞬時も止まる事を知らない義塾發展の底力は遂に日吉臺のカレツチタウンを生むに到つた。實に敷地の大きさ十二萬八千餘坪既に落成した校舍は四千坪に過ぎないが、日吉敷地に全部校舍が完成された時は、日吉建設の力と幼稚舎新築の目的で四百萬圓の寄附金が熟關係者の間で集つた事は「此の不景氣の際に！」と他の學校の關係者をして羨ましい話題となつて居る。蓋し東洋一の大學園となるわけである。

天現寺寄宿舎

天現寺に寄宿舎が落成したのは大正六年の秋であつた、實に立派な今の言葉でいへばモダンな寄宿舎だと自他共に許して居たが、今度日吉に立派な寄宿舎が出来るので此處は幼稚舎の素晴らしい建物が近い將來に出來上る事になつて居る。敷地は三千三百坪餘で目下の寄宿舎は一千六百

坪餘り幼稚舎の敷地としては理想的のものである。

新田運動場

大東京となつて蒲田區内といへば市内でムいますとはいふものの、このグラウンドが出來た頭初に早慶戦などを見に新田まで行くのは可成り臆却であつた、然し練習用には理想的のグラウンドである、その大きさ一萬五千坪である。その附近に矢口の合宿所がある、之れは敷地四百六十坪建物は一百七十坪程である。

山中山莊

富士五湖の中で風光明媚な山中山湖畔にある山中山莊の敷地は二萬一千五百坪あまり、かゝる名勝の地に山莊を有するのは義塾の誇りである。

此外向島の艇庫、葉山の水泳場、三田會、赤倉莊、房州館山の看護婦保養所等があるが、此等の敷地を合計すると義塾の總敷地坪數は二十一坪五千坪の巨大なものになる、蓋し三田は塾の大ききの一割に過ぎないのだ。

安政五年義塾設立よりの略史を作製せるも遺漏したる重要事項なしとは云へず、本年初めての
 試みに就き誤謬と足らざるは來年度に於て補はん。

慶應義塾略史年表

安政五年義塾設立よりの略史を作製せるも遺漏したる重要事項なしとは云へず、本年初めての
 試みに就き誤謬と足らざるは來年度に於て補はん。

年	月	事	項	摘	説
安政五年	冬	慶應義塾創立			
文久二三年		英書を使用			
慶應三年	一月	福澤先生三度目の洋行			
同	年六月	福澤先生の洋書購入			

福澤先生廿五歳の折、在江戸奥平藩の内命に依り、築地
 鐵砲洲の同藩中屋敷附屬の長屋に設立し同年より文久
 二年の終に至る四年間は小家塾にして別に記録なし。
 従來の蘭書のみにては到底不満足なるを悟り斷然英書
 を講ずるに至る。

先生洋行に際し洋書購入の爲に和歌山藩より入塾した
 る者其他の先生に委託したる金は二千圓を下らざりし
 由、之れを以て先生は安價に原書を手に入れて希望者
 に頒布されたり。

慶應三年冬	新錢座移轉準備	鐵砲洲なる奥平藩邸は外人居留地となりし爲に舊有馬藩の中屋敷たる芝新錢座の地面四百坪を買入れて新塾舎を建つ。
慶應四年四月	慶應義塾の命名新錢座移轉	
明治元年五月十五日	上野に於ける彰義隊の變	當日砲火を耳にしてウエーランド經濟論を講義したる有名なる逸話のありし記念すべき日なり。
同年七月	中元祝酒の記	中元の日社中の人々寄つて手製の料理に文運地に饗ちざるを祝す。
明治二年八月	新錢座時代の分校成る	汐留の奥平藩附屬の二階長屋一棟を借りて修繕を加へ二階には甲斐織衛氏外中津學生七名の寄宿舎とし階下を以て講堂とし通學を許す之れ義塾分校の嚆矢なり。
明治四年四月十六日	義塾三田移轉	舊島原邸なりし現在の三田敷地を一度島原藩に上地を命じ然る後東京府より拂下げを受く。
明治五年	外國教師を置く	カローザを初め同年より七月に亘つて三人の外國教師を雇ふ、其費用は舊掛川藩主太田資美氏の寄附なり。
明治六年十月	慶應義塾醫學所創設	義塾社長松山棟庵新宮涼園兩氏に依り塾内に開設し其後各地に官公の醫學病院設立さるゝに至り十三年六月に廢止さる。

明治六年十月	大阪慶應義塾設立	莊田平五郎名古耶六都兩氏大阪に赴き丸善の小柳津要人氏の世話にて安堂寺町三丁目同店の所在地に設立し翌年六月北濱二丁目小寺篤兵衛方に移轉す。
明治七年四月	卒業生を出す	創立以來卒業なる制度なかりしが此時より毎年四月七月十二月に卒業生を出すこととせり。
明治七年一月	幼稚舎創設	先生が塾の幼少の生徒の爲に和田義郎氏をして別に一舎を塾内に設け幼年生に家庭的の教育をなしたるに初まる。
明治七年十一月	先生の「學問のすゝめ」出づ	
明治八年四月	學制改革	從來の正則變則の制度を廢して本科及豫備科とし、豫備科は分ちて大人科、童人科とす。
明治九年九月	學制改革	從來の本科を五等に分ち、豫備科の中大人科は單に豫備科と稱し豫備童子科は單に童子科となす。
明治十年九月	學制改革	豫科なる文字を廢し單に大人科童人科となし大人科を一番二番、童人科を一番二番三番となせり。
明治十年一月	塾生の徴兵免役	本科第三等の生徒及其以上のものは徴兵免役の特典を與へられたり。
明治十二年十月	法律科の設置	相馬永胤、目賀田種太郎、洋田純一の諸氏を招きて英米の法律を講習す。

明治十二年	支那語科の新設	福澤先生の希望に依り、清國人裴思録を講師とし金子彌平氏を助手兼通辯として支那語の研究をなす、其後種々の推移ありて十四年廢止す。
明治十二年秋	簿記講習所の新設	福澤先生の出資にて京橋南鍋町二丁目簿記講習所を設く爾今三ヶ年間當所は開講して所謂帳合の法に就て講義せり。
明治十四年一月	簿記開講	従來の學科に簿記の一科を加へたり。
明治十五年一月	番外の新設	番外とはスベリング、リーダー等の英語の極めて初歩を教授する學科の謂也。
明治十八年九月	學制改革	従來の本科學科を改めて之れを正科(卒業年限五ヶ年)と總稱し科學の名稱を改めて別科(卒業年限四ヶ年)となし年齢十八歳以上の者を入るゝ事とせり、而して從來は讀方のみ力を入れしに今度は會讀及翻譯に主力を注ぐ事とせり、但し英語の素養全くなき者には科外の制度を設く。
明治廿二年	大學設置の義決定す	小泉氏塾長となるに及び探點法を制定し及落の區別を明にしたるに獨立自尊を重んずる義塾には不似合の制度なりとて磯村豊太郎柳莊太郎和田豊治野口寅次郎の諸氏急先鋒となりストライキを敢行し二ヶ年餘り休校す蓋し義塾創立以來の大騒動なりしが先生の配慮に依り無事解決す。
明治廿二年	小泉信吉氏塾長となる	

明治廿二年一月	大學設立趣意書發表	
同年	宮内省より福澤先生に壹千圓下賜	
同年十月	第一回評議員會	門野幾之進、福澤一太郎、中村貞吉、高橋義雄、實中直道の諸氏大學部課程編成委員と決定。
明治廿三年一月	文理法三科入學試験	試験を行つて生徒百二名に入學を許可す。
明治廿三年一月	専任外國教師來る	大學部設置の爲各科主任講師招聘を米國ハーバート大學長ジョージエリオット氏に依頼し同氏の推薦にて文學科にワイリアムリスカム理財科にガレットドロツバース、及法律科にゼーエツチウキグモア三氏決定す。
明治廿三年四月廿八日	大學部授業開始	現今の大學發祥の記念すべき日也。
明治廿三年九月	普通部の課程改正	修業年限は豫科二年八ヶ月本科三年四ヶ月計六年、晩學者の爲に譯讀專攻の別科なるものを設く講義輪講故の如く修業年限三年四ヶ月なり。
明治二十四年五月	商業夜學校新設	小幡先生の發起にて當時缺乏したる會社銀行の良書記手代を養成する目的を以て設立さる。
明治廿六年五月	文科専任教師ウキルアムリスカム師病氣の爲歸國	後任は普通部及大學部講師たりしアーサーロイド氏。
明治廿六年五月	法律科の改正	日本法律制定を見たるを以て英法法律を参考のものとなし新に日本法律科を設く。

明治廿六年十月廿九日	福澤先生銅像除幕式	此間學生の數頗る減少し廿五年の盛時に比すれば三分ノ二にたりたり、文部省の地方中學設立督促の結果なり、廿八年前半期よりは稍増加す。
明治廿六年—八年	義塾の情況	一時生徒百餘名を得たるも七月都合にて廢止となる。
明治廿八年一月	朝鮮語學校設立	芝紅葉館を會場として先生の賀筵を開く、先生令聞令息令嬢を主賓とし發起人總代小幡篤先生は祝文を呈す。
明治廿八年十二月十二日	福澤先生還曆賀筵	從來の學制を改めて大學部各科三學年高等科三年普通部五年(高等科第一級は普通科第五年級と交叉)及別科三年とす、別科は三十年四月廢止さる。
明治廿九年九月	學制改革	義塾大學部及普通部在學の生徒は徵兵令第十三條(當時)に依り徵兵猶豫の特典を受く。
明治廿九年九月	徵兵猶豫の特典	高等科を廢止すると同時に五月より之れを更へて大學部となし修業年限五學年之れの豫備科普通部を五年とし都合十年となし、此の十學年を修業する者を慶應義塾卒業とせり。
明治廿一年四月	學制改革	鎌田榮吉氏塾長に小幡篤次郎氏副社頭となる
明治廿一年四月四日	副社頭及塾長	

明治廿一年四月	門野敦頭の外遊	敦頭門野幾之進氏は一年有餘歐米の大學を巡覽して實況を調査し廿二年七月歸朝して學制を改革し科目を必修科、撰擇科に分ちフリーエデュケーションの第一歩を踏出せり。
明治廿一年八月九日	鎌田塾長	鎌田塾長高等教育會議員に任命さる。
明治廿一年九月廿六日	福澤先生の病氣	福澤先生は同日突然腦溢血症に罹られたり。
明治廿一年九月	喫煙禁止	教場内の喫煙禁止さる。
明治廿一年十月二日	兩陛下よりの御見舞	先生の病氣長くも天聽に達し本日 陛下より御料葡萄酒二箱、皇后陛下より御菓子一折御見舞として下賜相成る。
明治廿一年十月五日	皇太子殿下の御見舞	當時大磯に御滯在中の皇太子殿下よりも先生の病氣御見舞として御菓子一技下賜相成りたり。
明治廿一年十一月	塾生の自治規約成る	獨立自尊の精神發揚と操行氣品を高め且學業を進展せしむる目的を以て十九條の慶應義塾學生自治規約なる
明治廿一年十二月	理財科専任教師更代	創立以來教師たりしがレット、ドロツバリス任滿ちて歸米したり、翌年一月代りにエノツク、ホリード、ピツカリス來れり。
明治廿一年十二月十二日	義塾同窓會	福澤先生の病氣輕快を祝して芝紅葉館に開催、來會者四百名に及び盛會なりし。

明治卅二年四月	政治科新設	有力なる政治家を養成する目的を以て本科を創設せり 歸朝後義塾教授たるを約して義塾海外留學生數名派遣 さる堀江歸一、名取和作兩氏は經濟學專攻の爲に米國 へ、川合貞一氏は文學を神戸寅次郎氏は法律を、氣賀 勘重氏は經濟學を何れも研究の爲に獨逸へ留學生とし て派遣さる、十月には青木徹二氏も獨法研究の爲同様 派遣さる。
明治卅二年八月	留學生派遣	
明治卅二年十二月	日本法律科廢止	日本法律を講義する同科は廢止となれり。
明治卅三年二月廿四日	修身要領成る	修身要領廿九條の完成に際し同日を期し三田演說會 四百四回の例會に發表式を學行せり。
明治卅三年三月	再び喫煙の取締	未丁年者喫煙禁止法を適用して喫煙一層嚴重に取締ら る。
明治卅三年三月	ユニホーム勵行	從來より制服制帽ありたりしが此の新學期より之れを 勵行する事となる。
明治卅年五月	文學科廢止	
明治卅三年五月九日	福澤先生へ恩賜金	福澤先生多年教育に盡瘁したる廉に依り特に思召を以 て金五萬圓を賜ふ、先生は小幡氏を代理に宮内大臣田 中光顯子から傳瀆なる御沙汰書と共に恩賜金を頂戴せ り、先生は右恩賜金を義塾基金中に寄附せり。

明治卅三年五月十日	修身要領の獻納	東宮殿下御婚儀の賀表と共に修身要領を獻納せり。
明治卅三年五月廿六日	恩賜祝賀會	春季大運動會の當日を期し恩賜金の御沙汰ありしを祝 して祝賀會を開く。
明治卅三年十二月卅一日	世紀送迎會	十九世紀を送り新時代たる廿世紀を迎ふに際し福澤先 生以下塾員學生等五百餘名出席して送迎會をなす。
明治三十四年一月廿四日	福澤先生再び發病	夜突如腦溢血症を再發す。
明治卅四年二月三日	福澤先生逝く	藥石効なく先生遂に逝く。
明治卅四年二月廿三日	塾生の先生追悼式	先生他界後の義塾存續法其他に就て本會を開き重要決 議をなす。
明治卅四年二月廿四日	評議員會	
明治卅四年三月廿三日	先生の追悼會	先生四十九日に際し麻布善福寺に追悼會を開く、發起 人は小幡篤次郎鎌田榮吉の兩氏。
明治卅四年三月廿三日	塾の大先輩中上川彦次郎 氏逝く	
明治卅四年十月十八日	社頭新任	先生逝去以來空位なりし社頭に小幡篤次郎氏副社頭に 門野幾之進氏就任す。
明治卅五年二月二日	福澤先生一周年祭	先生一周年逮夜に相當するを以て新築大講堂に一周年 祭を舉行す。

明治卅五年六月	補習科新設	
明治卅五年八月廿日	評議員の増加	定員二十名より三十名となる。
明治卅六年四月廿六日	全国同窓大會	第五回博覽會が大阪に開かれたるを機に大阪に於て全国同窓會を開く。
明治三十六年五月	學課改正	大學及豫科の學課表改正を實施せり。
明治卅六年十二月十九日	運動場の買入	蜂須賀侯邸の一部三千八百七十四坪を新に買入る、綱町グラウンドである。
明治卅七年五月	學制改革	大學部各科修業年限五年なりしを本科三年豫科二年の制度とせり。
明治卅七年五月	文學科復興	三十五年來廢絶の文學科を復興す。
明治卅八年二月三日	福澤先生五周忌	
明治卅八年四月	商工學校新設	
明治卅八年四月十六日	小幡先生逝く	小幡圖書基金醸集さる。
明治卅九年一月十二日	普通部の指定	卅九年三月以後普通部卒業生は中學卒業生同等の指定を與へられたり。
明治卅九年五月十七日	鎌田塾長貴族院議員となる	

明治卅九年十一月十一日	早慶野球戦中止となる	此れより十八年間早慶野球戦中止とならんとは何人も豫想だもせざりし。
明治卅九年十一月十三日	學生大會	早慶野球戦中止に關して學生大會を開く。
明治卅九年十二月	圖書館建築計畫	明年義塾創立五十年に相當するを以て記念の爲に圖書館建設の發起人百三十二人委員十七名の連署に依り趣旨書を頒布す。
明治四十年一月二十一日	慶應義塾五十年	記念會盛大に開かる塾生の炬火行列行はる。
明治四十年二月三日	福澤先生七周忌	
明治四十年七月	グイカーヌ教授歸國	四十年七月歸米、四十一年一月再來す。
明治四十年六月八日	慶應全勝祝賀會	野球及庭球が春季シーズンに於て全勝したるを以て新講堂に於て祝賀會を開催せり。
明治四十年八月廿一日	板倉岡本兩氏留學	板倉卓造氏は國際公法を岡本謙三郎氏は英文學を研究の爲米國に赴く。
明治四十年十二月	社頭推薦	福澤一太郎氏當選す。
明治四十年十二月八日	幼稚舎校舎落成式	
明治四十一年二月	學事評議員組織	七條の規則書出來す。

明治四十一年五月三十日	三田文學會發會式	伊澤道輝河合貞一馬場孤蝶氏等の講演あり。
明治四十一年六月五日	三田政治學會	新講堂に第一回講演會を開く。
明治四十一年八月	塾巡回講演	岐阜を振出しに舞鶴松江米子鳥取方面に講演會を開く
明治四十一年九月	鎌田塾長再任	高等教育評議員會委員に再任す。
明治四十二年四月	地方巡回講演	名古屋、門司、長崎、熊本、久留米、福岡、中津、廣島方面に巡回講演をなす。
明治四十二年四月廿三日	義塾記念日	義塾創立記念日として休校する事になれり。
明治四十二年八月	東北地方巡回講演	平、仙臺、飯坂、福島、若松、會津、郡山、三春、二本松等を巡る。
明治四十二年九月	ウ大野球團來朝	
明治四十二年十一月廿三日	圖書館定礎式	
明治四十二年十二月	日英博覽會出品	義塾の現況の寫眞及書籍に撮影記載して日英博に出品す。
明治四十三年二月二日	福澤先生十周年記念會	
明治四十三年五月	三田文學發刊	五月一日三田文學會より第一號出づ。

明治四十三年五月一日	商業學校記念會	創立廿周年記念會を新講堂に開く。
明治四十三年十二月	ウイカツス教授辭任	十二年間塾の爲に盡瘁して歸來す。
明治四十三年	義塾出身の二博士	堀江歸一、青木徹二の兩氏博士となる。
明治四十四年一月十日	福澤先生誕生日	先生の誕生は天保五年十二月十二日なるも之れを西曆に直す時は一月十日となるを以て本年より記念日を同日となす。
明治四十四年二月	幼稚舎生に理科實驗	四十餘坪二階建の理科實驗室なる。
明治四十四年	西村高橋兩留學生	西村富三郎氏は刑法刑事訴訟法を研究に高橋誠一郎氏は經濟史、經濟學史研究の爲獨英兩國に派遣す。
明治四十四年四月	野球選手渡米	
明治四十四年十月	三田學會雜誌年四回發行となる	
明治四十四年四月	慶應義塾顧問	義塾社中の長老の一人朝吹英二氏義塾顧問となる
明治四十五年	商業學校専修科新設	
明治四十五年五月十八日	圖書館開館式	義塾創立五十年記念圖書館は四月十六日より開覽を開始し五月十八日開館式をなす。

大正元年八月卅一日	明治大帝奉悼式	三十二番講堂に於て福澤社頭鎌田塾長及各教職員塾生 參集謹んで 明治陛下崩御奉悼の式をあぐ。
大正元年九月十一日	小泉信三氏留學	英獨へ三ヶ年の豫定にて留學す。
大正元年九月十三日	御大喪儀奉送	教職員塾生一同二重橋外指定位置に於て謹んで奉送申 上ぐ。
大正元年十一月一日	圖書館を一般に公開す	
大正二年二月三日	福澤先生十三回忌	善福寺に於て莊嚴なる法要を營む。
大正二年二月	義塾出版局組織變更	塾内有志者に依つて經營せられたるを塾内出版物を獎 勵する趣旨にて義塾直營とす。
大正二年五月十六日	鎌田塾長二教授洋行	塾長及田中一貞教授は歐米教育界視察及歐米見學の爲 に教授川端篤恭氏は英語研究の爲何れも歐米に赴く。
大正二年	新聞記者を獎勵	卒業者の新聞記者になるのを獎勵の爲新聞科を設け本 科三年中より志留者を募集し十名を入學せしめ特課を 課せり。
大正二年七月卅日	明治大帝御一年祭	義塾にては同日謹んで在京教職員學生一同大學部三十 二番教室に於て遙拜式をなす。
大正二年八月一日—八日	大阪講演會	夏季休暇を利用し義塾各専門教授大阪市に於て講演會 を開く、午前中は教育者の爲に夜間は一般公衆の爲に 講演す。

大正二年七月	義塾表門の改造	正門の木造表門は腐朽したるを以て夏季中に改築に着 手し同時に坂の勾配を緩やかにす。
大正二年夏	學期改正	左記の如く學期を改正し大正三は一月より實施す。 普通部商工第一學期(四月十一日より七月廿日)第二 學期從前の如し第三學期(一月八日より三月卅一日迄) 大學第一學期第二學期前通り第三學期(一月八日より 三月卅一日迄)
大正三年一月十日	福澤先生記念日變更	從前二月三日の命日を記念日としたるを本年より本日 の先生誕生日を記念日とす。
大正三年二月	鎌田塾長重任	塾長の任期満了となりたるも評議會選舉の結果鎌田塾 長再選す。
大正三年三月	三田學會雜誌月刊となる	從來年四回の發行なりしものを月刊に改む。
大正三年三月廿七日	野球部の米國遠征	米國スタンフォード大學の招聘に應じて平沼亮三氏監 督の下に選手十五名渡米す。
大正三年四月	大學本科學科課程改正	大學理財科政治科及文學科の課程に二三の改廢を行ふ
大正三年十月	野口米次郎教授渡米	
大正三年	大正博覽會に出品	東京市主催の大正博覽會に福澤全集外數品を出品す。
大正三年五月	小林澄兄教授渡歐	教育學及英語研究の爲義塾留學生として英米獨三ヶ國 に派遣さる。

大正三年五月廿四日	昭憲皇太后靈輻奉送	御大葬に際し教職員學生一千名代木御大葬場に奉送申上ぐ。
大正三年夏	レール授教歸米	理財科教授ロバートレール氏歸國す。
大正三年十二月十二日	慶應義塾學報の改題	義塾學報年末會議の席に於て大正四年一月より誌名を三田評論と改正に決定。
大正四年六月六日	大講堂の開館式	大正二年末建築に着手し大正四年夏落成す開館式當日名士數多參會す。
大正四年七月廿五日	水泳部常設寄宿舎成る	葉山水泳部に來る者毎年増加すと爲に常設寄宿舎を設く、當日落成式を兼ねて第十四回夏季水泳開始をなす
大正四年十一月十日	御大典奉賀式	
大正四年十二月三日	御大典奉祝炬火行列	
大正五年一月三日	皇儲冊立祝賀式	塾長以下教職員學生三千名參加 陛下並に皇太子殿下の萬歳を三唱す。
大正五年五月七日	慶應橋架設	現在寄宿舎のある地を東京市より拂下げたるを以て出入の便の爲に慶應橋を設く。
大正五年五月	普通部校舎新築着手	總建坪一、三三四坪二五此時新築に着手して次學年より使用す。
大正五年八月四日	醫學科及化學科設立その發見	

大正六年一月十日	義塾へ御下賜金	福澤先生記念日に際し福澤社頭を召され醫科増設補助として三萬圓を御下賜に相成り優渥なる御沙汰書を賜はる。
大正六年二月三日	福澤先生十七回忌	教職員塾生上大崎本願寺なる先生の墓を參拜す。
大正六年三月	増井幸雄氏留學	
大正六年四月	及川恒忠氏渡支	支那制度及經濟事情研究の爲三ヶ年の豫定にて渡支。
大正六年四月	醫科豫科第一回學生募集	志望者頗る多くの入學試験激甚を極む。
大正六年五月	義塾規定改正	此の改正に依り大學部本科各科に學長を一名置く豫科普通部幼稚舎商工學校商業學校に各主任一名を置く事となる他數項の改正あり。
大正六年十月	醫學科校舎及病院建築委員	塾長幹事の外下記諸大を委員に囑託す、西野惠之助、北里榮三郎、北島多一、中條精一郎。
大正六年九月	寄宿舎新築落成	四月來起工九月落成日より學生を收容す。
大正六年八月	醫科特別教室	舊寄宿舎食堂跡に建設す。
大正六年九月	ゲットリリング氏招聘	前任者ホイットナック教授の代りに來る。
大正七年三月	看護婦養成所設置	

大正七年四月	支那學生特別科新設	
大正七年三月	醫科實驗教室新築成る	
大正七年九月	鎌田塾長渡支	支那教育施設其他視察の爲渡支十月廿三日歸朝す。
大正七年十一月十五日	休職祝賀炬火行列	
大正八年四月十六日	醫學科始業式	四谷信濃町校舎に本科一年始業式をあぐ。
大正八年四月	廣瀬向井兩教授留學	廣瀬哲士教授は佛文學及佛語向井鹿松教授は商學研究の爲何れも留學生となり研究地に出發す。
大正八年四月	林、田中兩教授博士に推薦	大學部教授林毅、田中萃一郎兩氏は法學博士會に於て法學博士に推薦されたり。
大正八年五月	義塾大學と高等試験令	卒業生は高等文官豫備試験を免除さる。
大正八年九月	各科授業料改正さる	
大正八年十月	鎌田塾長勞働會議に列席	ワシントンに開催の第一回國際勞働會議に政府代表正使として鎌田塾長任命さる塾より氣賀勲重高城仙次郎田中一貞の三氏隨行す。
大正八年十月	野口教授渡米	日本文學を講演の爲渡米尙同地にて英文學を研究九年三月歸朝す。

大正八年八月八日	義塾大學認可申請	新大學令に依る大學認可の申請をなす。
大正九年一月廿日	義塾大學認可	前記申請に依り臨時教育調査會は塾を私學の劈頭新大學令に依り認可せり。
大正九年四月	授業料改正	諸物價の昂騰に依り塾費増額の爲に再度授業料の値上をなす。
大正九年二月	商工學校年限短縮	從來六ヶ年なりしを九年四月より五ヶ年の修業年限となす。
大正九年四月	大學役員新設	新大學令に準據したる大學は四月より開校したるに就き役員として總長鎌田塾長幹事は石田幹事學部長は各學部に於て互選の上決定す。
大正九年四月	大學評議會設置	従前の學長會義塾學事評議會は廢止さる。
大正九年四月	大學部豫科副主任設置	大學豫科副主任に西村富三郎氏就任す。
大正九年	大學豫修科廢止	
大正九年八月二日	醫學部附屬病院開院	内科、外科、眼科、産婦人科、小兒科、齒科、理學的療法の七科は同日を以て開院す。
大正九年八月	政治科長更迭	林毅氏政治科長を退職したるに依り後任として板倉卓造氏就任す。
大正九年九月	三階建新教室落成	寄宿舎跡に建てしもの教室廿七個を含む。

大正九年十月	慶應醫學社設立	雜誌慶應醫學を毎月出す、理事北島多一、藤浪剛一、高野六郎の三氏。
大正九年十一月六日	醫學部附屬病院開院式	來賓二千五百名原首相以下名士多數參列義塾空前の盛儀なりし。
大正十年一月十日	福澤先生八十八回記念會	
大正十年六月	外國人入學資格改正	
大正十年九月	授業料改正	授業料は又々増額され大學部は百圓となる、豫科八十五圓普通部商工七十圓幼稚舎五十六圓也。
大正十年七月廿二日	學位規定認可	新學位令に準據したる學位規定認可申請したる處私立大學の劈頭に認可さる。
大正十年八月一日、八日	經濟思潮講演會	大ホールに開催聽講者官吏銀行會社員學生等三百七十九名盛會なりし。
大正十年十月	史學發刊さる	
大正十年十月	義塾評議員及理事改選	理事池田成彬、門野幾之進、伊藤欽亮、和田豊治、評議員會長波多野承五郎。
大正十年十二月	義塾大學病院整形外科開始	
大正十一年一月	義塾大學補助指令	大正十年度より十九年度迄毎年二萬五千圓宛補助交付の旨文部大臣より指令さる。

正十一年一月十日	福澤先生記念會	
大正十一年二月	「法學研究」發行さる	法學研究會の發行にて年四回なり。
大正十一年二月	學位授與	醫學部教授會に論文を提出して學位を請求したる中山安、平野憲正の二氏に義塾第一回の學位授與さる。
大正十一年三月	鎌田塾長教育評議會々長となる	三月廿八日附教育評議會々長仰付らる。
大正十一年四月	専門部設立	専門學校令に準據して舊制の大學部を存續し其名を専門部と名付く後高等部と改正さる。
大正十一年六月	門野幾之進氏臨時塾長就任	鎌田塾長加藤友三郎内閣成立と共に文部大臣に就任依つて門野先生臨時塾長となる。
大正十一年十一月	義塾規約改正	理事制度に變更を加へ評議員を十名増加す新に監事の職制を設く。
大正十一年十二月	福澤一太郎氏塾長となる	理事に林毅陸、石田新太郎兩氏就任。
大正十一年	學位授與	本年度中に學位授與を受けたる者醫學博士七名、文學博士一名。
大正十一年	東京府の補助	商工學校教員俸給補助金として前年通り二千十圓交付さる。

正十一年春	故朝吹英二氏記念基金	大正七年一月卅一日死去したる同氏記念の爲、後五周年に相當せる此年故人の知友並に生前恩顧を受けたる人々相寄り五萬圓を贈出して教職員退職手當基金として義塾に寄附せり。
正十二年	文部省の補助金	義塾大學部に對し本年度分補助金二萬五千圓を交附する。
正十二年	學位授與	本年度に於て法學博士一名醫學博士十四名合計十五名に學位を授與す。
正十二年	東京府の補助金	商工學校教員俸給補助として二千四百六十圓普通部に對しては新に本年度として三千六百八十圓の補助あり
正十二年	有馬彦吉氏三萬圓寄附	同氏は池田成彬氏を介してモヒ中毒病法研究の爲に醫學部に右金額の指定寄附をせり。
正十二年六月	義塾協議會生る	義塾各學部内の學事上の聯絡を圖り、學風の統一を期する目的を以て毎學期少なくとも一回開催する事となれり。
		義塾は幸にも類焼の厄は免がれたるも損害は多大にて約其見積價格建物に於て三十二萬圓機械器具の損害二萬五千圓圖書の損害二千圓計大略三十四萬七千圓に達す。教職員中家屋倒潰全焼等の災厄に遭遇したる者少なか

大正十二年九月一日	關東地方大震災大火災	らざりしも一人の死者なし、塾生の罹災者は各部を通じて二千七百七十八名にて死者三十二名也。三田塾内は震災當時附近避難民の避難所として利用せしめたり。大學病院は市内各所に救護班を派出し病院内にも救護所を設けて傷病者を救護して大震災善後事業に一大貢獻をなせり。塾大學生有志は震災善後會を組織して罹災塾生の爲に便宜を計れり。
大正十二年九月廿一日	福澤先生傳記編纂所設置	義塾の事業として先生傳記編纂所を設け編纂主任に時事新報名譽主筆石川幹明氏就任す。
大正十二年九月十月	震災後授業開始期日	普通部、商工學校及幼稚舎は十月一日より大學及専門部は十月八日より商業學校は十月十日より各々授業を開始、四谷醫學部は被害比較的少なりしを以て九月十七日授業を開始す。
大正十二年十一月	林毅陸氏塾長となる	社頭福澤一太郎氏塾長を辭任し理事林毅陸氏塾長となる理事一名の缺員に占部百太郎氏就任せり。
大正十二年十一月	塾債募集	大震災に依る建物其他其他の復舊費に充當する爲に塾債三十萬募集に着手したるに塾員の盡力に依り十三年二月末のメ切後も申込あり十三年三月末日口數六千九百十二口金額三十四萬五千六百圓に達せり。

大正十三年	學位授與	本年度に於て學位を授與せしめて醫學博士二十六名なり。
大正十三年	海外留學生	文學經濟法學各一名醫學界海外視察生一名也。
大正十三年	文部省の補助金	義塾大學部に對し第四回補助金二萬五千圓の交付あり
大正十三年	東京府補助金	東京府より私立中等學校補助金規程に依り普通部へ二千六百八十四圓商工學校へ一千九百三十圓交付せらる。
大正十三年	故宮牧萬吉氏の寄附金	同氏未亡人シゲ子氏は故人追善の爲義塾基本金中に一萬圓寄附せり。
大正十三年	故阿部泰藏氏未亡人優子氏の寄附	同氏は故人追善の爲義塾圖書館阿部文庫基金中に三千圓寄附せり。
大正十三年	故岩牧省一氏未亡人郷子氏の寄附	同氏十三回忌追善のため圖書館圖書購入基金として一萬圓寄附あり之れにて岩牧文庫基金を設け其の利子にて適當なる書籍を購入する事と決定。
大正十三年	三共株式會社の寄附	醫學部助教隈川八郎氏の醱酵素研究に資する目的にて年二千五百圓宛大正十七年迄計一萬二千五百圓の寄附あり。
大正十三年	新田グランド用地購入	府下荏原郡矢口村新田に一萬四千二百五十一坪を買入れ直ちに設備に着手。

大正十三年	綱町グランド擴張	地續蜂須賀侯の所有地二百二十五坪五合五勺を買入れる。
大正十三年一月十五日	塾監督局大破	大震災にて大破したる塾監督局建物は同日の餘震にて尙損害を加へられ使用に堪えず三月中旬取壊に着手五月終了。
大正十三年三月四日	和田豊治氏死去	評議員主査委員たりし同氏は胃潰瘍の爲死去せらる依つて十八日評議員會に於て互選の結果磯村豊太郎氏當選す。
大正十三年三月	假校舎建設	大學教室の一部不足に就き圖書館側に鐵骨組立式平家建假教室を建築四月出來。
大正十三年三月	大學病院一部増築	藥局耳鼻咽喉科、大廊下、看護婦長宿直室炊事場等。
大正十三年四月中旬	大學病院特別病棟出來	大正十二年五月上旬起工。
大正十三年五月三十日	三田演說館五十年	同館五十年記念の爲三田演說會及義塾辯論部主催時事新報後援にて開館五十年記念式を舉行す。
大正十三年七月	コンクリート大學豫科教專補強工事終了	四月中旬工事に着手。
大正十三年八月	現代思想講演會	一日より七日迄午後六時半より九時半迄大講堂にて開催。

大正十三年八月	醫學部食養研究所創設資 金寄附指定寄附	の世話人門野幾之進、團琢磨、根津嘉一郎、益出孝、相島徹一、森村川作六氏より十萬五千圓及利子を加へし寄附直ちに設立に着手
大正十三年九月	三田演説館稻荷山に移轉	塾監局新築の爲由緒ある三田演説館の移轉工事に七月着手九月下旬終了。
大正十三年十一月二日	幼稚園創立五十年	舎内に創立五十年記念式を舉行す。
大正十四年	大學部に對する文部省の補助金	本年度は第五回分二萬五千圓
大正十四年一月	大講堂修繕落成	震災に依る破損箇所修繕に十三年八月着手十四年一月竣工。
大正十四年一月末日	塾債拂込切	申込四二五、八〇〇圓拂込四一四、五〇〇差引不拂一、三〇〇圓。
大正十四年二月	専門部の改稱	専門部を高等部と改め同時に學則の一部を改正す。
大正十四年六月	山名囑託辭任	明治四十四年三月以來維持し並に卒業生就職斡旋の勞をとられし山名次郎氏は都合にて辭任但し次年卒業生は好意的に就職斡旋の勞をとらる。
大正十四年七月	名古屋學術講演會	尙之を機に名古屋三田會を開き鎌田前塾長林塾長占部理事出張出席す。
大正十五年	大學部に對する文部省補助金	本年度は第六回分二萬五千圓交附さる。
大正十五年	東京府補助金	私立中等學校補助規程に依り普通部へ三千百四十圓商工學校へ二千七百二十圓交附さる。

大正十五年四月	授業料改正	大學、高等部及幼稚園の授業料改正を行ひ學年當初より實施す。
大正十五年五月	中上川獎學資金規定變更	本年度より大學豫科最高學年在學中の優良學生中より銓衡する事となれり。
大正十五年五月	木下正平記念獎學金	本年度より本獎學資金の制度出来る。
大正十五年六月十五日	評議員補缺選舉	平賀敏氏は健康の事情に依り辭任依つて規約に依り補缺選舉の結果宮原清氏就任。
大正十五年七月八月	義塾巡回講演	山梨長野新潟及山形地方に巡回講演を行ふ各地とも好結果を得たり。
大正十五年十一月三日	福澤捨次郎氏死去	評議員兼體育會長たりし氏の死去に當り前者は補充として次點者鈴木梅四郎氏後者は副會長たりし坂倉卓造氏就任す。
大正十五年七月八日	葉山水泳部合宿所増築出來	
大正十五年八月廿五日	新田運動場スタンド出來	
大正十五年八月卅一日	大學醫學部附屬食養研究所並臨床研究室新築落成	
大正十五年九月十五日	大學醫學部學生控所落成	
大正十五年九月十五日	塾監局新築工事成る	

大正十五年九月	銀月「支那研究資金」生る	塾員望月軍四郎支那研究の爲に基金拾萬圓寄附す昭和二年四月より該基金に依る研究を初む。
大正十五年十月	富士山麓グラウンド寄附	富士山麓土地株式会社長堀内良平氏より同社所有富士山麓土地(山梨縣南都留郡中野村字平野地内)一萬坪天野傳長外九十氏の代表者長田常吉氏より同じく一萬坪を義塾グラウンド用として寄附を受く。
昭和二年一月廿六日	義塾理事石田新太郎氏死去	自宅にて讀書中突然腦溢血にて死去す。
昭和二年一月廿九日	故佐々木哲太郎氏圖書寄附	明治四十二年來佐々木氏の圖書七千八百九十四冊を圖書館に寄託しありたるを氏の死去(昭和元年十二月廿九日)に依り令弟佐々木誠四郎氏より同圖書全部を義塾に寄附さる。
昭和二年三月	財団法人和田蕙幸會の寄附	義塾教職員退職手當基金として十箇年賦を以て五萬圓醫學部助手研究補助費として五箇年賦を以て金壹萬圓寄附さる。
同 年 同 月	圖書購入費の寄附	無名氏より上記費用として五千圓寄附あり。
同 年 同 月	矢口村野球部合宿寄附	三田俱樂部寄附並慶應義塾體育獎勵會贈出の金額を以て建築費一萬九千二百六圓八十五錢なり。
昭和二年	學位授與	本年度に於て學位を受けたる者文學博士一名醫學博士三十四名なり。

昭和二年	文部省大學補助金	本年度は第七回分二萬五千圓交附あり。
昭和二年	東京府より普通部商工學校へ補助金	私立中等學校補助規程に依り普通部へ三千四十圓、商工學校へ二千四百八十圓交附さる。
昭和二年	米國ロツクフェラー財團の寄附	同財團より大學醫學部豫防醫學教室建築並設備費として十七萬五千弗の寄附あり。
昭和二年	桑原慶太郎氏の寄附	信託期間百年を以て三井信託に金一萬圓を信託し期間満了後元本の受益期を義塾として醫學部外科治療費に充當する目的を以て右金額を寄附さる。
昭和二年	塾員谷井保氏の寄附	義塾基本金中に金壹萬圓を寄附さる。
昭和二年八月	圖書館書庫増築修築工事着手	一月四日増築工事に着手八月五日落成修築工事は八月十九日起工昭和三年八月落成。
昭和二年十二月九日	義塾教授堀江歸一博士死去	堀江博士は十二月二日春肆春秋社主催講演會にて京都市に於て講演中腦溢血にて卒倒遂に死去せらる。
昭和三年	文部省大學補助金	本年度は第八回分二萬五千圓交附あり。
昭和三年	東京府補助金	中等學校補助規定に由り普通部へ三千二百圓商工學校へ二千六百十圓交附あり。
昭和三年	高等部に副主任を設置す	豊島定氏就任す

昭和三年	醫學部職制變更	顧問を設置し主事を廢す第一回顧問に北里榮三郎博士を推薦す。
昭和三年四月廿八日	伊藤欽亮氏死す	多年評議員主査委員として義塾の爲に盡瘁したる同氏の死去に依り補充として横哲氏富選主査委員は互選の結果青木徹二氏當選す。
昭和三年十一月十日	御即位奉祝式	今上陛下の御即位の大禮をあげらるゝに當り義塾各部分は盛大なる奉祝式を舉行す林塾長は義塾を代表して賀表を捧呈、尙林塾長は私立大學總代として御大典に參列するの光榮を受く、廿八日に奉祝炬火行列を舉行。
昭和三年十一月	林塾長旭日中綬章を受く	御大典に際し、林塾長は右勳章を拜受し其他義塾教職員中多年教育に従事したる者十名は表彰狀及賞品を授與せらる。
昭和三年十二月八日	理事改選	林塾長、松本理事、重任堀内輝美氏新に學務理事となる。
昭和四年	學位授與	本年度に於て學位を受けし者醫學博士五十四名也。
昭和四年	文部省の補助金	大學補助金第九回分二萬五千圓の交付あり。
昭和四年	東京府の補助金	私立中等學校補助規程に依り普通部三千三百九十七圓商工學校へ一千七百六十八圓交付あり尙同規定に依る設備補助として普通部へ五百圓商工學校へ五百七十圓交付あり。

昭和四年	海外留學生	大學文學部一名、經濟學部二名、法學部一名、高等部一名、尙視察研究の爲に海外に出張したる者十一名。
昭和四年	ロックフェラー財團の寄附	本年より向五ヶ年間義塾醫學部生物學のグイジテイングプロフェッサに要する費用の寄附あり第一回として同財團の斡旋にて米國デューク大學教授エー、エス、パース氏來朝一ヶ年の豫定にて該講座を擔當せり。
昭和四年九月十六日	波多野承五郎氏死去	右費用として金十萬圓の寄附あり尙藤山雷太氏は癌研究費として金壹千圓の寄附をなす、其他多數有志の寄附あり。
昭和四年十月一日	財團法人慶應義塾規約改正	同氏は義塾評議員として多年塾の爲に盡力されたり。同日の臨時評議員會に於て規約改正せられ新規約に基き十月五日廿一日に評議員を二十九日役員の改選を行ふ。
昭和四年十月二日	伊勢神宮式年遷宮祭	義塾各部に於ては夫々奉拜式を行ふ林塾長は民間功勞者參列員として十月五日豊受大神宮遷宮に參列奉仕す
昭和五年二月八日	日吉臺校地決定	義塾と東京横濱電鐵株式會社及目黒蒲田電鐵株式會社との間に契約成立し神奈川縣橋本郡日吉村に於て新に校地として決定したる坪數は十三萬九百五十九坪（實測十三萬七千八百八十八坪五合九勺）内一萬七千五百坪（實測）一萬八千八百八十九坪一合四勺は借地。

昭和五年二月廿三日	商業學校修業年限變更	從來二年なりしを四年となし五年四月より實施。
昭和五年四月	各部主任改選	大學豫科主任(兼任)川合貞一氏同副主任(兼任)西村富三郎氏高等部主任(新任)成瀬義春氏(新任)同副主任(新任)高木壽一氏普通部主任(兼任)小林澄見氏商工學校主任(兼任)向井鹿松氏商業學校主任(新任)增井幸雄氏幼稚舎主任(兼任)小柴三郎氏。
昭和五年四月	各學部長就任	文學部長(兼任)川合貞一氏經濟學部長(新任)三邊金藏氏法學部長(兼任)板倉卓造氏醫學部長(兼任)北島多一氏。
昭和五年六月十一日	福澤先生記念館落成記念式	中津に於ける福澤先生記念館は昭和五年一月十四日起工五月卅一日落成、林塾長、福澤桃介、石河幹明三氏參列落成式並開館式を舉行す。
昭和五年十月十二日	評議員青木徹二氏死去	義塾評議員法學博士青木徹二氏は宿病の爲遂に死去す評議員補缺として倉知誠夫氏當選就任す。
昭和五年十一月八日	聯合三田會	豫て計畫中の聯合三田會は午後四時半より丸ノ内東京會館に於て開催各地三田會より多數出席者あり總計三百五十名の多數にて盛會なりし。
昭和五年十二月十二日	林塾長へ賜餐	私大總長會議終了後特別の御思召にて賜餐の光榮に浴す

昭和五年四月一六年三月	學位授與	工學博士一名、醫學博士四十六名なり。
昭和五年三月	留學生	經濟學部一名、醫學部一名。
昭和五年八月一日	エーエスバース博士歸國 ダビット、ヒントテナン ト氏來講	ロックフェラー財團グイジテイングプロフェツサーとして在任中の同氏は二月任期満ちて歸國。 ロックフェラー財團第二回グイジテイングプロフェツサーとして來任滞在期間一ケ年也。
昭和五年	文部省の補助金	大學補助金第十回分として二萬五千圓の交附あり之れにて全部受領済。
昭和五年	東京府の補助	私立中等學校補助規程に依り普通部へ一千二百二十八圓高工學校へ壹千九百四十圓交附ありたり、當設備費補助として普通部へ四百四十圓、高工學校へ三百三十圓交附あり。
昭和五年	文部省の補助	文部省の自然科學研究從事者に對する補助の趣旨を以て大學醫學部教授加藤見一氏外四名の一單一筋織維剔出法、生活保持法及刺戟研究法に對し三百圓に對し五百圓の交附ありたり。
昭和五年	帝國學士院の研究補助	醫學部醫學部加藤元一氏外一名の「神經系統の新陳代謝の研究」に對し學術研究補助費として四百五十圓の寄附あり。

昭和五年	各種寄附	安川雄之助氏より令息故五郎君記念奨学金五萬圓の寄附、小山田文庫購入費中へ福澤桃介、朝吹常吉、加藤武男、松永安左衛門、小林一三、阿部泰藏、平川篤次郎、日比谷平吉、高橋正彦、小野哲郎の十氏より壹萬圓の寄附、其他和田薫幸會其他より多くの寄附あり。
昭和六年二月十四日	高等部學制改革	修業年限四ヶ年なりしも豫科を廢して三箇年に改む、新學制に就ては此日認可ありたり、實施は昭和六年度より。
昭和六年四月	商工學校及商業學校學科課程改正	昭和五年文部省第五號商業學校規程の改正に依り新課程を制定昭和六年度より實施。
昭和六年四月廿一日	西村富三郎氏理事に當選	病氣の爲辭職した堀内輝美氏の後任として評議員會に於て西村氏當選す。
昭和六年四月	醫學部學則改正	大學學則中醫學部編に大改正を加へ六年度より實施
昭和六年一月十日	普通學科課程改正	文部省令第二號中學校令施行規則改正に伴ひ普通部學科課程に改正を加へ七年度より實施の事となる。
昭和六年	學位授與	本年中に學位を授與したるもの經濟學博士二名醫學博士七十一名計七十三名。
昭和六年	海外留學生	本年度に於て海外に留學したるもの文學部一名經濟學部一名

昭和六年	米國ロツクフェラー財團の派遣教授	生物學教室にグイジテイング、プロフエツサーとして來任中のダビツト、ヒルト、テナント博士は昭和六年六月任期中に歐洲を經由歸米、その第三回として米國ジエンホプキンス大學教授ヘルバルト、スベンサー、ジェニングス博士は一ヶ年の豫定で來朝。
昭和六年	東京府の補助金	私立中等學校補助規定に依り普通部へ金二千七百六十圓、商工學校へ千九百二十圓交付。
昭和六年	文部省學術研究補助金	醫學部小林六造氏外細菌學教室、一同の腸チブス菌、バラチブス菌、腸菌の感染及免疫機構の研究並に細菌の豫防接種の研究に對し金三百圓、精神科醫學研究從事者に對する補助として文部省教授松本芳夫氏外一名の神佛習合史上に於ける宇佐八幡の位置に對し金四百圓交付さる。
昭和六年	帝國學士院學術研究補助	大學醫學部教授小泉丹氏の「マラリヤ傳播蚊の習性」の研究に對し金四百五十圓、同加藤元一氏外三名の研究系統の新陳代謝の研究」に金四百圓交付さる。
昭和六年七月廿五、六日	新潟夏季大學	新潟三田會主催時事新報後援、講演者休藝長（國際講話）瀧本教授（農村問題）川上教授（醫學上より見たる文明）三邊教授（決算報告の見方）小池教授（民法の根本問題）。
昭和六年七月廿四日	通俗醫學講座	慶應海外醫事研究會主催第八回の催しである。

昭和六年七月二日	北島博士日本醫師會々長となる	前會長北里博士突然の死去に依り同日丸ノ内工業俱樂部に於ける日本醫師會總會に於ける選舉の結果北島博士當選する。
昭和六年六月十一日	高橋一知氏死去	經濟學部臨時囑託なりし同氏は死去す。
昭和六年十一月廿一日	聯合三川會	東京會館に第二回大會を開く、恰も福澤先生傳記完成を記念して廿一、二、三日の三日三田義塾圖書館に福澤傳史料展覽會を開く。
昭和七年一月	塾債償還	第一回の償還である。
昭和七年二月	福澤先生傳記完成	石河幹明氏を所長として八年の星霜を閲して出来上つた福澤先生傳記編纂所の大事業遂に完成さる。
昭和七年五月十五日	犬養毅氏死去	首相の現職に在つて塾員たる同氏は暗殺さる。
昭和七年五月	義塾創立七十五年記念式	私學としては全く前例のない事であるが破格の御思召で此の記念式に秩父宮様を御差遣に相成り學術獎勵の思召で一萬圓御下賜遊ばさる、誠に有難き極みである。
昭和七年六月廿九日	林塾長還曆祝	今日東京會館に林塾長を主賓に塾長の還曆祝宴を開催出席者約百五十名頗る盛會。
昭和七年八月	瀧本誠一教授死去	胃癌の爲に同氏は遂に死去す。
昭和七年十月	成瀬教授死去	胃癌の爲に同氏は四十八歳の春秋に富む身を以て死去す。

昭和七年七月	福澤先生傳記献上	刊行完成せる福澤先生傳記を天皇皇后皇太后三陛下へ各壹部宛獻上方願出てたるに七月廿五日御採納の御沙汰ありたり。
昭和七年十二月	續福澤全集完成	先生傳記完成後石河幹明氏の努力に依つて續福澤全集全七卷の完成をなす。
昭和八年四月	商業學校學制改革	義塾商業學校は明治二十四年の創立に係り昭和五年度より高等小學卒業を入學資格とする修業年限四ヶ年の甲種程度に改め更に尋常小學校卒業者を入學資格とする修業年限五ヶ年の甲種程度に改むる事となれり。
昭和七年九月	ロツクフエラー財團の派遣教授來朝	米國ミソリー大學教授ウインタートン・コンウエー・カイナス博士約一ヶ年滞在の豫定を以て九月八日着任す博士はロツクフエラー財團寄附の生物學訪問教授として第四人目の來朝である。
昭和七年十二月	大學病院別館落成	昭和六年六月起工費總額六十二萬二千八百萬圓を投じたる義塾大學病院は昭和七年十二月落成す。
昭和七年	各種寄附金	有賀長文氏は嗣子故長毅氏が在塾當時創設した義塾教育映畫研究會補助基金として一萬圓、幼稚會後援會より幼稚會教職員勤績並に退職慰勞金として六千七百五十五圓、阿部優子氏より創立七十五年記念祝賀會の爲義塾基本金中へ金壹千圓寄附あり。

昭和七年	學位授與	本年中に義塾に於て學位を授與せる者醫學博士五十七名。
昭和七年	東京府補助	私立中學補助金として普通部へ二千九百八十七圓、商工學校へ二千九百圓。
昭和七年	文部省自然科學研究者補助	醫學部藤浪剛一博士外一名の「れんとげん線の定量に就て」の研究に三百圓。
昭和八年二月廿一日	日吉臺工事着手	大學豫科教室建設入札の結果上達合名會社該工事を落札して昭和九年二月落成する様着手す。
昭和八年四月	學則一部改正	文學部經濟學部法學部の選擇科目中に改正を加へ昭和八年度より實施。
昭和八年八月二十六日	ロツクフェラー財團派遣教授	前任カーチス博士と代りて第五回派遣教授としてベンシルバニヤ大學教授クラレンス、アーラインマツクラング博士一ヶ年の豫定にて着任。
昭和八年十月	日吉臺建設委員發表	日吉建設も着々進行したるを以て寄附金募集其他の事務遂行中委員の任命を見たり。
昭和八年十月廿日	評議員改選	義塾評議員の改選々舉の結果殆ど重任。
昭和八年十一月	塾長理事更迭	林塾長勇退し小泉信三氏塾長となり同時に理事に横智雄堀内輝美兩氏推さる。

誕昭和八年十二月廿三日	塾長參内	皇太子殿下本日御降誕遊ばされたるを以て小泉塾長は午前參内奉祝申上げ廿九日御命名當日は大ホールで全塾生教職員一同大講堂に於て奉祝式を行ひ賀表を捧呈す。
昭和八年	學位授與	本學年中に學位を授與せるもの文學博士一名、醫學博士六十五名。
昭和八年	東京府補助	私立中等學校補助規定に依り普通部へ參千八百七圓、商工學校へ二千九百圓の補助あり本年度よりは商業學校にも壹千壹百圓の補助指令あり此外普通部へ設備費補助として九百圓の交付あり。
昭和九年四月	學則一部改正	大學豫科課程中一部の變更あり尙入學會從來五圓の處九年度より十圓となる。
昭和九年四月	日吉臺校舎開校	昭和八年より起工中の日吉臺豫科校舎の一部竣工し今年度豫科一學年より授業開始となる。
昭和九年二月六日	鎌田元塾長死去	多年塾長として義塾の爲に盡瘁した氏は耳下腺炎が因となつて遂に死去した。享年七十八歳。
昭和九年三月十日	武藤山治氏死去	時事新報經營者として福澤先生の遺業の一つである同社の更生の爲に臍身的努力をして居られた氏は兎徒に襲はれて死去した。
昭和九年十一月二日	福澤先生百年祭	福澤先生誕生百年と日吉臺校舎落成を祝賀する大祝典を舉行す。

昭和九年十一月二日	聯合三田會	東京會館に舉行出席者九百名に及び近來にない盛會蓋し聯合三田會としてはレコード破りの出席數。
昭和九年十一月	「福澤諭吉」上劇	先生百年記念として眞山青果氏作福澤諭吉劇を明治座に上場、左團次の福澤先生、猿之助の朝吹英二、壽美藏の中上川彦次郎。
昭和九年七月	津山英吉氏死去	評議員たりし同氏は死去。
昭和九年九月	木村清四郎氏死去	評議員たりし人、右二氏の補缺として乳井龍雄、里見純吉兩氏評議員に當選す。
昭和九年十月十五日	三日出火	大學豫科特別教室より出火同棟を全焼し貴重なる標本類焼失
昭和九年	東京府補助	私立學校補助規定に依り普通部へ三千回商工學校へ二千二百回同設備助費として商工學校へ一千三十四回商業學校へ九百五十回交付あり。
昭和九年	學位授與	本學年中に學位を授與したるもの經濟學博士四名醫學博士五十七名、計六十一名。
昭和九年	各種寄附	日吉臺建設資金並同擴最資金に對し多數有志の寄附あり、他に和田黨幸會、森村豐明會、幼稚會、後援會の指定寄附を始め有志多數の寄附あり。

昭和九年十一月二日	聯合三田會	東京會館に舉行出席者九百名に及び近來にない盛會蓋し聯合三田會としてはレコード破りの出席數。
昭和九年十一月	「福澤諭吉」上劇	先生百年記念として眞山青果氏作福澤諭吉劇を明治座に上場、左團次の福澤先生、猿之助の朝吹英二、壽美藏の中上川彦次郎。
昭和九年七月	津山英吉氏死去	評議員たりし同氏は死去。
昭和九年九月	木村清四郎氏死去	評議員たりし人、右二氏の補缺として乳井龍雄、里見純吉兩氏評議員に當選す。
昭和九年十月十五日	三日出火	大學豫科特別教室より出火同棟を全焼し貴重なる標本類焼失
昭和九年	東京府補助	私立學校補助規定に依り普通部へ三千回商工學校へ二千二百回同設備助費として商工學校へ一千三十四回商業學校へ九百五十回交付あり。
昭和九年	學位授與	本學年中に學位を授與したるもの經濟學博士四名醫學博士五十七名、計六十一名。
昭和九年	各種寄附	日吉臺建設資金並同擴最資金に對し多數有志の寄附あり、他に和田黨幸會、森村豐明會、幼稚會、後援會の指定寄附を始め有志多數の寄附あり。

昭和九年 文部省補助
精神學研究會に對する獎勵補助として大學文學部教授橋本孝氏の「近代社會道徳思想の批的的研究」に對し三百圓交附。動物大關皮質感覺

昭和十年二月十五日 望月軍四郎氏百萬圓寄附
教職員退職手當資金として壹百萬圓を宮附、それは家職並手當給與に附給與する事に決定望月氏の厚意に對しては義塾當局の感謝は勿論の事、各地三田會より百數十通の感謝狀を望月氏に送る。

昭和九年	文部省補助	精神學研究會に對する獎勵補助として大學文學部教授橋本孝氏の「近代社會道徳思想の批的的研究」に對し三百圓交附。動物大關皮質感覺
昭和十年	望月軍四郎氏百萬圓寄附	教職員退職手當資金として壹百萬圓を宮附、それは家職並手當給與に附給與する事に決定望月氏の厚意に對しては義塾當局の感謝は勿論の事、各地三田會より百數十通の感謝狀を望月氏に送る。
昭和十一年
昭和十二年
昭和十三年
昭和十四年
昭和十五年
昭和十六年
昭和十七年
昭和十八年
昭和十九年
昭和二十年

第二篇 慶應義塾入學案内

慶應義塾入學志願者よ！

慶應義塾の門に殺倒する志願者は毎年尠なからざる數に上るが、中には兩天秤で外の學校にも願書が出してあるから若しも第一の志望校が駄目だつたら塾にでも入つて見やうとか、或は模擬試験よりは氣合が入つて宜いから度胸試しと腕だめしの爲に一寸塾の試験を受けて見やうなんて考への人々が可成りあつたのを記憶して居る。筆者が嘗て塾生であつた時代は十數年前の昔の事であるが其時は四月に塾の入學試験があつて、七月に高等學校の試験があつたので一先づ塾に入つて置いて後で高等學校に移る人も少なくなかつた。

それは轉校しやうと模擬試験のつもりで受験しやうと各人の勝手であるから其の是非を敢て論じないが、かくの如く二股をかけて後の結果はどうなつたかを知つて置くのは後進の人の参考に

なると思つてそれを一寸申上げて置きたいのである。十數年前には官尊民卑が今より烈しかつたから塾の試験より高等學校の方が遙に競争激甚であつた。その試験地獄に於て見事勇者となつた人は勿論相當に出来る人に決つて居る、塾に一度入學して再び高等學校に向つた人は勿論其の中の一員であるから成績優秀であつたに相違ないのだが、其の人々が高等學校を卒へ、帝大を卒業して十年の後の今日如何なる地位を占めて居るかを調べて見たら失禮乍ら、之れは思ふ地位に進んで居る人は一人も居らなかつた。

之れは偶然の結果であつたかも知れないが、一寸興を以て調べて見た事實なので特に申上げて置く。

二

近頃は入學試験が高等學校と同時になつたので、こんな兩天秤だの、融通入學は出来なくなつたが、中には一年の塾生生活を棒に振つて翌年再び高等學校の門に向ふ人絶無ではないと聞いて居るが、そんな事は甚だ愚策であると共に一生涯の運命を悪い方に自ら導く様なものであるから

呉々もそんな考へを出さぬ様に塾を受験する以上は必ずどうしても塾に見事パスするつもりでやる。そして決して途中で轉校なんかする事を考へない様にして頂きたい。

此の事は何も官立に轉校するのを妨げるが如き狹量の考へから、かく申すではなくつて諸君將來の爲に塾生として終始一貫し、塾員となつて社會に立つ方が、どの位意義があり、又成功の捷徑であるかをよく考へて頂けばおわかりになる事と思ふ。

無駄な事の様であるが一片の老婆心を以て一寸考へついた事を先づ一寸書いて見たのである。

三

塾の受験必勝法に就ては別項にも「慶應義塾入學の秘訣」と題して一寸書いて置いたが入學案内の總論とも云ふべき本項に於て特に御注意申上げたいのは塾の受験法の要領である。

要領と云つても百發百中なんて甘い話の方法は、そんなにあるものぢやないが、物はやり様である。同じ實力を有する人がAは九十點をとり、Bは七十點しかとらぬ様な場合がよくある。之れは運不運が手傳つて偶然、氣を付けて置いた處が試験に出て思はぬ利益を得る様な事に依る場

合もあるが、要は試験勉強のやり方の要領如何に依り可成りの相違を來す事を考へねばならぬ。

然らば塾の受験法の秘訣は何かと云へばレギュラーの勉強の外に常識の涵養を加へよの一言に萬事はつきるのだ、教科書、参考書を一通り目を通したら、社會に廣く視野を廣げて新聞雜誌等を漁つて淺くともよいから、廣い知識を獲得して置く可しである。具體的にはこうとは云へぬが、諸君がそれをやつて置いたら試験場で思ひ當る節が少くないと思ふ。

それから誰も云ふ事であるが、字に就てである。字を出来るだけ綺麗に書く事と、虚字を書かぬ事とは最も必要な事である、記憶を記憶、焦燥を焦燥と書くが如きは有勝の事であるが十分に注意すべき點であらうと考へる。書いた答案を読み直す事は臆劫かもしれないが是非見直す可きものである。必ず何事か發見する箇所があるものだから、英語は塾の試験では一番重要視されて居るものだけに力瘤を思切つて入れて置かぬと大損である。語學の事だから附焼刃は一寸難かしいかも知れないが一番よいのは本書に出て居る最近數ヶ年の問題を研究して出題の傾向と癖を腹に入れて置けば宜しからう。

數學其他思ひでの準備法は諸君の方が詳しいから敢て云はない。

四

自己の志望する學校の内情は大略知つて置かぬと具合の悪いものであり、眞逆の場合に思はぬ失敗を來すものである。

本書の第一篇は其の目的の爲に書いて置いたものであるから折を見て一讀して置いて頂きたい最後に一言したい事がある。それは塾に入學する人は既に卒業後の就職問題を氣にして居るだらうと思ふが塾程就職の容易な學校は天下に二つとないと云つても過言でない程に就職は好い情況にあるのだから安心して頂きたい。尙ほ三篇就職の條項はこれから入學せんとする諸君には差向き必要の事ではあるまいが臆ては廻り來る運命なのであるから常識として見て置いて頂きたい。とりとめもない事を書いたが兎に角本書の存在に依つて少しでも義塾受験者諸君が得る處があつたら筆者の光榮之れに過ぎるものはない。

終りに臨み、本書を御讀みになつた諸君が目出度く、入學の榮冠を得られる事を衷心から祈つて置く。

受験者に對する

諸教授の注意事項

難しいフレズやアクセンチュエーションは
傳統的に出てゐない

英語畑

功教授(談)

入學試験に英文和譯として官立の學校では仲々の難句や難單語を出してゐるやうですが、慶應義塾では歴史的に難句等は出さない方針で、上げ足を取るやうな事は一切なく親切に問題を出してゐました。今年も未だ問題は選んでありませんが、受験者諸君の學力の程度で落着いて考へれば出来る筈のものです。併し出来る問題でも單語が一つ判らない爲に誤譯する場合もあるから自分の注意は勿論な事せう。といつてペラボーに難かしい單語を出すわけでもなく、受験生諸君の力に相應しいものを出す心算ですから……。エラーですがよくあるのはコンマがあるとそれで

文章が一切れしたものと早呑み込みしますが。充分先を注意して欲しい。又問題は三題とすれば出題するに當つてそれ／＼多種多様の方面から取り度いと思ひます。次は和文英譯ですが、これは諸君の方で容易に心得てゐるせいか、毎年結果が思はしくありません。どうにかかうにかこね上げられる位に思つてゐるのは大間違ひで、これが失敗の原因となるのでせう。日本文の字句に拘泥せず意譯する心持が欲しい。よくパーチシバル、フレーズ等で書きはじめて、これはなかなかうまいわいと思つてゐると、尻尾切れの文章だとか、所謂龍頭蛇尾の迷譯で、試験官のこちらが苦笑噴飯、大きに迷惑します。要するに意味をよく嚙んで、自分の英語で完全なセンテンスにする様心掛けて下さい、最後にアクセンチュエーションやパンクチュエーションは入學試験には餘り結構なものでないんで義塾では出さない方針です。心得としてはこんなもので、諸君が落着いて實力を充分發揮すればパスは疑ひないと思ひます。

幾何は重要問題の應用と、實力代數は運算の

正確迅速と熟練・斯くありたい準備

數學の問題は代數が二題幾何が二題と定つてゐるわけではありませんが大抵半々になつてゐる様です今年の組合は何うなるかわかりません。毎年答案を見て氣附く事や試験員の一人として受験生諸君に注意しておきたいことは大體次の様なことです。先づ幾何は試験員が考へて創つたのを出すことになつてゐますから減多にありふれた問題は出ません。ですから澤山の問題を暗記して所謂やまをあてることは望まれないことです勿論四年修了程度の範圍で問題を出すのですからそんなに難かしい筈はなく始めて見た問題なども驚かず落附いて今迄學んだ定理なり作圖なり或は軌跡の重要な問題なりを基礎として應用し何んな問題でも解き得ると云ふ自信を持つて試験に臨んだならば失敗することはないと思ひます。又代數の方は幾何と異つて試験場で考を練る等と云ふことはなく只其成功不成功は運算の遲速にあるのです。運算だけは平生速く間違ひなく出来る様に熟練して置く必要があります。之を欠いてゐる人は試験場で時間が不足すると云ふ結果を招くことになるのです。よく答案の終に「時間不足云々」と書く人がありますがあれなどは正に練習不足を自白してゐるものです。要するに幾何は暗記的でなく重要な定理を咀嚼し何んな問

題に出合つても驚かず落附いて之を應用して解き得る丈の自信が必要ですし代數は方程式か比例か級數か其種類が容易にわかるものですから只運算を平生熟練して置くことが最も必要です。又本塾の答案にはコムパスも定規も使はれずにもペンで書くことになつてゐるのですから消したりよごしたりしてはとも見られたものでありません。是非其綺麗にわかりよく書いて下さい。

昨年と大差はないが現代文が多からう

綺麗な答案は受験の秘訣

國漢 某 教 授(談)

受験者の答案に對して、今まで、これと言ふ、注意すべき點も見出さなかつたがどうも近頃は一般に文字に對しての理解がなくて困る。新聞記者でさへ飛んでもない誤用をやつてゐるのだから、受験生諸君が誤ふのは無理もない話だ然も少し常識的に頭腦を働かして見つともない誤謬をせぬ様にして欲しい、今年の出題方針に對してははつきりした事は言へないが、恐らく去年と同様に題數は二題で、一題は白文に解釋、送假名句讀返點、他の一題は適字の問題か又は熟語の解

釋が出るだらうと思ふ。問題の傾向は現代物だらうと思ふが、去年の様な例外もあるから、古文にも注意しておく必要がある。換文は五十點満點であるのに、四十點と入は殆んど稀と言つてよく、三十點以上の者も僅少である。これは一般に漢文を輕視してやけ氣味に書いてしまふからだと思ふ。決して輕視してはならぬ殊に熟語等の解釋は大體の意味に止まらず、その起りにまで注意しておくといふと思ふ。字をわかりよくかくことは申す迄もないことだが漢文に於ては殊に假名返點等を明確にかいて貰ひたいものだ。熟の問題はさう難しくないのだから、落ちついて、常識的に綺麗な答案を作る様にする事が受験の秘訣だと思ふ。

昭和十年採點者は語る

和文英譯問題は此の通り中學三年程度の易しいものであるにも拘らず、相變らず文法の知識に乏しい事を暴露してゐる。例へば「此の時計を度々修繕した事がある」と言ふのを “Have this watch mended” と云ふ言葉を使つた人は少なかつた、細い所に注意して見れば間違ひは相當にありあの問題に對しては思つたより出來が悪い、試験のために固くなつたせいもあらう。

數學全體から見れば中學校程度の實力が低下した様に思はれる、(3)の如き定理の説明はどの本にも出てゐるものであるのに拘らずこれを完全に解いたものは少なかつた、(4)は採點しない事にした。

口頭試問に對する要領

先づ眞先に聞かれるのが氏名だ、生れた土地現住所なんかも聞かれるかも知れない、すべてはフアストインプレッションが大切だから明瞭に而も謙讓の態度で答へるがよい、「君は中學時代英語が出來なかつたね」なんか云はれて度膽を抜かれてはいけない。

福澤先生、獨立自尊、塾の校旗の色慶應義塾の創立された時、慶應義塾の志望の理由なんかは一通り前以て明快に返事が出來る様に準備して置くが宜しい。

敬語と代名詞の使ひ方は急拵へでは無理だらうが十分氣を付けて研究して置くべきだ、自己の近親のものには敬語を用ゐない事、父、母、姉、伯父等と云ふべきで僕のお父さんが！とか、僕の姉さん！とか云はない事、第一目上の人に對して僕といふ代名詞は失禮であるから「私」と

必ず云ふべきである、近頃の中學ではどうも此の方面の教育が等閑に附されて居るので甚だ聞き
苦しい會話を時々耳にするが、所謂お里が知れるといふ様な言葉を口頭試験で見あらはされない
様に平素の注意が肝要である。

態度は飽くまで端正に、男らしく明確に返答するがよい知らぬ事は存じませんと明らかに云つ
た方がよい。

「君は何が好きか」此の漠然とした問が出た時は悠然として「食べるものですか、それとも學問
の科目の中ですか」等と云つて反問するがよい、「趣味は何だね」と聞かれて云つたものか云はぬ
ものか躊躇するのは却つていけない、こんな問はよく聞かれるものだから「私は旅行が好きです」
とか、「寫眞を撮るのが道樂です」とか、グライダーが好きですとかすぐ返事するがよい。

「五・一五事件をどう思ふか」とか「帝人事件に就ての意見」なんか此の奴は曲者だ、うつかり
大演説をやつて長廣舌を振ふはいゝが思想をどうだといふ事を見られる、失禮乍ら中學程度の教
育でまだこんな事を正しく判断出来る譯はないのだから、あんまり右傾、左傾の説何れとも云は
ぬ方がいゝ、たゞ常識的に其の眞髓を簡単に把握して、公正な第三者の立場から正しいと思ふ程

健な判断を云ふのはいゝだらう、何れにするもこんな問題は全く六かしい事だから一概に何とも
いへないが、其處は入學試験は要領だ、殊に口頭試問なんかは要領の二字に盡きるのだから適當
に返答をすれば宜しい。

塾は所謂群衆心理に依つて附和雷同したり、机をたゝいて空理空論を振廻す様な事は絶対に嫌
ふのだから、そんな事はない様に受験前から御用心ありたい。

所謂學校騒動といふものが殆どないのを見ても塾の學風がわかりと思ふが特に此點を御注意
申上たい。

要するに、塾の口頭試問を受ける時は、既に塾生になつたつもりで塾の雰圍氣を相當に理解し
て居るが先づパスの第一要件だ、本書の第一篇慶應義塾大觀は是非御一覽置き願ひ度い、塾の大
略は之れでおわかりになるから、次に昭和十年口頭試問に就て三田新聞紙上に掲載された記事を
御参考の爲に再掲する。

口頭試問の體驗と秘訣

先づ指定された控室で教師から紙を渡されて記入を命ぜられる。愛讀書とか學資の豫算とか出所、家の資産、自己の主義モットーなど相當細かに及び微にわたつてゐる、受験番號順に十人づゝ呼び出されて試験場へゆくと扉外で待たされる。そつと同輩の肩越しに恐る恐る中を覗いて見ると三名づゝ、試問官がゐるその前に棒をのまされた様に不動の姿勢よろしく坐つてゐるのが受験生である。地獄で閻魔様の前で裁判をうける亡者を髣髴させる態である。

姓名を問はれる。之は其の試験官に第一印象を與へるものとして大切なものである。ハッキリすることは勿論必要でたとへ名が大久保彦左衛門であつてもいゝ、自分の姓名は堂々と答へるべきである。

「君は數學が悪いね」

少し笑を含んで聞くが之は一次試験の成績と出身中學の申告書を見乍らだからだ。

「ハイ、しかし勉強します」

つもりですなどと言ふつもりだけかいと揚足をとられるから御注意。

「何か運動は」こんなことも問はれるから正直にハッキリと答へれば無難だ。

愛讀書に就いては記入する時に成るべく經濟學についてのものは書かぬ方がよい、内容を問はれるから、それよりも修養に關するもの、偉人の傳記など内容を知るものを二三書ぐがよい、それから慶應を志願した理由、

主義、モットーも書入れたものについて聞かれるが獨立自尊についても一通り意見を作成して置くがよからう本塾、殊に當學部では其の性質上思想は極めて重視する、之は必ずしも口頭試問のみによつて窺ふのではない、作文、愛讀書、主義、モットー、そして更に試問によつて總括的に窺ふのであるから迂闊に出来ない、一問一答がその調査と云つても過言ではない。どんな形式で問はれるかは千差萬別であるがたとへば昨年では

「五・一五をどう考へるか」

などである。勿論右へも左へも傾くことはいけなく、不敬な言辭を弄したり、不穩の一言などは致命的である。要するに態度は高慢に墮することなく學生らしく朗かに堂々と語調は早過ぎることなく明瞭でありたい。徒らに畏怖することなく謙遜な態度を持して貰ひたい。

法學部

生れつき他人の前ではいさゝかあがるたちなので、胸の鼓動を押し静めながら控室にて待つ事しばし、記入用紙が渡された、曰く「愛讀書」曰く「自己の主義」曰く「何」……と言つたやうに生年月日から家庭の状況に至るまで實に至れり盡せりの調査ぶり。

やがて受験番號の順に十人位づつかためて隣りの試問場に呼出される

受験寫眞と見較べながら

「君は〇〇君だね」

「ハイ、さうです」

かくて身許證明が済むといよいよ試問だ

「君はどう言ふ點でかゝる主義なのかね」
と来た

だから「自己の主義」欄に既に未來の塾生を夢みて「獨立自尊」など、書かうものなら福澤先生の研究家と見做されて、それ相當の質問を受ける事は必定なのである。

「君の好きな課目は歴史と英語だね」

「ハイ」

「では英語で平假切下のことを何と言ひますか」

正に晴天の霹靂である、この問ひに對して何と答へたか覺えてゐないが、この問ひの後は至つて平凡な家庭の事情を尋ねられて

「ではよろしい」

と試問終了、此の間約十分也、要するに變に氣取つたりなどする事は禁物で、眞面目に率直にする事が何よりだ殊に日吉豫科では斷髮令が施行されてゐる現状からして、長髮の士はいさゝか注意すべきである。

文學部

先づ控室で「家庭の境遇」とか「愛讀書」とかその他種々の事柄を記入する用紙が渡され記入に關する注意が申渡された、だから口頭試問だからとてペンを持参しないなど、言ふのは不注意の極だ、この用紙に記入するに當つては眞面目第一だ「愛讀書」の欄は文學部だけに最も重視されるらしく文科志望だからとあまり文學少年振らぬ事が大切、さもないと皮肉な質問にとつちめられてギョウ／＼の目に遭はされるおそれなきにしもあらずである。

記入が済むと受験番號順に試問場に呼出される。

机の上に記入紙を置いておもむろに問ひを待つ。

家庭の境遇、趣味などから始まつて自己のモットー等が聞かれる。

モットーなどは誰でも一番困る事柄だが、もし無かつたならその儘その欄をブランクにして置いて結構だ、正直第一か肝要である。

誰だつて口頭試問の時にはいくらかは上り勝ちだから、出来るだけ落附く事、それから無論變に氣取ると却つていけないが禮儀態度に注意する事は心掛けた方がよいだらう。

優等入學者の經驗談

英語の勉強で苦心した

僕は中學四年の夏に修業後は慶應義塾經濟學部に是非入りたいので九月から受験準備にとりかかりました。處で心配になつたのは英語です、慶應の英語の試験は他校に比して難かしく聞いて居りましたので元來英語の不得手な僕は到底普通の方法では駄目だと思ひまして學校から歸りますと毎日英語の勉強に努めました、讀んだ本は中學三年四年の教科書が主でありまして粗讀主義を避けて精讀主義で書中の塾語や單語の重要と思ふのはカードに記して通學の往復に電車の中で見たり、公園を散歩しながら見たりして、それから試験の二月前からの英文和譯法の代表的著書といふのを二冊見た、不得手である和文英譯は受持の英語の先生に、新聞の中から問題を出して貰つて特に自分で作つたものを添削して貰ひました、どうも僕の經驗と申すと生意氣な様ですが和文英譯は自分で骨折つて作つたものを直して貰ふのが一番上達する様ですこんな風で殆ど自分の嫌ひな英語を二月初めまで勉強しましたら今度は面白味が出て二三の英字新聞も毎日興味を以て

讀む様になりました、自信も幾分出て來ましたものゝ元來が不得手であるので不安の念がまるきりなくなりはしませんでした數學は割合に得意であつたのと此の學校の入學試験の數學は大して難題が出ませんので教科書と諸官立學校入學試験に出た問題を半分位やつて見ました、それから慶應の入學試験問題はどんなのが出るのか一寸見て置きたいと思つて兄の友人が幸に本科二年に在學して居りますので「慶應義塾入學案内」を買つて貰ひ從來の問題を見ましたが英語を少し考へた外は數學は容易に出來ましたこんな風に満足な勉強もしませんで試験場に臨みまして數學は無難英語は譯解の方は可成り出來たと思ひましたが英作文の方は一題はまるで滅茶苦茶で他も自信がありませんでした、日本作文は大風呂敷を擴げて歸宅しました和文英譯で落第しやしないかとビク／＼して居りますと幸に案外いゝ成績で入學する事が出來ました、要するに慶應義塾を志望する諸君は英語はしつかり勉強しないと他校と違つて實力本位の割合に難かしい問題が出來ないと思ひます、一寸感じましたから附加へて置きます。(經濟豫科二年 春兒生)

受験準備は仕様にある

自分は昨年四月入塾したものである、中學に在學中から最近二三年間の義塾の問題を見て多少その傾向をも知る事が出来たので準備として餘り多く勞力を費さなかつたのに案外の成績で入學が出来たのは嬉しい事であつた。先づ義塾では英語に意を用ひて居るとの事である故特に英語の勉強を主とした。然し多くの受験者論君の如く弱點に付け入り賣り込まんとする市中の受験書等にはあまり依らず中學の教科書を精讀し特に文法を勉強した義塾の試験問題は難題はあまり見當らぬ單語等は比較的少なく日常の單語と文法特に文章の構造等に意を用ふれば大概は解し得る問題が多いと思ふ、で自分は日常の單語を覚える爲めには教科書の傍らジャパンタイムス等を読み之により單語の知識と同時に和文英譯にも得る處多かつたと思ふ、毎年の例で數學も決して難問題はなく全般に亘る知識を有し之は何の問題であるかが分れば解するを得ると云ふ如き題が多いと思つたので斯る方針で自分は勉強をした。其他國語漢文は容易しいと思つたが義塾では特に日本文に突飛な題が出る。そして之を以て受験者の思想常識を驗するとの事である其點より特に時事問題に精通する要ありとは熟在學生に聞いて居たので自分は常に新聞を讀む事を忘れず之に依りて大いに常識の涵養に努めて居た。以上が先づ受験に對する準備である。(豫一 伊藤生)

義塾入學の秘訣

近年の如く何千何百の入學志願者が義塾の門に殺倒しては仲々入學も樂には出来ない、本書中の入學統計の示す如く、年を逐ふて入學率は高くなる傾向がある。かうなると入學志望者も義塾入學試験に合格する方法を考へなくちや損である。然らば甘く入學試験に合格するにはどうすればいゝか、即ち入學の秘訣は如何、之は一言にして云へばどんな勉強方法をしたらいゝかといふ問題に歸するであらう。

義塾は新日本文明の開拓者福澤先生の創立に係はり常に一歩づゝ一世に先じて居るのが特徴である。従つて新しき學問を實際的に研究する必要上語學に非常に重きを置く。それ故入學試験に出る英語も他校に比して六かしいので有名である。而して、こゝに注意しなければならぬのは六づかしい英語が出ると云つて難句集だの熟語だのを無暗矢鱈に呑み込んで安心して居るとひどい目に遇ふ事である。義塾の方針は原書を自由に讀みこなす力と會話に熟達する事に重きを置いて居るのであるから義塾入學の試験の英語(又は獨佛語)準備法は教科書を精讀して得た力で以

て外字新聞又は雑誌の如き極めて一般的のものを讀んで英語に慣れる事、英文解釋上の常識を養ふ事が肝要である。又一方和文英譯も可成り凝つた問題が出るから譯讀の方面から記憶したボキヤブラリーや成句を上手に運用する事を常に心掛け、又普通のグランマーを會得して置けば結構である。

義塾の英語は時文が出ると云つて時文許り研究して失敗した人があつた、時文も出るが時文と云ふよりは一般的常識の英語が出ると思へば間違ひはない。

次は數學である、問題集の部を見ればわかる通り義塾の入學試験に出る數學は割合に容易なものである。であるから數學は矢鱈難問のみに頭を捻るのは損である。比較的普通問題に多く接して後暇あれば難問もやつて置いても悪い事はない。兎に角成績はすべて合計點で決するのだから大きく數學で點を稼いで置く事は入學秘訣の奥の手である、昨年も英語は可成りの不出来であつた人で數學滿點のために合格出來た人が多勢あつた、但し斷つて置くが英語が不得手でも入學した人は入學後は必要なのであるから専心英語を勉強しなければならぬ、之は餘計な事だが一寸特に中上げて置く。

國語は教科書に徒然草。漢文は教科書に唐宋八家文の拔萃でも讀めば宜しい。作文は特に變つた題が出るが要するに常識を涵養して置けば書ける問題だと思へば宜しい。(昭和十年度版對照)。注意して置いていゝだらう。其他醫科受験者諸君は物理化學動植物を勉強しなければならぬ、之は問題を見れば大體の傾向がわかると思ふので詳説は省く、要するに點の動搖の大きい數學では滿點を滿更とれぬ理由もないのだから十分踏張る事、英語は二百點滿點の大口の奴だから少なくとも半分は出来る事、此の二つを實現すれば他の科目は誰でも大同小異だから合格圏内に這入つたと見てよい。醫科志望の諸君は將來必要な物理化學動植物で相當に點をとらぬといけぬ。

昭和十年
四月

大學豫科入學志願者及入學者數

出身校種別	入學志願者					入學者				
	文學部	醫學部	計	文學部	經濟學部	法學部	法學部	醫學部	計	
普通部(卒業)	一五二	一九八	一七四〇	三〇	一四三九	二一	三三	一三八	一六七一	
義塾商工學校	六九	〇	七〇	〇	六八	〇	〇	〇	六九	
義塾商業學校	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
中學校(卒業)	二、三二六	二七七八	三、〇九四	二五九	三三九九	一九一	二一六	九〇	一七九五	
商業學校	七二七	一、〇九八	一、八二五	〇	四九一	〇	〇	〇	四九一	
師範學校	一〇三	〇	一〇九	〇	七	三	四	二	一四	
檢定(高專)	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
在學生ニシテ轉科志願者	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
朝鮮高等普通學校	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
商業學校以外ノ實業學校	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
高等學校尋常科	三	〇	三	〇	二	〇	〇	〇	二	
計	三、四二〇	一、〇七一	四、四九一	八四	六三五	二四四	一四六	一九一	二、三三八	

昭和十年
四月

高等部入學志願者及入學者數

出身校種別	入學志願者	入學者
	慶應義塾普通部卒業	九
慶應義塾商工學校卒業	一	一
慶應義塾商業學校卒業	三	一
中學校卒業	三四三	一四八
商業學校卒業	四八	二四
朝鮮高等普通學校	一	〇
高等學校尋常科	一	〇
義塾大學在學者	三	〇
他大學在學者	三	〇
其他	一	〇
計	四三二	一九四

慶應義塾の學費は決して澤山かゝらない

一概に慶應義塾と云へば、直ちに金の費る學校の様に考へて居る人が世間にはまだ尠くない様であるが、それはあまりに間違つた考へ方である。若し塾はいい學校であるが金が費るので志望出来ないとしても考へて居られる父兄や志望者の方があつたなら、その心配は全然御無用であるから他校並に學費の豫算を以て安心して願書を出すがい。

それでは入學當初にはどの位金が入用であらうかと云ふのに入學金の拾圓、授業料一學期分四十圓制帽三四圓、制服(夏服をすぐ作れば秋まで冬服は不用)二三十圓贅澤を云つてレインコートを贅ればこれが十二三圓から廿圓前後といふ處、入學の景氣を附けて靴を新調すればこれが五六圓から十圓位、外に教科書ノート、其の外雜費で合計十五圓も見積れば大丈夫だ、尤も教科書は古本を利用すれば可成り安いものが手に入るし、ノートなんかも近頃は實に安いものが澤山あるから、其等を利用するのも利口な方法だ。要するに慶應義塾に入學すればどうしても入用だといふ學費は他校と全く變りのない額である事を特に申上げて置きたい。

苦學して塾を卒業出来るか

慶應義塾は贅澤學校であるから苦學なんかして居る人は只の一人もないなどと考へるのは大いなる間違ひである。

今日は社會樞要の地位を占めて居る塾員の中でも苦學をして塾を出た人は決して尠くないのだ。筆者は實例を澤山知つて居るから、その名前と苦學をどうやつた方法で敢行したかを諸君に御紹介申上げたいがスペースの都合で割愛して置く、けれども、苦學しても塾を立派に卒業が出来るのだから、塾を志願したい心は山々だが學費を稼ぎ乍ら卒業出来ないから止めるなんかと考へて居る人があるならば、それは大きな考へ間違ひであつて、若し他校で苦學力行の出来る人なら義塾に入つてもそれは同様可能である事を御承知置き願度い。

特に慶應義塾の塾生共濟會はシステマチックの組織の下に此等苦學をしてやつてのけようといふ諸君の爲に門戸を開放して其の利用を待つて居るのだ。共濟會に頼らないとしてもまだ其の外にも苦學の方法は澤山にあるし、そんな事は説明しなくても既に諸君が御承知の事だと思ふ。

勿論、物事はピンからキリまであるのだから授業料を除いては制服にしたつて、靴にしたつて贅澤なものを作れば、それこそ際限なしの話だが、そんなオシヤレや、贅澤を例外に置いて考へれば慶應義塾の學費は決して高くない事をもう一度念を押して申し上げて置く、それから入學して後に月の學費は、別に此處に書置く必要もあるまいが大略下宿して五十圓自宅から通つて二十圓位と考へれば無難であらう。

要するに慶應義塾に入學しても苦學をする事が決して恥かしい事でもなければ不可能の事でもない事を申上げて置く。

大學部豫科 高等部 入學志願者及合格者 (但し普、商より
の入學者を除く)

	本年度志願者	本年度合格者	九年度志願者	八年度志願者	九、十年 志願者比較
文學部	一八五	七四	一八五	一五四	ナシ
經濟學部	二、七二四	三二一	二、四三八	二、〇七二	増 二八六
法學部	四六〇	三一三	五三一	五一二	減 七〇
醫學部	九四一	一〇〇	一、〇四五	九四五	減 九四
高等部	五六一	一八七	三九五	三七四	増 一六六
合計	四、八七一	一、〇九五	四、五九四	四、〇五七	増 二七七

裏から手を廻しても駄目

塾員や塾關係者、教職員にでも知合があつたりその方面に運動すれば塾に入れる様に考へて居る人が、多くの世人の中にはある様であるがこれはあまりに塾の實情を知らぬ人の謬見であつて全然無益徒勞の仕事に過ぎないから之れから、受験される諸君は夢にでもそんな陋劣な事を考へないで頂きたい。試験場に於て提出された諸君の答案は番號と名前を記載した部分と答案の部分に切斷されて各分擔試験委員は一人一問を見るに過ぎない。従つて四問あれば四人の異なつた試験委員が之を見る事になり、而かも見る答案には名前もなければ番號もないのだ採點が全部終つてから合計點を寄せて點の多いのから段々に整理して行く、それも一人や二人の人手でやるのではない。眞個に入學が決定するのは發表の日夜明の頃で點がすっかり定まつてから名前と引合せカードが整理されるのだから運動なんぞ絶対に効果のあるものではない。そんな事を考へる暇に前に出た問題の一つも余計に練習して置いた方がどの位いゝか解らない眞逆そんな謬見を抱いて居る人もあるまいが念の爲に一寸申上げて置く。

慶應義塾卒業生の就職

入學しない中から就職の事なんか考へるのはあまりに気が早いといふかも知れないが、學校を出ても碌に賣口のない様な不評判な學校なら寧ろ初めから入らない方がマシだと思ふ。慶應義塾の實勢力に就ては大略本書の第一篇に書いた事でおわかりになつたと思ふが、塾出身者の就職は塾の評判がいゝのに比例して頗る良好で、普通の成績なら就職地獄に沈淪しないでも大丈夫だ、左に本年昭和十年度の就職統計を掲載して置く。

本年卒業生就職表(七月二十五日調)

科別	卒業生数	就職決定者	上級學校入學者	未就職者
經濟學部	461	336	6	119
法學部法律學科	155	108	1	46
法學部政治學科	80	67	1	12
文學部	133	100	7	26
醫學部	101	76	1	24
高等學部	36	26	1	9
總計	1067	794	17	256

(備考) 上級學校入學者は本塾大學入學者なり、卒業生数は本年三月卒業の者に其後の追加卒業生を加へたるものにして、九年四月より十年三月までの追加卒業者を加算せず。

本年卒業生就職分布状況(七月廿五日調)

就職先種別	大		學	
	部	別	部	別
官署	9	1	2	5
銀行	1	1	1	2
會社	2	1	1	1
新聞通信	1	1	1	1
本塾醫學部助手	1	1	1	1
病室	1	1	1	1
本塾醫學部	1	1	1	1
個人商	1	1	1	1
其他	3	4	3	4
計	36	45	36	45

昭和十年度大學豫科及高等部入學者の原籍と出身中學の統計表(五月末現在)

大學豫科第一學年入學者原籍府縣別調

原籍府縣	入學者数	出身中學
東京	42	32
神奈川	36	26
埼玉	24	16
千葉	26	16
茨城	26	16
群馬	26	16
栃木	26	16
福島	26	16
宮城	26	16
岩手	26	16
青森	26	16
秋田	26	16
山形	26	16
新潟	26	16
富山	26	16
石川	26	16
福井	26	16
岐阜	26	16
愛知	26	16
三重	26	16
奈良	26	16
和歌山	26	16
大阪	26	16
京都	26	16
滋賀	26	16
兵庫	26	16
岡山	26	16
広島	26	16
山口	26	16
徳島	26	16
香川	26	16
高知	26	16
愛媛	26	16
福岡	26	16
熊本	26	16
大分	26	16
宮崎	26	16
鹿児島	26	16
沖縄	26	16
計	1313	898

高等部第一學年入學者原籍府縣別調

原籍府縣	入學者数	出身中學
東京	54	44
神奈川	49	39
埼玉	44	34
千葉	44	34
茨城	44	34
群馬	44	34
栃木	44	34
福島	44	34
宮城	44	34
岩手	44	34
青森	44	34
秋田	44	34
山形	44	34
新潟	44	34
富山	44	34
石川	44	34
福井	44	34
岐阜	44	34
愛知	44	34
三重	44	34
奈良	44	34
和歌山	44	34
大阪	44	34
京都	44	34
滋賀	44	34
兵庫	44	34
岡山	44	34
広島	44	34
山口	44	34
徳島	44	34
香川	44	34
高知	44	34
愛媛	44	34
福岡	44	34
熊本	44	34
大分	44	34
宮崎	44	34
鹿児島	44	34
沖縄	44	34
計	2101	1313

大學豫科第一學年入學者出身學校種別

高田中	三條中	柏崎中	佐渡中	村上中	新湯中	富山縣	富波中	高岡中	神通中	石川縣	金澤一中	同二中	福井縣	大野中	小濱中	岐阜縣	岐阜中	大垣中	武義中	惠那中				
一	一	一	一	一	一	三	二	二	二	二	三	一	三	二	三	一	四	二	一	一	一			
愛知縣	愛知一中	熱田中	明倫中	半田中	豐橋中	東海中	東邦商	愛知商	豆橋市立商	長野縣	伊那中	長野中	諏訪中	須坂中	松本中	野澤中	飯山縣	甲府中	日川中	都留中	身延中			
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
靜岡縣	濱松一中	靜岡中	沼津中	見付中	志太中	榛原中	豆陽中	富士中	莊山中	滋賀縣	八日市中	彦根中	八幡商	神崎商	京都府	同二中	同三中	桃山中	平安中	立命館中	京都一商			
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
大阪府	北野中	天王寺中	豐中中	住吉中	堺中	今宮中	市宮中	上宮中	高津中	生野中	鳳中	和歌山縣	和歌山中	田邊中	伊都中	海草中	和歌山商	郡山中	畝傍中	奈良中	三重縣			
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
宇治山田中	津名中	桑名中	兵庫縣	神戶一中	同二中	同三中	關西學院中	瀨陽中	甲陽中	瀧川中	明石中	姫路中	龍野中	三田中	加古川中	鳳鳴中	小野中	豊岡中	柏原中	岡山縣	岡山一中	同二中		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
高梁中	天城中	津山中	金光中	閑谷中	廣島縣	誠之館中	修道中	廣島一中	同二中	吳一中	世羅中	高師附屬中	山口縣	豊浦中	山口中	山口中	萩中	防府中	下關中	島根縣	大社中	松江中	鳥取縣	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

東京府	府立一中	同二中	同三中	同四中	同五中	同六中	同七中	同八中	同九中	市立一中	同二中	同三中	同四中	同五中	同六中	同七中	同八中	同九中	開成中	高師附屬中	曉星中	京華中	青山學院中	明治中	本郷中	正則中	早稻田中	立教中	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
成城	芝	明治學院中	獨協中	京北中	日白中	巢鴨中	中野中	攻玉社中	高輪中	海城中	都文館中	駒込中	高千穂中	日大二中	同三	世田谷中	日本中	聖學院中	玉川中	名教中	花原中								
六	六	五	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	
順天	府立一商	同三商	昭和一商	帝京商	東亞商	京華商	中央商	神奈川縣	橫濱一中	同二中	同三中	川崎中	湘南中	關東學院中	逗子開成中	鎌倉中	小田原中	淺野綜合中	千葉縣	千葉中	大多喜中	長生中							
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
匝瑳	栃木縣	宇都宮中	眞岡中	鳥山中	佐野中	足利中	大田原中	宇都宮商	茨城縣	水戸中	土浦中	太田中	茨城中	麻生中	鉾田中	下妻中	埼玉縣	浦和	熊谷中	粕壁中	群馬縣								
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
高崎	前橋	桐生	館林	福島縣	會津中	磐城	安積	喜多方	安達	白河	福島中	田村中	相馬中	宮城縣	仙臺一中	同二中	東北	東北學院中	舟田中	石卷中	佐沼中	岩手縣							
二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
盛岡	一ノ關	青森縣	青森中	弘前中	八戸中	秋田縣	秋田中	橫手	角館	能代	山形縣	鶴岡中	山形中	興讓館中	寒河江中	酒田中	長井中	新潟縣	新潟中	長岡中	新發田中								
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

關東商	京華商	京橋商	昭和一商	中央商	同三商	府立一商	麻布夜間中	中野中	本郷中	攻玉社中	早稻田中	京華中	集鴨中	明治中	立教中	開成中	高師附屬中	正則中	成城中			
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一		
高崎中	栃馬縣	水海道中	水戸中	茨城中	東葛飾中	千葉縣	不動岡中	大宮農商	川越中	熊谷中	浦和中	逗子開成中	湘南中	川崎中	橫須賀中	同二中	橫濱一中	神奈川縣	沼田中			
二	一	二	三	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	三	一	二	一	一	一		
見付中	葦山中	濱松一中	靜岡中	大館中	山形縣	一ノ關中	盛岡中	石卷商	仙臺商	仙臺一中	宮城縣	安積中	磐城中	會津中	福島中	沼田中	福島縣	德島中	愛媛縣	松山中		
二	一	一	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
立命館中	京都府	神戶中	三重縣	村上新發田中	長岡中	新潟縣	小諸商	上野縣	大垣中	長野縣	都留中	日川中	山梨縣	惟信中	中京商	明倫中	熱田中	野付中	北海中	臺北中		
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	
岡山中	灘中	小野中	生野中	洲本中	姫路中	兵庫縣	海南中	和歌山縣	扇町商	東商	天王寺商	高津中	富田林	住吉中	豐中	上宮中	天王寺中	大府	同志社豫科	伏見商	京都一商	
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
三池中	福岡縣	修猷館	大洲中	字和島中	今治中	高松一中	香川縣	濱田中	松江中	柳井中	德山中	廣島商	同二中	廣島一中	勝山中	津山中	岡山中	奉天中	遼陽高級中	潘陽文會中	中華民國	
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一

佐賀商	佐賀師範	唐津中	鹿島中	佐賀中	佐賀縣	豐津中	門司中	傳習館	田川中	三池中	若松中	嘉善校中	明善中	浮羽中	鞍手中	福岡中	修猷館	小倉中	福岡縣	倉吉中	鳥取中	米子中	
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
德島縣	鹿兒島商	川邊中	同二中	鹿兒島一中	鹿兒島縣	天草中	大津中	九州學院中	熊本中	熊本縣	大分中	宇佐中	中津中	宮崎中	宮崎縣	瓊浦中	海星中	對島中	島原中	長崎中	長崎縣		
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	
函館中	室蘭中	旭川中	釧路中	同二中	札幌一中	小樽中	北海道	高松商	高松市立一中	丸龜中	高松中	香川縣	海南中	城東中	高知縣	吉田中	今治中	北豫中	三島中	松山中	德島中	愛媛縣	
二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
同四中	同三中	府立二中	東京府	龍山中	平壤中	光州中	大邱中	京城中	朝鮮	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	嘉善中	
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	
同二中	市立一中	同九中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	同六中	
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	
麻布中	青山學院中	芝輪中	高輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	芝輪中	
二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	

佐賀縣	本普通部	九
佐賀中	同 商工	一〇
武雄中	同 商業	六
大分縣	同 大學豫科	二
大分中	計	二七
中津中	總計	二〇
宮崎縣		
都城中		
鹿兒島縣		
鹿兒中		
北海道		
室蘭中		
朝鮮		
京城一高普		
龍山中		
平壤中		
大邱中		
京畿商		
滿洲		
滿洲醫大豫		
中華民國		
青島日本中		
計		一八三

慶應義塾入學志願者の

心得と入學の手續

慶應義塾各部入學志願者の心得と入學手續を左に掲げて置く、何れも昭和十年度の大學豫科及高等部の志願者心得と入學手續であるが昭和十年度の分も之と大差あるまいがこの注意書は毎年一月に大概出来るから塾監局から受取つて一讀するを要するものであらう。尙普通部商工學校等の志願者の心得は各々其の項に記載してある。

昭和十年度慶應義塾大學豫科第一學年

入學志願者心得

本大學ハ時代ノ趨勢ニ伴ヒテ學事内容ノ充實ヲ計リ傳統の學風ノ使命ヲ全カラシメンガタメ大ニ其ノ施設ノ擴張整備ニ著手シ先ヅ大學豫科ヲ郊外日吉臺ノ新敷地ニ移轉シ此處ニ完備セル校舍並ニ寄宿舎ヲ設ケ運動設備ヲ整ヘ都廣ヲ離レタル至良ノ環境ノ裡ニ新學則ニ基キ本大學獨自ノ特色ヲ維持スルノミナラズ教授訓育上一層ノ效果ヲ學ゲンコトヲ期スルモノニシテ第一校舍既ニ成リ第二校舍ノ著工近キニアリ現ニ昨年四月入學ノ豫科學生ヨリ之ニ收容シテ授業ヲ開始セリ

醫學部豫科ハ差當リ三田ニ置キ日吉第二校舍落成次第之ニ移轉スル管ナリ

(日吉臺新校舍ハ東京濱濱電鐵、神奈川縣橋樹郡日吉驛東側隣接、東京澁谷驛又ハ) 目黒驛ヨリ電車時約二十分ノ地點ニ在リ

一、募集人員

文學部豫科、約 八十名
經濟學部豫科、約 五百六十名
法學部豫科、約 三百二十名
醫學部豫科、約 百二十名
(本塾普通部及商工學校ヨリノ入學者ヲ含ム)

二、入學資格

中學校第四學年修了者、高等學校尋常科修了者、高等學校高等科入學資格試驗合格者
文部大臣ニ於テ高等學校入學ニ關シ中學校第四學年修了者ト同等以上ト指定シタル者、專門學校入學者檢定試験合格者、文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ト指定シタル者
(醫學部豫科志願者ハ大正二年四月以後出生ノ者ニ限ル)

一、體格検査

期 間 自三月二十二日(火)至同十五日(金) (毎日午後一時ヨリ) 自三月二十二日(金)至同二十四日(日) (リ三時マデ受付)
場 所 慶應義塾大學病院 (四谷區西信濃町)

○體格検査當日ハ眼鏡使用者ハ正確ナル眼鏡裝用ノコト
○醫學部志願者ハ成ルベク三月十四日又ハ同二十三日ニ受檢セラレタシ
○醫學部志願者ニ限リ精密ナル色神検査ヲナシ色神異狀者ハ不合格トス

一、學科試験

期 間 醫學部豫科三月二十五日(月)二十六日(午前八時半ヨリ) 文學部豫科三月二十六日(月)二十七日(午後二時半マデ)

科 目	備 考
醫學部	物理、化學、數學、代數、幾何
醫學部	英語又ハ獨語(英、獨、文和譯)、漢文及日本作文
文學部	英語(英、文和譯)、數學(代數、幾何、漢文及日本作文)
文學部	但商業學校出身者ノ數學ハ代數(二次方)及商業算術トス
文學部	文學部豫科志願者ニ限リ國史ニ代フ
文學部	文學部豫科(佛、西文學科)志願者ニ限リ英語ノ代リニ獨語又ハ佛語受檢ヲ許ス

○右學科試験成績(但シ漢文及日本作文成績ヲ除ク)ニ依リ口頭試問ヲ受クベキ資格者ヲ選拔ス

○口頭試問ヲ受クベキ資格者ノ受験番號及口頭試問ノ順序ハ左記ノ日時ニ芝區三田本塾揭示場ニ揭示ス

醫學部豫科	三月二十九日(金)正午
文・經・法學部豫科	三月三十一日(日)正午
醫學部豫科	三月二十九日午後一時ヨリ三十日迄
文・經・法學部豫科	三月三十一日午後一時ヨリ四月二日迄

○漢文及日本文ノ成績並ニ口頭試問ノ結果ニ依リ合格者ヲ定ム
○合格者ノ受験番號ハ左記ノ日時ニ芝區三田本塾揭示場ニ揭示ス

醫學部豫科	四月一日午後四時
文・經・法學部豫科	四月五日午後四時

一、學科試驗場
口頭試問場 學科試驗場及口頭試問場ハ芝區三田本塾内トス

二、申込期間 一月十一日ヨリ三月二日迄 (郵便ニ依ラザル申込ハ日曜祭日ヲ除キ毎日午前八時ヨリ午後四時(土曜ハ二時)迄トス)

○志願者手續要項

一、入學志願者ハ左ノ書類及受験料金五圓(體格検査料ヲ含まズ)ヲ所定ノ期間内ニ芝區三田本塾大學豫科入學申込受

付所ニ提出シ入學申込受理證ヲ受クベシ
(郵送ヲ受ケントスル者ハ受クベキ場所ヲ明記シ郵送書留料金拾參錢添付ノコト)

(1) 入學志願書(用紙ハ本大學ヨリ交付ノモノニ限ル)

(2) 修了、卒業又ハ檢定合格其ノ證明書若クハ修了・卒業見込書
(見込書提出者ハ修了又ハ卒業確定ノ上更ニ其ノ證明書ヲ提出スベシ)

(3) 學校長ヨリ總長ニ送付書類
第四學年修了者ニ在リテハ三・四ノ二學年間、卒業者ニ於テハ三・四・五ノ三學年間、見込書提出者

ニ在リテハ提出當時決定セル學期迄ノ各二學年間又ハ三學年間ノ學業成績證明書並性行及身體ノ狀況ニ關スル調査書、檢定合格者其ノ他ニ在リテハ合格成績證明書

一、入學申込受理證ノ交付ヲ受ケタル者ハ所定ノ期間内ニ體格検査ヲ受クベシ
受験者ハ體格検査料金壹圓ノ外最近寫眞(手札形半身、正面脫)及入學申込受理證ヲ持參スベシ

體格検査書ノ副本ヲモ受ケントスル者ハ副本一通ニ付手数料金貳拾錢ヲ納ム
體格検査ヲ受ケタルトキハ三月二十五日(醫學部志願者)午後三時迄ニ體格検査書寫眞及入學申込受理證

一、體格検査ヲ受ケタルトキハ三月二十五日(醫學部志願者)午後三時迄ニ體格検査書寫眞及入學申込受理證
(何レモ愛媛義塾大學病院)ヲ前記入學申込受付所ニ差出シ受験證ノ交付ヲ受クベシ
右受験證ノ交付ヲ受ケザル者ハ受験資格ナキ者トス

◎注 意

(1) 入學志願書ニハ志望學部及學科名ヲ記載シ且ツ入學後履修スベキ第二外國語(英語又ハ佛語)ヲ撰

擇記入スベシ

第二ノ志望學部名及學科名ヲ記入スルコトヲ得(醫學部豫科志願者モ第二ノ志望學部ヲ記入スルコトヲ得) 法學部豫科志願者ハ法律學科政治學科ヲ區別スベシ

- (2) 入學志願者ノ氏名ニハふりがなヲ附スベシ
- (3) 體格検査ノ際寫眞及入學申込受理證ナキモノハ受付ザルニ付注意スベシ
- (4) 無試験入學制度ナシ
- (5) 一旦納入シタル受験料ハ一切返却セザルモノトス
- (6) 郵送ニ依ル入學申込ノ場合ハ封書ノ上ニ大學豫科入學志願書ト必ズ明記スルコト

東京市芝區三田

慶應義塾大學

昭和十年度慶應義塾高等部第一學年 入學志願者心得

慶應義塾高等部ハ專門學校令ニ據リ社會生活ニ必要ナル一般高等ノ知識ト教養トヲ得シムルヲ目的トシ主

トシテ哲學法學及經濟學ニ關スル諸學科ヲ授ケ特ニ人格ノ陶冶及常識ノ涵養ニカムルモノトス

本高等部ノ特色トスルところハ或一學科ノ研修ニ偏スルコトヲ避ケ廣キ基礎ニ於テ適切ナル高等教育ヲ施シ重キヲ人格ノ陶冶及常識ノ涵養ニ置キ修業年限ニ於テハ大學ヨリ短キモ實際社會ニ活動スルニ於テハ多ク讓ル所ナキ有爲高尚ナル人物ヲ養成セントスルニ在リ右ノ趣旨ニ依リ高等部獨自ノ特色ヲ維持スルタメ本塾大學トハ全ク連絡ナキコトヲ入學志願者ニ於テ豫メ了知スルヲ要ス

一、募集人員 約二百十名(本塾普通部及商工學校卒業生ヲ含ム)

一、入學資格 中學校卒業者、商業學校(甲種)卒業者、文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ト指定シタル者、專門學校入學者檢定試験合格者、但入學志願者ハ大正三年三月二日以後ノ出生タルコトヲ要ス

一、體格検査 期 間 自三月十二日(火)至同十五日(金) (毎日午後一時ヨリ至同二十四日(日) 三時迄受付) 場 所 慶應義塾大學病院 (四谷區西信濃町)

○注意 眼鏡使用者ハ當日ハ正確ナル眼鏡ヲ裝用スルコト

一、筆記試験

科目	期 日	時間
國漢文、日本作文、英文和譯、和文英譯、數學(代數)	三月二十八日(木)	午前八時半ヨリ午後二時半迄
國漢文、日本作文、英文和譯、和文英譯、數學(代數)	三月二十九日(金)	午前八時半ヨリ正午迄

但商業學校出身者ノ數學ハ代數(二次方程式迄)及商業算術トス

- 一、口頭試問 期日 三月二十九日午後一時ヨリ三十一日正午迄
- 一、申込期間 一月十一日ヨリ三月二日迄(郵更ニ依ラザル申込ハ日曜祭日ヲ除キ毎日午前八時ヨリ午後四時土曜ハ二時迄トス)

○志願者手續要項左ノ如シ

- 一、入學志願者ハ左ノ書類及受験料金五圓(體格検査料ヲ含マズ)ヲ所定ノ期間内ニ芝區三田本塾高等部入學申込受付所ニ提出シ入學申込受理證ヲ受クベシ
 - (1) 入學志願書(用紙ハ本塾ヨリ交付ノモノニ限ル)
 - (2) 卒業又ハ檢定合格成績證明書若クハ卒業見込書(見込書提出者ハ卒業確定ノ上更ニ成績證明書ヲ提出スベシ)
 - (3) 學校長ヨリ塾長ニ送附書類
 - 卒業者ニ在リテハ三・四・五ノ三學年間、見込書提出者ニ在リテハ提出當時決定セル學期迄ノ三學年間ノ學業成績證明書並性行及體格ノ狀況ニ關スル調査書
 - (4) 戶籍謄本(最近ノモノ)
- 一、入學申込受理證ノ交付ヲ受ケタル者ハ所定ノ期間内ニ體格検査ヲ受クベシ
 - 受験者ハ體格検査料金壹圓、最近ノ寫眞(手札形、身、正面脱)及入學申込受理證ヲ持參スベシ
 - 體格検査書ノ副本ヲモ受ケントスル者ハ副本一通ニ付手数料金二十錢ヲ納ムベシ

- 一、體格検査ヲ受ケタルトキハ三月二十五日午後二時ニ迄體格検査書(正本文又寫眞及入學申込受理證)何レ應義塾大學病院ノ體格検査證明アルモノヲ前記ノ入學申込受付所ニ差出シ受験證ノ交付ヲ受クベシ
- 右受験證ノ交付ヲ受ケザル者ハ受験資格ナキモノトス

◎注意

- 入學志願者ノ氏名ニハふりがなヲ附スベシ
- 體格検査ノ際寫眞及入學申込受理證ナキモノハ受付ザルニ付注意スベシ
- 無試験入學制度ナシ
- 一旦納入シタル受験料ハ一切返却セザルモノトス
- 郵送ニ依ル入學申込ノ場合ハ封書ノ上ニ高等部入學志願書ト必ズ明記スルコト

東京市芝區三田

慶應義塾大學

皇學館大學

東京市芝区三田

◎ 附 録

（以下は非常に薄い文字で印刷された、ほとんど不可読な文字列が並んでいる）

第三篇 普通部幼稚舎 入學案内
商工學校

（以下は非常に薄い文字で印刷された、ほとんど不可読な文字列が並んでいる）

普通部入學案内

普通部の特色

大學部の各部分は近年益々入學難を加へて來たので遠大計畫をたて、普通部に先づ這入り比較的容易に大學部に進まふとする考の人が著しく増加して來た、又從來普通部は金がかゝると考へ違ひをして居つた人々も漸く其の内容がわかつて來たので智育德育を併行して而かも子弟に餘計の苦勞をさせないで大學部に進ませる事が出来るといふ特色ある普通部が其門に志願者の殺到するのも當然な次第であらう。普通部には義塾幼稚舎卒業生は無試験で收容する事になつて居るが其の數毎年百名位である。

其の他に一般に募集する人員は毎年百名位で志望者は五倍乃至六倍に上る。

普通部の内容は義塾本來の精神たる智育の完全なる發達に力を入れる事は申すまで

もないが尙其の教育法の特色とするのは詰込主義や壓迫方法をさけて將來の大人物を社會に送る可く頗るフリーな而かも放縱に流れざる教育法をとつて居る事である。

尙御承知の通り普通部四年修了者は無試験で義塾大學部各部豫科に入學出来る但し醫科に限り成績優良でないは無試験といふわけに行かぬ。

又普通部五年卒業者は義塾高等部一年に無試験で入學出来る。

普通部入學の秘訣

五倍六倍の競争者に打勝つて此の普通部に首尾よく入學の榮冠を得んとするにはどんな方法をとつたらよいであらうか、勿論試験が課せらるゝのであるから入學考査に好い成績を得るといふ事は第一條件であるが普通部では小學校の卒業成績を重視して居るので入學考査の成績と小學卒業の成績との二つを見た上で入學許可を決定して居る故に入學考査に運悪く出来なくつてもさして悲觀したものであるまいし

又出来たからと云つて小學校時代が非常な不成績なら安心は出来ない事であらう。何れにしても可成り常識を重んずる様な問題が出るから十分心を落附けて考査を受ければ大抵間違ひはないと考へる。

普通部規則摘要

學科課程 (昭和七年二月改正 昭和七年四月ヨリ實施)

學科	學年		修身科	公民科	國語、漢文	歴史	地理	英語	數學
	第一學年	第二學年							
第一學年	第一學年	第二學年	第一學年	第一學年	第一學年	第一學年	第一學年	第一學年	第一學年
第二學年	第二學年	第三學年	第二學年	第二學年	第二學年	第二學年	第二學年	第二學年	第二學年
第三學年	第三學年	第四學年	第三學年	第三學年	第三學年	第三學年	第三學年	第三學年	第三學年
第四學年	第四學年	第五學年	第四學年	第四學年	第四學年	第四學年	第四學年	第四學年	第四學年
第五學年	第五學年		第五學年	第五學年	第五學年	第五學年	第五學年	第五學年	第五學年

學科	學年		修身科	公民科	國語、漢文	歴史	地理	英語	數學
	第一學年	第二學年							
第一學年	第一學年	第二學年	第一學年	第一學年	第一學年	第一學年	第一學年	第一學年	第一學年
第二學年	第二學年	第三學年	第二學年	第二學年	第二學年	第二學年	第二學年	第二學年	第二學年
第三學年	第三學年	第四學年	第三學年	第三學年	第三學年	第三學年	第三學年	第三學年	第三學年
第四學年	第四學年	第五學年	第四學年	第四學年	第四學年	第四學年	第四學年	第四學年	第四學年
第五學年	第五學年		第五學年	第五學年	第五學年	第五學年	第五學年	第五學年	第五學年

學年、學期及休日

- 備考 音樂ハ第四學年以上當分缺クコトアルヘシ場合ニハ圖畫ト選擇セシムルモノトス
- 一、學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
 - 一、學年ヲ分チテ三學期トス第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル
 - 一、休業日ハ左ノ如シ

- 一 日曜日 祝日 大祭日
- 一 福澤先生記念日 一月十日
- 一 開校記念日 四月二十三日

- 一 春期休業 四月一日ヨリ同月十日ニ至ル
- 一 夏季休業 七月二十一日ヨリ九月十日ニ至ル
- 一 冬季休業 十二月十五日ヨリ一月七日ニ至ル

入學期及手續

- 一、入學ハ學年ノ始メ一回トス 但缺員アルトキハ第二學期ノ始メニ於テ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ
- 一、第一學年ニ入學シ得ル者ハ尋常小學校ノ課程ヲ卒ヘ入學考查ニ合格シタル者
- 一、第二學年以上ハ缺員アル場合ニ限り相等年齢ニ達シ前學年(又ハ前學期)修了ト同程度ニ於テ行フ編入試験ニ合格シタル者ニツキ入學ヲ許可セス
- 但第三學期及第五學年ハ入學を許可セス
- 一、入學志願者ハ入學願書(用紙ハ本塾ヨリ交付ス)考查科(入學手数料)及最近撮影セル半身札形寫眞ヲ差出スヘシ
- 一、入學ノ許可ヲ受ケタル者ハ在學證書(入學願書ニ添付シアリ)ヲ差出シ且ツ規定ノ入學金五圓ヲ納ムヘシ 但再入學ノ者商工學校又ハ幼稚園ニ在學セシ者ハ入學金ヲ納ムルニ及ハス
- 一、保證人ハ父兄若クハ近親者タルヘシ
- 但遠隔若クハ交通不便ノ地ニ住スル者ハ別ニ東京近傍ニテ一家計ヲ立ツル丁年以上ノ戸主ニシテ本塾ノ通知ニ接シ直ニ登校シ得ヘキ代人ヲ設ケ置クヘシ

入 費

- 一、第一學年入學考查料ヲ金貳圓トス
- 一、第二學年以上ハ入學手数料ヲ金參圓トス
- 一、入學金ヲ五圓トス
- 一、一學年ノ授業料ヲ金八拾五圓トシ之ヲ三期ニ分チ每學期ノ始メニ前納セシム
 - 第一學期 金貳拾八圓五拾錢
 - 第二學期 金貳拾八圓五拾錢
 - 第三學期 金貳拾八圓
- 一、一旦納入シタル學費ハ事由ノ如何ヲ問ハス一切返却セス

寄 宿 舍

- 一、本塾寄宿舎ニハ合監數名ヲ置キ寄宿生ヲ監督セシム入舎希望者ハ合監ノ許可ヲ受ケ引請書(用紙ハ寄宿舎ニテ交付ス)ヲ差出シ一ヶ月分食料金貳拾四圓、一學期分舎費金參拾貳圓(第三學期ハ金貳拾四圓)及食器料金參圓(入舎ノ際ニ限ル)ヲ會計部ニ納入スヘシ
- 一、食料、舎費、等ハ物價ノ高低ニ依リ増減スルコトアルヘシ

慶應義塾普通部入學志願者心得 (昭和十年度)

一、來ル四月新學年ヨリ左表ノ通り入學セシム

學年	人員	資格
第一學年	約一百三十名	尋常小學校卒業者

一、入學志題書受付

二月一日(金曜)より三月五日(火曜)午後二時迄(用紙ハ貳錢郵券ヲ送付セバ本塾ヨリ交付ス)
但土曜及最終日ノ三月五日ハ午後二時迄トシ他ハ日曜祭日ヲ除キ午後三時迄トス

一、提出書類

- (イ) 志願書ノ外ニ提出スベキ書類ハ左ノ如シ
- (イ) 學業成績身體人物家庭ニ關スル小學校長ノ報告書(用紙ハ本塾ヨリ交付セルモノニ限ル)
- (ロ) 志願兒童所屬學級最終學年ノ成績一覽表
- (ハ) 但シ右ノ報告書並ニ成績一覽表ハ嚴封ノ上直接小學校長ヨリ本塾普通部宛三月五日(火曜)午後

二時迄ニ提出セラルルコトヲ要ス

(ハ) 最近撮影セル本人ノ脱帽半身手札形寫紙臺紙ナキモノヲ志願書ト同時ニ提出スルコト

一、入學考查料

志願書ノ提出ト同時ニ入學考查料金貳圓納入ノコト

一、入學考查手續

- (イ) 第一次考查 三月十六日土曜午前八時ヨリ平易ナル筆記試問ヲ行ヒ小學校長ノ報告書類ヲ參酌シテ第一次ノ考查ヲナシ第二次考查ヲ受クベキ資格者ヲ選拔ス
- (ロ) 第二次考查 右資格者ニ限リ三月十九日(火曜)午前八時揭示場ニ其ノ氏名ヲ發表シ同日午前九時ヨリ作文、口頭試問及身體検査ノ上入學ヲ許可スベキ者ヲ決定ス

一、携帶品

第一、第二次トモ考查ノ際ハ鉛筆又ハ萬年筆携帶ノコト
第二次考查ハ午後二時ヨリアルベキニヨリ辨當持參ノコト、但構内ニ「パン」賣店アリ

一、入學者氏名發表

- 入學ヲ許可スベキ者ノ氏名ハ三月二十一日(木曜)午前八時揭示場ニ發表ス
- 一、入學ノ許可ヲ受クベキ者ハ至急入學手續ヲ完了スベシ若シ然ラザル者ハ除名セラルルコトアルベシ
- 一、尙不明ノ點アラバ教務係ニ問合セラレタシ

●注意 小學校ニ對シ當該學校長ノ報告書並ニ成績一覽表ヲ請求スル際ハ、別紙本塾ヨリ交付セル小學校長宛ノ依頼書ニ志願者ノ氏名其他ヲ記入シ、報告書用紙ト俱ニ之ヲ小學校ニ差出シ、必ず所定期日迄ニ直接當該學校長ヨリ本塾普通部宛書留郵便ニテ送達セラルル様手續アリタシ。

○補缺募集 第二學年、第三學年 若干名(詳細ハ補缺入學志願者心得書ヲ参照セラレタシ)
昭和十年一月

東京市芝區三田綱町二番地

慶應義塾普通部

(電話三田(45)六〇九番)

一、入學資格
一、入學時期
一、入學場所
一、入學費用
一、入學手續
一、入學試験
一、入學後ノ注意

慶應義塾商工學校學則

第一節 目的、修業年限、學年 學期、休日又學科課程

第一條 本校ハ實業學校令及商業學校規程ニ依リ商業上必須ノ諸學科ヲ教ヘ其ノ應用ヲ授クルト共ニ理科並ニ工業ニ關スル一般ノ知識ヲ與ヘ常識ヲ尙ヒ品性ヲ陶冶シ獨立自治ノ氣風ヲ涵養シ専ラ商工界ノ實務ニ適應スヘキ人物ヲ養成セン事ヲ期ス

第二條 修業年限ハ五箇年トス

第三條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第四條 學年ヲ分チテ三學期トス第一期ハ四月一日ヨリ八月三十日ニ至リ第二期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三期ハ一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第五條 休業日ハ左ノ如シ

- 一 日曜日 祝日 大祭日
- 一 福澤先生記念日 一月十日
- 一 開校記念日 四月二十三日
- 一 春季休業 四月一日ヨリ同月十日ニ至ル

第六條 學科課程左ノ如シ

一 夏季 休業 七月二十一日ヨリ九月十日ニ至ル

一 冬季 休業 十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル

學科目	學年		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
	授業時數	每週					
修身	一	道徳大意	一	同上	同上	二 公民心得	一
公民科							同上
國語	四	讀方、作文、習字	五	四	三	二	二
漢文	二	讀方	二	二	一	一	一
英語	八	讀方、譯解、書取	八	七	七	七	七
數學	五	算術、代數	五	六	五	三	三
地理	二	日本地理	二	一	一		
歷史	二	日本歷史	二	一	一		
理科	二	植物、物理	二	二	三		
圖書	二	自由、器畫	一	二	三		

簿記	商事要項	實踐	商工經濟	實業法規	商產品	工業大意	唱歌	體操	計	商業簿記		銀行簿記		英文會計學大意	
										三 各通論	二 各論	一 會務	一 外國商業		
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	二	二	二	二	二	二
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

第七條 入學ハ學年ノ始メ一回トス

第二節 入學及退學

(備考) タイプライティングハ課外ニ於テ隨意練習セシムルモノトス

但缺員アルトキハ第二學期ノ始メニ於テ臨時入學ヲ許スルコトアル可ヘシ

第八條 第一學年ニ入學シ得ル者ハ尋常小學校ノ課程ヲ卒ヘ本校ノ入學考査ニ合格シタルモノトス

第九條 本塾幼稚舎ノ卒業生ハ第一學期ニ限り無考査ニテ第一學年ニ入學セシム

第十條 第二學年以上ハ缺員アル場合ニ限り相當年齢ニ達シ前學年修了ト同程度ニ於テ行フ編入試験ニ合格シタル者ニツキ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

但第三學期及第五學年ハ入學ヲ許可セス

第十一條 一旦退學シタル者同一學年内ニ再ヒ入學ヲ願出タルトキハ銓議ノ上原學年又ハ以下ノ學年ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十二條 入學志願者ハ左ノ書類ニ手数料ヲ加ヘテ指定ノ期日内ニ差出スヘシ(用紙ハ總テ事務所ヨリ交付ス)

一、入學願書

二、學業成績並性行證明書及身體檢查書

三、在學證書

第十三條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ規定ノ入學金ヲ納ムヘシ

但再入學ノ者及普通部又ハ幼稚舎ニ在學セシモノハ入學金ヲ納ムルニ及ハス

第十四條 保證人ハ父兄若ハ近親タルヘシ

但遠隔若ハ交通不便ノ地ニ住スル者ハ別ニ東京市内又ハ其ノ近傍ニテ一家計ヲ立ツル丁年以上ノ戶主ニシテ

本塾ノ通知ニ接シ直ニ登校シ得ヘキ代人ヲ設ケ置クヘシ

第十五條 保證人姓名ヲ改メ又ハ轉居シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ届出テ死亡其ノ他ノ事由ニヨリ保證人ヲ改メ

タキルトハ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第十六條 一旦退學シタル者再ヒ入學ノ許可ヲ得タルトキハ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第十七條 缺席者ハ保證人連署ニテ届出ツヘシ尙病氣ニ因ル缺席五日以上ニ亙ル場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添フルヲ要ス

第十八條 左ノ各項ノ一ニ該當スル者ハ除名ス

一、正當ノ事由ナクシテ一箇月以上引續キ缺席シタル者

二、引續キ一箇年以上缺席シタル者

第十九條 退學セントスルモノハ保證人連署ニ届出ツヘシ

第二十條 左ノ各項ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

一、操行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

第三節 試験、進級及卒業

第二十一條 各學科目ノ日課成績ニ依リテ其ノ平常點ヲ定ム

第二十二條 日課ニ缺席シ又ハ休學シタル者ハ事故ノ如何ヲ問ハス缺課ノ度数ニ應シテ平常點ヲ減スルモノトス

第二十三條 疾病ノタメニ二週間以上體操科ニ缺席シタル者ハ届出ノアリタル場合ニ限り其ノ學期間ノ出席度数

ヲ参照シテ其ノ體操科平常點ヲ定ム

第二十四條 各學期末ニ其ノ學期間ニ履修セル學科目ノ試験ヲナス

第二十五條 各學科目ノ平常點及期末試験評點ヲ平均シテ其ノ學期點ヲ定ム

慶應義塾商工學校入學案内

商工學校の特色

中學程度の實業學校も市中に少なくないが我が義塾商工學校の如きは出色のものであつて此種實業學校中設備の完全なものの一つである。

元來實業學校といふものは直接に必要な簿記や算盤にのみ力を入れるのが通常の事の様になつて居るが商工學校の特色は商業に必要な工業智識を授ける事と卒業して實用的な人物を養成するの二つであらう。

故に商工業者の子弟で本校を卒業しただけで社會に活動して居る者も少なくない。又會社方面に就職しては所謂重寶な人物間に合ふ人として活躍して居る卒業者の數も仲々多い。

又本校を卒業して大學部に進む時は各學部豫科（醫科を除く）第一學年に無試験で入學出来る特典があるので大學部に進む階梯として商工學校を選ぶ人もある。要するに商工學校は卒業してすぐ役に立つし又大學部の入學の爲の階梯にもなるし頗る便利な、又特色ある義塾の一デパートである。

商工學校入學の秘訣

商工學校の志望者は收容人員の三四倍で大して骨も折れぬ競争試験であるが身體強健で普通の成績なら大抵入學出来る。

入學試験には後頁にある様な問題が出るのだから、大略こんな種類のもものが毎年出ると思へば間違ひないから其のつもりで準備をして置けば間違ひない。

商工學校規則摘要

總 則

- 一、本校ハ商業上必須ノ諸學科ヲ教ヘ其應用ヲ授クルト共ニ理科並ニ工業ニ關スル一般ノ智識ヲ與ヘ常識ヲ尙ビ品性ヲ陶冶シ獨立自治ノ氣風ヲ涵養シ専ラ商工界ノ實務ニ適應スヘキ人物ヲ養成セン事ヲ期ス
- 一、本校ノ修學年限ハ五ケ年トス。

- 一、卒業生ハ慶應義塾大學及高等部ニ無試験入學ノ特典ヲ有スルモノトス

入學及退學

- 一、入學ハ學年ノ始メ一回トス。

但缺員アル場合ニ於テハ第二學期ノ始メニ於テ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

- 一、第一學年ニ入學スルヲ得ル者ハ尋常小學校ノ課程ヲ卒業シタル者ニシテ入學試験ニ合格シタル者トス

- 一、入學試験ハ左ノ科目ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ

國語 作文 算術 應答試問

- 一、應答試問ノ際身體検査ヲ行フモノトス

- 一、入學志願者ハ入學願書履歷書及操行證明書(用紙ハ本校ヨリ交付ス)ヲ添ヘ本校ニ差出シ受験證票ヲ受取ル可シ

- 一、入學志願者ハ入學願書ト共ニ受験料金貳圓ヲ納付ス可シ

- 一、一旦納付シタル受験料ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返付セス

- 一、入學ノ許可ヲ得タル者ハ本校所定ノ在學證書ヲ差出ス可シ

- 一、一旦退學シタル者ニシテ一ケ年以内ニ再入學ヲ願出タルトキハ銓議ノ上原學年又ハ以下ノ學年ニ入學ヲ許可スル事アル可シ

- 一、缺席者ハ保證人ノ證明ヲ添ヘ届出ツヘシ若シ正當ノ事由ナクシテ一箇月以上引續キ缺席シタル者ハ除名ス

- 一、但一學期以上引續キ缺席スルトキハ事故ノ如何ニ拘ラス除名ス

一、疾病其他止ムヲ得サル事由ニ依リ退學セントスル者ハ保證人連署ノ上願出ツ可シ

一、左ノ事項ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ズ

一、出席常ナラザル者

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

一、學力劣等ニシテ成績ノ見込ナシト認メタル者

成績 考 査

一、學業ノ成績ハ凡テ點數又ハ評語ヲ以テ之ヲ表記ス

一、各學科ノ日課成績ニ據テ其平常評點ヲ定メ一百點ヲ以テ滿點トス

一、各學期末ニ其學期間ニ履修セル學科ノ試験ヲナス

期末試験ノ評點ハ一百點ヲ滿點トス

一、各學科ノ平常評點及期末試験ヲ平均シテ其學期評點ヲ定ム

一、各學科ノ各學期評點ヲ平均シ其學年評點ヲ定ム

一、各學科學年評點ノ四割以上ニシテ全學科ノ平均評點合計ノ六割以上ナルモノヲ及第トス

但四割以下ノ科目アルトキハ落第トス

一、學業成績ハ各學期末及學年末ニ於テ本校ヨリ保證人ニ報告スルモノトス

學 費

一、入學金ヲ金五圓トス

但再入學ノ者及普通部又ハ幼稚舎ニ在學セシモノハ入學金ヲ納ムルニ及ハス

一、一學年ノ授業料ヲ金八拾五圓體育會費金五圓計金九拾圓ヲ三期ニ分チ第一學期金參拾圓第二學期金參拾圓第三學期金參拾圓トシ每學期ノ始メニ前納セシム

一、學期ノ中途ニ於テ休學又退學スルコトアルモ授業料及體育會費ハ一切返却セサルモノトス

附 則

寄 宿 舍

- 一、本塾ニハ下澁谷天現寺附近ニ設備完全セル寄宿舎アリ
商工學校及普通部ノ生徒ハ父兄又ハ親戚知人等ノ家ヨリ通學スル者ノ外總テ寄宿舎ニ入ラシムルモノトス
- 一、寄宿舎ニハ舎監數名アリ舎生ヲ指導シ獨立自尊ノ主義ニヨリ氣品ノ涵養ト心身ノ健全ナル發達ヲ計ル所トス
- 一、寄宿舎費用舎費一ヶ月金六圓食料一ヶ月金貳拾四圓トス但食料ハ物價ノ高低ニヨリ増減アルモノトス

慶應義塾商工學校入學志願者心得 (昭和十年度)

- 一、修 業 年 限 本校ノ修業年限ハ五ヶ年ニシテ卒業生ハ本塾大學豫科(經濟學部、法學部、文學部)及高等部ニ無試験入學ノ特典ヲ有スルモノトス
- 一、募 集 人 員 第一學年約二百五十名
- 一、入 學 資 格 尋常小學校卒業者

- 一、願 書 受 付 昭和十年二月四日(月曜)ヨリ同年三月十六日(土曜)迄トス

注意 平日ハ午前八時ヨリ午後三時迄土曜日ハ正午マデ取扱フ、日曜、祭日ハ除ク

- 一、提 出 書 類 入學志願者ハ左ノ書類ヲ提出セラレタシ

- 一、入學志願書 入學志願者ハ本校ヨリ交付スル入學志願書用紙ニ所定ノ事項ヲ記入スヘシ

- 一、寫 眞 單獨半身脱帽ニテ最近撮影シタルモノ但シ覆裝ナキ手札形裏紙附ニシテ表面餘

白ニ氏名及生年月日ヲ記ルスヲ要ス

- 一、入學志願兒童ニ關スル報告書

入學志願者ハ本校ヨリ交付スル同報告書用紙ヲ當該小學校長ニ提出シテ其ノ記載ヲ受ケ殿封シタルモノヲ入學志願書ト共ニ提出スルヲ要ス

- 一、入學志願兒童所屬學級全部ノ成績一覽表

同成績一覽表ハ嚴封ノ上直接小學校長ヨリ三月十六日(土曜)迄ニ提出セラル、コトヲ要ス但シ右一覽表ハ志願兒童ニ關スル報告書ト同時ニ提出スルコトヲ得

一、入學考査料

入學志願者ハ志願書ノ提出ト同時ニ金貳圓ヲ考査料トシテ納入シ入學志願者證ヲ受取ラレタシ

一、入學考査

第一次考査 三月二十日(水)午前八時ヨリ簡易ナル筆記試問ヲ行ヒ小學校長ノ報告書類ヲ參酌シテ第
一次ノ考査ヲナシ第二次考査ヲ受クベキ資格者ヲ選抜

第二次考査 右資格者ニ限リ三月二十二日午前八時掲示場ニ其ノ氏名ヲ發表シ同日午前九時ヨリ舉行
ス

口頭試問及體格檢査ヲ行ヒ入學ヲ許可スベキ者ヲ決定ス

一、入學者氏名發表

入學ヲ許可スヘキ者ノ氏名ハ三月二十三日午後三時本校掲示場ニ發表ス

一、受 驗 心 得

一、志願者ハ試験場ニ於テハ洋服又ハ袴ヲ着用シ靴又ハ草履ヲ穿ツベシ

二、第一次考査當日ハ「ペン」(若ハ萬年筆)、「インク」、「吸取紙(新シキ無地ノモノ)」、「黒鉛筆小刀」、「消ゴム」
畫食ヲ携行セラレタシ

昭和九年十二月

東京市芝區三田二丁目二番地

慶應義塾商工學校

(電話三田(45)二八三番)

慶應義塾幼稚舎入學案内

幼稚舎の特色

幼稚舎の設立は夙に明治七年福澤先生の旨を受けて和田義郎氏が別に一舎を設けて
年少者若干名を家庭的に教育したるに初まる、然るに其後入舎を希望する者日々に
多く翌々年即ち明治九年の頃三田山上の舊舎に移り規模を擴張して名を幼稚舎と稱
するに至つた。其後數次の改革を経て明治三十一年九月に至り現在の校舎の新築を
見るに至つた。

本幼稚舎は小學程度に依り幼年子弟の身心を健全に發達せしむるを以て目的となし
修業年限は六ケ年。卒業者は無試験にて普通部(中學程度)第一學年又は商工學校
豫科一學年に入學する事が出来る。

福澤先生が

「今日子供なる身の獨立自尊法は唯父母の教訓に従つて進退すべきのみ」の趣旨に
遵ひ子供としての紳士の體面を保ち將來の新日本を脊負ふべき第二國民に理想的教
育を施して英才俊毫の初期教育に着々効果をあげて居る元來義務教育六ヶ年は各市
町村立の小學校で殆ど無料に等しき學費で出来るにも拘はらず、幼稚舎の如きは比
較的高き月謝を要し遠路を通學せしむる要が何故あるかと考へて居る方もあらう。
然し乍ら幼稚舎通學の費用が普通小學校より多少餘計に要するは冗費でもなく富裕
階級に贅澤のイロハを教へる爲の教育費でもない。蓋し完全なる設備を設けて理想
的の教育を施し心身の發達を遺憾なからしめ將來の有識階級の根幹を養成するには
誠に安價の費用なのである。然るに世間で往々幼稚舎を全然贅澤を教へる小學校で
ある様に考へて居る向があるがそれは大いなる間違ひである、現に在舎生の全部が
決して富裕階級の子弟ではなく、學費亦思つたより少額でたりるのである、故に出

來る事なら中産階級の子弟はかゝる理想的の教育を施すべきであらう。且つ小學校
より中學の入學關門を突破して其上に又専門學校の入學試験をパスするといふ事は
將來益々競争激甚で仲々容易ではなくなつた。今日小學校より大學まで聯絡して居
る此の特色ある幼稚舎に子弟を入學せしめれば其後入學試験の煩ひはなく而かも理
想的に教育が出来るといふので、近年の入學志望者は頗る多く毎年募集人員の五六
倍に達して居るのも宜なる哉である。

幼稚舎入學の秘訣

前述の如く幼稚舎入學希望者は募集人員百二十名に對して五六百名に達するので止
むを得ず銓衡をした上で體格並びに知能の優秀なる者に入學を許可をすることにし
なければならぬ。體格銓衡は慶應病院の小兒科でするので、幼稚舎の方では知能の
検査をしてゐる。然らばどんな種類の知能検査をするかといふに其の問題は未公開

であるのみならず、毎年一様でなく、毎年新しく進歩するので確定的なことは言へぬが、受験された児童の夫々に尋ねて得た所を総合して見ると、要するに子供としての常識の發達、智力の發達程度を計るべき問題である。言ひ換へて見るならば受験する児童がその日迄に家庭の内外に於てどの位の知識を獲得したかを計り同時に児童との會話やその他の態度等からその児童の性格やら家庭の状況やら、その他種々の詳しい點の一端を調査するのである。従つて受験のためにわざわざ急ごしらへに子供に吹込んで「かう聞けばかく答へよ」とか言つて置いても無駄である。何故ならばいくら急ごしらへにこしらへ上ても、子供は正直で、他所行きの顔は試験場へ入るとすぐと元の自然な姿にかへつてしまひ、正直な自己を示さうである。であるからどうしても入學期に達する迄の年月の間に家庭の人々が常に協力して、折にふれて子供としての智育德育をして置いてやらなければならない。日常彼等児童の眼にうつる兩親をはじめ年長者の行爲はすべて児童にとつての手本であるので、年

長者が不知不識の間に與へることが如何に大きな影響を彼等児童に與へるかをよく注意して置かねばならない。即ち家庭生活の善良といふことが大なる問題となるのである。しかし筆者のいふ家庭生活の善良といふことは金のかゝつた生活とか富裕とかいふ意味をいふのではなく、兩親が健全なる精神で眞面目な生活をして子弟の教育に常に注意してゐる家庭の謂である。親子の喰物が違つてゐたり、全然家庭では親子が食卓を一緒にしなかつたり、雇人女中に子弟の世話を委せ切りにして兩親は外出勝ちであつたり、子供達の質問をうるさがつたり、小供が遊び道具を散らかしたのを雇人に片付けさせたり、子供達の前で子供達より年長者の者（殊に雇人）を叱つたり「可愛い」「大切」で子供の言ひなりにしたり等することは家庭教育の精神を全く省りみない家庭生活である。かうしたデリケートな事がらから受けた精神上の影響は口頭試問の際に遺憾なく子供達の態度や口から洩れて家庭生活の惡を試験者に示すのである。まづたく子弟の教育は

生命懸の尊い仕事であり又難かしい仕事である。次に問題について述べてみるならば、兎に角も兒童の生活範圍内の問題のことであるから決して困難なものではない。例へば「人込みの中で伴れの兄さんとはぐれてしまつたら君はどうしますか」「君の家はどこですか」「君の年はいくつですか」「兄弟姉妹が何人ありますか」「お父さまは毎日何をなさつていらつしやいますか」等の質問から、毛糸數種をならべてその色を識別させたり、三角形や圓形や正方形等の名稱を尋ねたり又は畫かせたり。好きな動物や遊びごとを聞いたり、積木で何かを注文して作らせてみたり、筆と鉛筆或は電車と自動車の類似點や相似點を問ふたり、ハンカチや金槌や蠟燭等の各名稱や用途等といったやうな問題であるらしい。尙この外に簡単な時間の概念や少しこみいつた問題で子弟の判斷力を養成して置くことも必要な事のやうである。

以上述べた所から考へて見ると速成的に子供に吹込みやつめこみ教育をやることが

全く無駄であることが明瞭である。それで要は子弟が幼い時から兩親の正しい家庭生活の中に正しく順調に育て上げて貰へば、それで立派に入學の開門を無事に通過することが出来るものであると言へやう。

幼稚園に子弟を入學せしめんとする方々はどうか前述の如き點を大いに又廣く意を注がれて目的を達せられんことを祈つて止まないものである。

幼稚園規則摘要

- 一、當舎は小學程度により兒童の身心を健全に發達せしむるを以て目的とす
- 一、修業年限は六個年とす
- 一、學科課程は小學校令に準據す、但第四學年より英語を加設す
- 一、當舎を卒業したる者は第一學期に限り無試験にて本塾普通部(中學程度)又は本塾商工學校(甲種程度)第一學年に編入せらる。

入學、休學及退學

- 一、入學者は年齢滿六歳以上の男子に限る
- 一、一學年に入學志望者は一月五日より同二十日まで、に當舎事務所へ申込むべし
- 一、入學の許可は體格及智能詮衡の上決定す
- 一、第二學年以上に缺員あるときは臨時入學を許すことあるべし
- 一、入學の許可を得たる者は左の書式により在學證書を差出すべし

在學證書

何府縣市郡町村番地職業戸主又ハ誰何男弟

氏

名

何年何月何日生

右之者慶應義塾へ入學御許可相成候ニ付テハ御塾諸規則ヲ遵守セシムルハ勿論若シ本人ニ關シ事故アルトキハ何事ニ限ラズ拙者引受速ニ處理可致候也

東京(横濱)市區町番地職業

保證人

何

某印

年 月 日

慶應義塾長

- 一、退學の生徒再び入學の許可を得たるときは更に在學證書を差出すべし
- 一、保證人姓名を改め又は轉居したるときは直ちに其趣を届出て死亡其他の事由により保證人を改めたるときは更に在學證書を差出すべし
- 一、休學舍くは退學せんとする者は其旨保證人より當舎へ届出づべし

學費

- 一、入學金を五圓とす
 - 一、授業料左の如し(既納授業料は返付せず)
 - 第一學期分 四月十五日迄納入 金廿七圓也
 - 第二學期分 九月十五日迄納入 金廿七圓也
 - 第三學期分 一月十五日迄納入 金廿六圓也
- 外に理科、圖書、手工の材料費及活動寫眞費として毎學期金貳圓授業料と共に納入のこと
- 一、前項の外各學年教科書以外の學用品費(各自支辨)は凡そ左の如し、但場合によ

一、増減あるべし

金八圓也

第一學年

一個年分

金拾四圓也

第四學年

一個年分

金拾圓也

第二學年

一個年分

金拾六圓也

第五學年

一個年分

金拾貳圓也

第三學年

一個年分

金拾八圓也

第六學年

一個年分

一、入學の許可を得たる者の着用すべき制服の價格は凡そ左の如し、但時價及大小により増減あるものとす

金貳拾八圓位

冬服

金貳拾五圓位

夏服

金參拾圓位

冬季用マント又は外套

附 錄

最近十ヶ年間

慶應義塾 入學試験問題集 (大學豫科及高等部)

譯者 人學信齋問語集 (大正新譯及)

景茂十九年

掛

大正十五年四月執行

法、文、經、醫各學部

一、英文和譯

Translate into Japanese

- (1) There was a hill to which I used to resort when tired of studying. The labour of walking three miles to it, all the while gradually ascending, seemed to clear my blood of the heaviness accumulated at home. On a warm summer day the slow continued rise required continual effort, which carried away the sense of oppression.
- (2) The desire of the working-classes, many of them now better off than they have ever been, is for a better life for their children than they have had themselves, and it is in the leisure years of childhood, above all, that they hope for their children

to find it.

(3) The truth is, that mere honesty, though a most respectable and necessary virtue, goes a very little way towards the forming of an effective intellectual character

二、和文英譯

一、此頃の學生にして萬年筆を持たぬ者は殆んど一人も無いほど萬年筆は一般に流行してゐる。

2

二、僕はあの時先約さへなかつたら無論君達と同行したのだ。旅行中には定めし面白い事があつただらう。いづれ其の内ゆつくり聞きたいものだ。

三、本年九月から使用する高等小學二年用の讀本二の卷に保險の事をくはしく書いた一課が加へられることになつたさうだが、その主なる原因は一般小國民に保險といふことを通じて相互扶助の精神を養はせたいといふのである。

三、佛文和譯

Version

(1) La Société des Nations, qui devait être la clé du voûte du nouvel édifice international, ne recevait qu'une existence précaire; elle existait cependant et, si faible et si imparfaite qu'elle fût, elle portait en elle des germes précieux, susceptibles d'un développement infini.

3

(2) L'animal sent, pense et veut; il vit d'ensemble; il est un ensemble; il a une unité; il est un individu. Mais chez lui sensation, pensée, volonté, ont, comparées aux nôtres, un caractère particulier; ce sont sensation, pensée, volonté, pour ainsi parler, demi-matérielles.

四、和文佛譯

- 一、十中八九は成功するだらうと思つてゐるが、實際やつて見ないうちは、なんとも云へない。
- 二、活動寫眞は青年子女に悪影響を及ぼすと考へてゐる人もある。
- 三、近來外國の有名な文學者が日本を訪問したが、まさか櫻の花を見物に来るのではあるまい。

五、和文獨譯

- 一、薩摩の士に喜劍といふ人あり、未だ良雄と相識らざりしが、一日良雄に面會し、反復直言して復仇の事を勸む。
- 二、室内にのみ居て、外出すること少なき人の色青ざめて元氣なきは、日光に浴せ

ざるが爲めなり。

- 三、僕は自分の口さへやつとだもの、況して人の世話など出来るものか。

六、獨文和譯

Translate into Japanese

- (1) Es gibt wenig wörter, die dem gegenwärtig lebenden Geschlecht so geläufig wären, wie das Wort Bildung. Wo immer von einem Menschen die Rede ist, da wird alsbald darüber gehandelt, ober gebildet sei oder nicht.
- (2) Hätte man euch vor der Revolution gesagt, was ihr alle während derselben tun würdet, ihr läßt es nicht geglaubt.
- (3) Die zunehmende Wärme dehnt die Körper aus, so dass sie einen grösseren Raum einnehmen, als zuvor. Dieses Gesetz betrifft alle Körper, die festen Körper, die

Flüssigkeiten und die Luftarten.

(4) Ich für meine Person bin selbst dran schuld, wenn mir mein Magen oft Beschwerden macht; ich esse nämlich gerne und viel Pudding, sodass ich mir schon mehrmals den Magen überladen und an den bösen Folgen gelitten habe.

七、數 學 (商業田)

(1) 7月10日振出、日附後75日拂額面金3000圓ノ爲替手形ヲ7月20日A銀行ニテ之ヲ割引セルニ割引日歩ハ2錢ナリトイフ、割引料及ビ割引手取金各幾何ナルカ。

(2) 或入金10000圓ヲ二口ニ分テ一口年9分ニテ甲銀行へ預ケ他ノ口ヲ年4分ニテ乙銀行へ預ケタリ而シテ之ヲ平均スレバ年4分5厘ノ利ニ當ルトイフ、各ノ金高如何。

- (3) $\frac{(a^2-b^2)}{(a^3-b^3)} \frac{(a-b)}{(a^4-b^4)}$ ヲ簡單ニセヨ。
- (4) $(a-b)x^2 + (b-c)x + (c-a) = 0$ ヲ解ケ。

八、數 學 (中算田)

- (1) $x = a_1 \sqrt{1+b^2} + b_1 \sqrt{1+a^2}$ ナルトキ $\sqrt{1+x^2}$ ノ値ヲ求ム。
- (2) $2x(x-a) = a^2$ ナル方程式ノ二根ノ立方ヲ夫々三根トスル方程式ヲ作レ。
- (3) 圓ニ内接スル三角形ABCノ内心ヲOトシAOヲ過ギル弦ヲAEトスレバAO, OEノ包ム矩形ハ三角形ABCノ外接圓、内接圓ノ半徑ノ包ム矩形ノ二倍ニ等シキコトヲ證セヨ。
- (4) 三角形ABCニ於テAB=8米, BC=6米, AC=10米ニシテP點ハAB上ニアリテAP:PBガ5:2ナリトス。

今Pヲ過ギテ三角形ABCノ面積ヲ二等分スル直線ガACト交ル點ヲQトスレ

ハ AQ, QC ノ長サ如同。

九、動植物

注意 1 答案は文章を横にすること。2 解答は問題順になすこと。

- 一、双子葉植物の莖の構造を述べよ。
- 二、哺乳類と鳥類との體制の差を説明せよ。
- 三、アブラナの花を描きて各部分に名稱を附すべし。
- 四、イカの解剖圖を描きて各部分に名稱を附すべし。

8

十、物理

- (1) 表面張カトハ如何、例ヲ舉ゲテ説明セヨ。
- (2) 或木片ヲ水ニ浮ヅレバ其體積ノ 100 分ノ 23 ダケヲ水上ニ露出シ、又此上ニ

2「キログラム」ノ牙銅ヲ載スルトキハ木片ノ露出スル部分ハ 100 分ノ 16 ダケトナルトイフ、此木片ノ重サ何程ナルカ。

(3) 次ノ記述ハ誤解生ズル恐レアリ、コレヲ防グタメニ適當ナル註解ヲ加ヘヨ。

(a) 或物體ガ赤道ニ於テ 200「グラム」アラバ極ニテハ約 201「グラム」トナルベシ。

(b) 沸騰點ハ各物質ニツキ夫々一定セル溫度ナリ。

(4) 質量 800「グラム」ノ一物體ヲ或粗水平面上ニテ一定ナル速度ニテ滑ラヌタメニハ 500「グラム」ノ力ヲ水平ニ働カヌヲ要ストイフ、コレヲ毎秒 2「メートル」ノ一定速度ニテ滑ラヌトキハ 1 秒時間ニ何程ノ仕事ヲナスヲ要スルカ、又コレヲ静止セシムル迄ニハ何程ノ仕事ヲ要スルカ。
(單位ハ隨意ナルモ一々明記スルコト)

9

十一、漢文

一、次ノ文ニ句ヲ切り、反リト送假名トヲ施シ、〇〇〇〇〇點ノ所ハ解釋ヲナスベシ。

高橋生武州川越人尤嗜書法來江戸客寓數年囊無半錢弗憂也好作大字楮墨之費不能自辨及其欲書也即携一巨棒馳行南郊大師河原白砂平舖可畫以作字生乃出空海墨本熟視久之意有所會欣然大呼躍身揮棒作大字於砂上字皆飛動爲蛟龍勢乃環視曰快矣

(鶴梁文鈔)

二、次ノ文中片假名ニテ書ケル部分ヲ漢字ニ改メテ其ノ左側ニ記スベシ。

(一) エイユウ ガウケツ キソヒ 起る。

(二) 國法をジユンボウし社會のアンネイチツジヨをキズす。

(三) ダ眠をカクセイするのケイショウとなる。

(四) テキニンとミトめコウホシヤにスキセンす。

十二、國語 (作文)

文題 協力

右作文用紙ニ認メテ提出スベシ。

十三、化學

(1) 次ノ元素ノ記號ヲ () 内ニ夫々記入セヨ。

硅素 () 窒素 () 硫黃 () 鹽素 () 水銀 () 金 ()
臭素 () 炭素 () 弗素 () 銅 () 鐵 () 燐 ()
砒素 () 亞鉛 () 鉛 () ラヂウム () 錫 ()
沃素 () 蒼鉛 () 銀 ()

(2) 次ノ分子式ヲ【 】内ニ夫々記入セヨ。

- 炭酸瓦斯【 】 鹽化水素【 】 硝酸【 】 二硫化炭素【 】
硫酸【 】 硝石【 】 過酸化窒素【 】 燐酸【 】 重碳酸
達【 】 過酸化水素【 】 鹽素酸加里【 】 消石灰【 】
鹽化マグネシウム【 】 明礬【 】 ベンガラ【 】 甘汞【 】
硫酸銅【 】 臭化銀【 】 窒素【 】 ヘリウム【 】

(3) 次ノ物質ヲ水ニ入レタル時ノ反應ノ化學方程式ヲ記入セヨ。

- (1) カリウム
(2) 生石灰
(3) アルミニウム
(4) 炭酸ナトリウム
(5) 無水亞硫酸 (亞硫酸瓦斯)

(4) (a) 次ノ物質ヲ水ニ溶カシタル時ニ生ズル沈澱物ノ名稱及ビ分子式ヲ記入セヨ。

- (1) 硝酸銀ト鹽化カリウム
(2) 綠礬ト鹽化カルシウム
(3) 昇汞ト硫化水素
(b) 次ノ溶液ニ澱粉ヲ加フレバ如何ナル色ヲ呈スルカ。
(1) 沃度ノ水溶液
(2) 沃化加里ノ水溶液

大正十五年四月執行

高等部豫科

一、英文和譯

(1) Canus, a Greek musician, played his instrument well and earned good fees. But he used to say that men knew not how much more the music delighted himself than the others. His hearers might have demanded rewards from him rather than betrowed them upon him!

14

(2) Writing is not literature unless it gives to the reader a pleasure which arises not only from the things said, but from the way in which they are said; and that pleasure is only given when the words are carefully or curiously or beautifully put

together into sentences.

(3) You hear every day greater number of foolish people speaking about liberty, as if it were such an honourable thing; so far from being that, it is, on the whole, and in the broadest sense, dishonourable, and an attribute of the lower creatures.

No human being, however great, or powerful, was ever so free as a fish. There is always something that he must, or must not do; while the fish may do whatever he likes.

15

二、和文英譯

一、米國が今日の隆盛を致せる原因は二つあると思はる、天然の富源の豊かなることと科學を産業に應用したることとである。

二、何處の國でも勞働者は大抵其の日暮しをしてゐる。彼等は現在の賃金では一家

を支へて行くのが漸くのことと、とても貯蓄の餘裕がない。
 三、田舎に居た時は、さうにも思はなかつたが、東京へ来て見ると今更ながら故郷の海山が懐しい、今の東京では静かな自然を楽しむことは全く出来さうもない。

三、數 學 (商業出)

算 術

(1) 商人アリ、甲乙二種ノ商品ヲ賣捌キ代金 153 圓ヲ得タリ、而シテ其實價甲ハ定價ノ 13% 引、乙ハ定價ノ 16% 引ニシテ、甲乙ヲ通算スレバ定價ノ 15% 引ナリトイフ、定價各幾何。

(2) 甲乙二人アリ、初メ甲ハ年利六分ニテ七百四十二圓ヲ乙ニ貸與シ其後四ヶ月ヲ經テ乙ハ同利率ニテ金若干圓ヲ甲ニ貸與セリ、其後更ニ一年ヲ經テ互ニ計算セシメ乙ハ甲ニ元金ノミヲ返却シテ決済セリトイフ、甲ハ乙ヨリ幾何ヲ借入レタルカ。

代 數

(3) $3x^2 - 10xy + 3y^2 - 2ax - 2ay - a^2$ ヲ因數ニ分解セヨ。

(4) $a(x^2 + 1) = x(a^2 + 1)$ ヲ解ケ。

(5) $x^2 = 2x + 7$ ナルトキ $x^3 = 11x + 14$ ナルコトヲ示セ。

四、數 學 (中學出)

(1) $x^2 - 4(m-1)x + m + 9 = 0$ ノ一ツ根ガ他ノ根ノ三倍ナルヤウニ m ノ値ヲ定メヨ。

メヨ。

(2) $(a-b) + (a^3 - 3b) + (a^5 - 5b) + \dots$ ナル級數ノ初項ヨリ第 n 項マデノ和ヲ求メヨ。

メヨ。

(3) $3x^2 + 8y^2 = 10xy$ ナルトキ $x:y$ ヲ求メ然ル後

$\frac{2x-7y}{5x+2y}$ ノ値ヲ計算セヨ。

(4) 四邊形ノ相對スルニ邊ノ長ヲ相等シキトキハ此ニ邊ハ他ノニ邊ノ中點ヲ結ビ付クル直線ト等角ヲナスコトヲ證明セヨ。

(5) 定角 XOY ノ二等分線 L ノ定點ヲ P トシ O 、 P ヲ過ケル任意ノ圓ガ角ノニ邊ト交ル點ヲ A 、 B トスレバ OA 、 OB ノ和ハ一定ナリ、之ヲ證明スベシ。

五、漢文

左ノ文ニ句讀返點送假名ヲ施シテ解釋スベシ。

一、君子當平居無事時大率與衆人無異遇艱難多事而後見其才器之所蘊蓄優且長也所謂不遇盤根錯節無足以別利器也

二、1 不羈之才 2 尺素之譏 3 出藍之譽 4 箕裘之業 5 青雲之志

六、國語 (作文)

文題 學校教練ニ關スル所感 (文體隨意)

昭和二年三月執行

法、文、經、醫、各學部

一、英文和譯

Translate the following into Japanese

(1) In travelling, we often meet with great fatigue and inconvenience from heat or cold, or other accidents, and resolve never to go a journey again; but we are ready to set off on a new excursion to-morrow. We remember the landscape, and think no more of the heat, the noise, and dust.

(2) Several generations ago it was the rule for a person to remain in the surroundings into which he was born, during his entire life. Now everybody is engaged in

fortune-hunting. Large cities are the centres of the chase, they excite and tempt everybody, and everybody visits them or lives in them, at least in the imagination.
(3) He hated materialism both as a philosophy and a practice, and we recommend the hatred to an age which tends to refer all things to matter, and which seems to think that to improve the material life of man is all that is needed for the healing of the woes and sins of the human race.

20

二、和文英譯

- 一、もう六時が鳴つてゐる。佐藤君は昨日手紙をよこして五時半までには來ると云つたのですが未だ來ない。何にか急に差支が起つたに違ひない。
- 二、彼れは二時間あまり愉快に話して歸りましたが、後で父は「快活な男だが、何處となく紳士らしくない所が見える。あまり深く交際しないが宜い」と私に注意

を與へました。

- 三、人生の長短は事業の大小を以て量るべきもので年齒の多少を以てすべきではな

三、佛文和譯

Version

- (1) L'amour de pégalité dans une démocratie borne L'ambition au seul désir, au seul bonheur de rendre à sa patrie de plus grands services que les autres citoyens. Ils ne peuvent pas lui rendre tous ses services égaux; mais ils doivent tous également lui en rendre.
- (2) Nous devons nous défer de la manie de prouver ce qui doit se faire par ce qui s'est fait; car c'est précisément de ce qui s'est fait que nous nous plaignons.

21

(3) *La guerre, à travers, tant d'épreuves, de si affreuses, réserve du moins ce bienfait aux peuples et aux individus qui acceptent virilement sa tragique nécessité; l'éducation par la résistance, en sorte que ce formidable élément de destruction peut devenir un élément fécond de reconstruction.*

四、和文佛譯

- 一、近頃奉仕といふ言葉が盛んに宣傳される。英語のサービスの譯語でその意は人のためや、社會のために務めるといふことである。
- 二、停車場から私の家までは約一キロである。車賃は七十錢だが、雨天の折は道が悪いので倍額取られる。
- 三、この冬は近來稀れの嚴寒で降雪もその量甚多く、鐵道の事故も夥しかつた。或は列車が吹雪に埋もれたり、或は立往來したことも、度々新聞紙に報道された。

五、獨文和譯

Translate the following into Japanese

- (1) Der Mensch ist einmal so töricht, verläuft etwas hundertmal im gleichen, da merkt er wohl, das wär' so Regel auf der Welt, kommt ihm aber die Regel ins eigene Haus, so hofft er auf eine Ausnahme,
- (2) Der natürliche Charakter des Menschen ist von der Selbstliebe nicht blos bewegt, sondern beherrscht, d. h. er ist selbstsüchtig geartet und gerichtet, wie verschieden auch nach Anlagen und Interessen, nach Lebens- und Bildungszuständen diese Arten und Richtungen sein mögen.
- (3) Das ist Glaube! sagte ich und sprang wie halb erschreckt in die Höhe. Ich suchte nun meiner Empfindung, meines Anschauens gewiss zu werden, und in kurzem war ich überzeugt, dass mein Geist eine Fähigkeit sich aufzuschwingen erhalten habe,

die ihm ganz neu war.

(4) Das Gespräch bewegt sich um die verschiedensten Verhältnisse, um Fragen der Staatsverwaltung, um Angelegenheiten der Kunst und der Poesie, und mit leuchtenden Augen saßen sie einander gegenüber hinausgetragen über Zeit und Raum.

六、和文獨譯

- 一、縦ひ王様であらうと乞食であらうと、何人も永久に生きて居られるものではない。私は此の平凡な真理を今更痛感した。
- 二、富を得んとする努力は折々人を不幸に導くものであるが、彼も亦その例に漏れなかつた。
- 三、彼は能力が優れて居るといふよりは、寧ろ人並以上に健康であつた。それが彼の成功の眞の原因であつたと思はれる。

七、數學

- (1) 方程式 $2kx^2 - (3k+2)x + k+1 = 0$ は $k =$ 如何ナル値ヲ與フレバ
 - (イ) 二根ノ和ハ2トナルカ。
 - (ロ) 二根ハ互ニ逆數トナルカ。
 - (ハ) 等根トナルカ。
- (2) $a+b+c=0$ ナルトキ次ノ數値ヲ求メヨ。
$$a\left(\frac{1}{b} + \frac{1}{c}\right) + b\left(\frac{1}{c} + \frac{1}{a}\right) + c\left(\frac{1}{a} + \frac{1}{b}\right)$$
- (3) 定圓ノ定直徑 AB ノ一端 A ヨリ任意ノ直線 AP ラ引キ定圓周トノ交點 C
ニ於ケル切線 CD = B ヨリ垂線 BD ラ引キ AP トノ交點ヲ P トスレバ P ハ定
圓周上ニアルコトヲ證セヨ。
- (4) 三角形ノ三邊及ビ外接圓ノ半徑ヲ夫々 a 寸、 b 寸、 c 寸及ビ r 寸トスレバ面積

$\frac{abc}{4r}$ 平方寸ナルコトヲ證セヨ。

八、數 學 (商業出)

- (1) 甲號5分利附公債額面 ¥100ヲ二月末ニ ¥87.70ニテ買入レ別ニ買入手數料10錢ヲ要シタリ、利廻リ何程ナルヤ (毛位未滿四拾五入) 但利子支拂期 6/1:11/1ニシテ資本利子税 2% ナリ。
- (2) 式 $ax^2+bx+c=0$ ニ於テ x ヲ 2, -2, 3 トスレバ其ノ數値ハ夫々式 9, 21, 16 トナル、然ラバ x ガ -3ナルトキノ數値ヲ求メヨ。
- (3) $a+b+c=0$ ナルトキ次ノ式ノ數値ヲ求メヨ。

$$a\left(\frac{1}{b}+\frac{1}{c}\right)+b\left(\frac{1}{c}+\frac{1}{a}\right)+c\left(\frac{1}{a}+\frac{1}{b}\right)$$
- (4) 一元二次方程式ノ根ノ公式ヲ誘導セヨ。

九、漢 文

一、南郭不談經濟毎日如熊澤了海才抱經世身居要地故言行功建世儒之談當世雖或靡靡可聽時不可施強施則果誤國要之身不居樞管徒辯給售己耳老子曰知者不言斯言諒矣 (先哲叢談)

右訓點を附し。の處を解釋すべし。

二、次の片假名に漢字を充てよ。

タイキ、バンセイ フンレイ、ドリヨク キンケン、チヨチク セツサ、
 タクマ ケンキヤウ、フクワイ ヨサン、テウクワ ハイタイテキ、キブ
 シ フツウ、センキヨ シユツランのホマレ ヅサンのチヨシヨ

十、國 語 (作文)

文題 創造

右作文用紙ニ認メテ提出スベシ。

十一、動植物

- (1) 節足動物の特徴を記し、之に屬する各綱名を挙げ、且其の各綱につき所屬動物の一例づつを附記すべし。
- (2) 地衣植物(ウスマノキゴケ)の類につきて説明せよ。
- (3) カヘルノ解剖略圖を描き、各部分の名稱を記入すべし。
- (4) 左記の植物の略圖を描くべし。
「酵母菌(酵母菌)、カウヂカビ、硅藻、アライシドロ

十二、物理

(答案ハ横書ノコト)

- (1) 温度 -10°C ノ氷 60「グラム」ニ 45°C ノ氷 200「グラム」ヲ注ギタルニ全部 15°C ノ水ニナレリトイフ。氷ノ融解熱ヲ 1「グラム」ニツキ 80「カロリー」トシテ其比熱ヲ求メヨ。
- (2) 等シキ高サノ二定點ニ一本ノ綱ノ兩端ヲ取リツケ、綱ノ中點ニ一定ナル重リヲ懸クルトキ綱ノ長サガ短キホト切レ易キ理ヲ圖ニヨリテ説明セヨ。
- (3) 袋ノ重サ 15「キログラム」、内容積 25 立方「メートル」ナル氣球ニ密度 1 立方「メートル」ニツキ 0.18「キログラム」ノ氣體ヲ充シテ揚ゲタルニ或高サニ達シテ静止セリトイフ。其高サニ於ケル大氣ノ密度ハ何程ナルカ。但シ袋ノ厚サハ無視スルコト。

- (4) 1「キログラム」ノ物體ニ働キテ 1 秒ニツキ毎秒 1「メートル」ノ加速度ヲ與フルカガ或物體ニ働キテコレヲ「メートル」ダケ動カストキノ仕事ヲ適當ナル單

位ニテ求メヨ。

十三、化 學

- (1) 常溫常壓にて瓦斯狀の元素、其の化學記號、分子式、色、原子價を表にして記せ。
- (2) (a) 硝酸銀の水溶液に鹽化加里を加ふる場合と鹽素酸加里を加ふる場合とに
いかなる差別ありや。若しありとせば如何なる理由によるか。又其の際沈澱物又
は瓦斯の發生ありとせば其の分子式を記せ。
- (b) 次の瓦斯を得る反應の化學方程式を夫々一つづつ記せ。
- (1) 炭酸瓦斯
- (2) 硫化水素
- (3) 水

30

昭和二年四月執行

高等部豫科

一、英文和譯

Translate the following into Japanese

- (1) We do not know for certain the name of the man who first suggested the electric telegraph. The way for it was prepared, piece by piece, by clever, painstaking men who never dreamed to what they were leading. They loved knowledge for its own sake, an little thought of the great gift they were giving to the world.
- (2) The great Leonardo da Vinci—a man great in his kindness to birds and animals—great as an architect, a philosopher, and an artist—was accustomed to buy birds in

31

cages for the purpose of restoring them to liberty. A picture has been painted of this noble artist doing his deed of mercy, with the released birds fluttering round their deliverer, and the empty cages at his feet.

二、和文英譯

一、雨が降る毎に段々暖になつて間もなく若い人も年寄も喜ぶ良い氣候になるてせう。

二、此せまい貧乏な土地ばかりに密集 (to crowd up) しないで我々青年は南米でも何處でも勇んで働きに行くべしだ。

三、數 學

(1) 二次方程式 $ax^2+bx+c=0$ ノ二根ノ比が3:2ナルトキハ次ノ關係アルコ

トヲ示セ。

$$6b^2=25ac.$$

(2) $2x^3+mx^2+nx+6$ ガ $x-3, x+2$ ノ各ニテ整除シ得ラル、如ク m, n ノ値ヲ定メヨ

(3) 自然數 1, 2, 3, ..., 400 ノ中ニテ6又ハ9ニテ割リ切ル數ノ和ヲ求ムベシ。

(4) 圓ノ直徑 AB ノ一端 Bニ於ケル切線ヲ引キ、又Aヨリ引ケル二直線ガ、圓ト交ル點ヲ P, Q トシ、切線ト交ル點ヲ C, D トスレバ、角 CPD ト角 OQD トハ相等シキコトヲ證明スベシ。

(5) 三角形 ABC ノ頂點 Aヨリ底邊 BCニ垂線 ADヲ引キ BD ト BC トノ比例中項ニ等シク底邊上ニ BEヲ取リ Eヨリ BCニ垂線ヲ作リ AB或ハ其ノ延長ト Fニ交ハラシムルトキハ、三角形 BEF ト三角形 ABC トハ等積ナリ、之ヲ證明スベシ。

四、數 學 (商業出)

- (1) 金 1300 圓ヲ二口ニ分チテ年利率六分ト年利率七分トニテ貸付ケ其利息一ケ年合計 82 圓ヲ得タリ、各口ノ金高何程ナルカ。
- (2) 或人地面ヲ五萬六千七百圓ニ買ヒ、内三萬圓ハ即金ニテ一萬圓ハ一ケ年後、殘額ハ二ケ年後ニ拂フ契約ヲ結ビシニ九ケ月後ニ年六分ニ相當スル眞割引ノ計算法ニテ殘額悉皆ヲ償却セリ、コノ時支拂ヒタル金額何程ナルカ。

(3) 次ノ方程式ヲ解ケ。

$$(b-c)x^2 + (c-a)x + a-b = 0$$

(4) 次ノ式ヲ簡單ニスベシ。

$$\frac{1}{a^2+3x+2} - \frac{x^2+4x+3}{2} - \frac{x^2+5x+6}{1}$$

(5) $x(y+z)^2 + y(z+x)^2 + z(x+y)^2 - 4xyz$ ヲ因數ニ分解セヨ。

五、漢 文

左ノ文ニ句讀返點送假名ヲ附シテ解釋スベシ。

一、イ 瓜田不納履。

ロ、披瀝肝膽。

ハ、勿吝斡旋之勞。

ニ、燎原之火。

ホ、目無一丁。

二、心事必見於面相與言語欲知人之邪正當先瞑目聽其言語然後開目觀其面相兩相比照以察其心事若是則庶乎無愛憎偏

六、國 語 (作文)

文題 偉人の感化 (文體隨意)

右作文用紙ニ認メテ提出スベシ。

昭和三年三月執行

文學、經濟、法學、醫學各部

一、英文和譯

(1) There is no substitute for reading. There are no means of culture so available to the masses as this. It can be taken up at odd moments, and can be continued a longer or shorter time, as circumstances demand.

36

(2) The perfect citizen demanded by our own age and by our own nation can be characterized in a single phrase. The Japanese who is worthy to be so called, the patriot on whom his country may depend in any hour of peril, the voter who will neither take the scoundrel's bribe nor follow the lead of any fool,—he is exactly and fully described when we say that he is a rationally conscientious man.

(3) We sometimes fall in with persons who abound in information in detail, curious and entertaining, about men and things; but, having lived under the influence of no very clear or settled principles, religious, and political, they speak of every one and everything, only as so many phenomena, which are complete in themselves, and lead to nothing, not discussing them, or teaching any truth, or instructing the hearer, but simply talking.

37

二、佛文和譯

(1) Depuis quelques années, je me suis jeté dans l'étude opiniâtre pour échapper aux passions auxquelles je me sentais encore en proie après la fuite de la jeunesse. L'étude faisible et douce ne me suffit point pour m'apaiser : il faut que j'étudie avec emportement.

(2) Dans la cathédrale tout entière on sent la certitude et la foi, nulle part le doute. Cette impression de sérénité, la cathédrale encore aujourd'hui nous la donne, pour peu